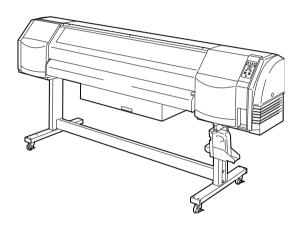
取扱説明書

U00122911702

溶剤インク
カラーインクジェットプリンター

IP-5620/5520

ご使用の前に、この取扱説明書をよくお読みの上、
正しくお取り扱いください。
また、お読みになった後も、必要なときにすぐに
見られるよう、大切に保管してください。

株式会社 セイコーアイ・インフォテック

U00122911700　　2011 年　3 月　初版
U00122911701　　2011 年　5 月　第 2 版
U00122911702　　2011 年　9 月　第 3 版

この装置は、クラス A 情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

VCCI-A

「JISC61000-3-2 適合品」
JISC61000-3-2 適合品とは、日本工業規格「電磁両立性ー第 3-2 部：限度値ー高調波電流発生限度値（1 相当たりの入力電流が 20A 以下の機器）」に基づき、商用電力系統の高調波環境目標レベルに適合して設計・製造した製品です。

警　告
紙幣、有価証券などをプリンターで印刷すると、その印刷物の使用如何に拘わらず、法律に違反し、罰せられます。
関連法律
　刑法　第 148 条、第 149 条、第 162 条
　通貨及証券模造取締法　第 1 条、第 2 条等

はじめに

このたびは、IP-5620 / IP-5520　溶剤インク　カラーインクジェットプリンター(以後、プリンターと呼びます)をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

IP-5620は64インチ幅まで、IP-5520は54インチ幅までのメディアに対応する、USB2.0 インターフェース搭載、溶剤インクを採用したカラーインクジェットプリンターです。

本プリンターには、プリントヘッド搭載数の違いにより6色仕様、4色仕様の2つの仕様があります。また、使用できる溶剤インクには、GXインク、IXインクの2種類があります。

本書では、IP-5620の6色仕様をモデルとして説明しております。個別に説明が必要な部分には、そのつど明示しています。

本書、**「IP-5620 / IP-5520　溶剤インク　カラーインクジェットプリンター取扱説明書」**は、本プリンターの特徴や機能、印刷の手順などの本プリンターを使用するための情報が記載されている説明書です。またトラブルの解決法なども記載されていますので、目的に応じて各章をお読みください。

本書に記載の次の事項は、本プリンターを正しく安全にお取り扱いいただくために、本プリンターをご使用になる前に必ずお読みください。

- **納入品**
- **安全上の注意**
- **取り扱い上の注意**
- **マニュアル凡例（表記方法）**

また、本書はお読みいただいた後も、必要なときにすぐ見られるよう、大切に保管してください。

納入品

プリンターの種々構成品は、オプションを含めプリンターの据え付け時に、すべてプリンター本体に取り付けられます。次のものが納入されますので確認してください。
万一、不足品や破損品があった場合は、お買い上げになった販売店または最寄りのサービス拠点にお問い合わせください。

基本構成品

プリンター本体 ＜1台＞
・USB インターフェース搭載

付属品

電源コード
＜1本＞

USB2.0 ケーブル
＜1本＞

ワイパースポンジ
＜1個＞

廃インクボトル
＜1個＞

HEAD キット
6色または4色から選択

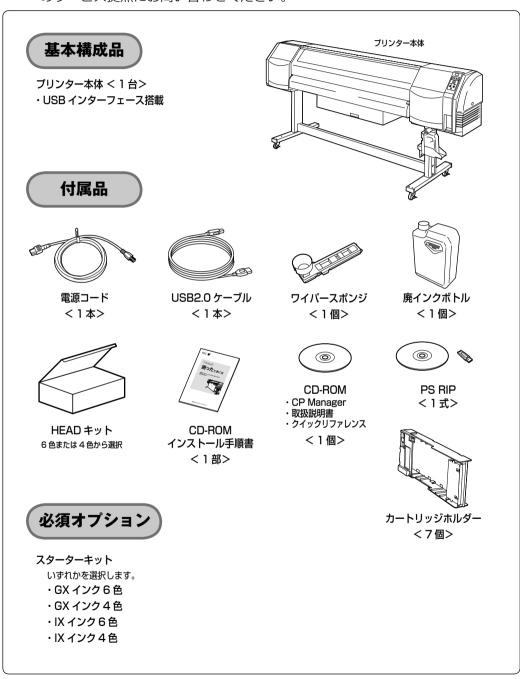
CD-ROM
インストール手順書
＜1部＞

CD-ROM
・CP Manager
・取扱説明書
・クイックリファレンス
＜1個＞

PS RIP
＜1式＞

カートリッジホルダー
＜7個＞

必須オプション

スターターキット
いずれかを選択します。
・GX インク6色
・GX インク4色
・IX インク6色
・IX インク4色

＊ インクはプリンター設置などの際、初期充填に消費されるため、各色ともにインク全量を印刷に使用できない場合があります。

＊ 販売地域によっては付属されていないものや、選択できないものもあります。

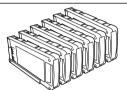
オプション

・巻取り装置(64)(IP-153)(IP-5620用)
・巻取り装置(54)(IP5-260)(IP-5520用)
・ブロアー装置(IP-182)
・2インチフランジ(IP5-261)
・エキゾーストアタッチメント(IP-265)
・カッターユニット(64)(IP5-262)(IP-5620用)
・カッターユニット(54)(IP5-263)(IP-5520用)
・6色への変更キット(IP5-264)

消耗品

GXインク用　IXインク用
日常メンテナンスキット(IP5-290／IP5-296)
<一式>

・キャップクリーニング液	：300 ml
・ワイプクリーニング液	：200 ml
・クリーニング棒	：10本
・クリーニングスティック	：1本
・クリーニングローラー	：30個
・ワイパーブレード	：1個
・ピンセット	：1本

GXインク用　IXインク用
洗浄液セット(IP5-294／IP5-298)
<一式>
・洗浄液カートリッジ：6個

保管液セット（IP5-293）
（GX インク /IX インク兼用）
<一式>
・保管液カートリッジ：6個

ワイプクリーニング液セット
GXインク用　IXインク用
(IP5-291 ／ IP5-297)
<一式>
・ワイプクリーニング液（200ml）：3本

クリーニング棒（IP6-147）
＜300本>

廃インクボトル（IP5-299）
＜1個>

メディアカッターブレード（IP5-124）
（カッターユニット(64), カッターユニット(54)用）
＜1個>

ワイパースポンジ（IP5-123）
＜1個>

ワイパーブレード（IP5-122）
＜2枚>

クリーニングスティック（IP5-120）
＜1本>
（クリーニングローラー 1 個添付）

キャップクリーニング液セット（IP5-292）
（GX インク /IX インク兼用）
＜1本>

クリーニングローラーセット（IP5-147）
＜30個>

カートリッジホルダー用インクカートリッジ＋基板
(Y, M, C, K, Lc, Lm)
⇒品番に関しては P.1-13 参照

カートリッジホルダー
(IP5-320)

＊　オプション，消耗品は別途ご注文ください。

安全上の注意

本書では、プリンターを安全に正しくお使いいただくため、また、お客様への危害や財産への損害を未然に防ぐため、次の記号を使って注意を喚起しています。

これらの記号の意味は次の通りです。内容をよく理解して、これらの記号が表示されているところの記載事項については、必ずお守りください。

⚠警告	**この表示の内容を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。**
⚠注意	**この表示の内容を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害の発生が想定される内容を示しています。**

絵表示の例

△記号は、注意（危険・警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。
左の表示例は安全上の**「警告または注意事項」**があることを表しています。

⊘記号は、禁止の行為であることを告げるものです。
左の表示例は**「分解禁止」**を表しています。

●記号は、行為を強制したり、指示する内容を告げるものです。
左の表示例は**「電源プラグをコンセントから抜く」**ことを表しています。

警告　必ず、下記の警告事項をお読みになってからお使いください

表示された電源電圧以外の電圧で使用しないでください。また、タコ足配線をしないでください。火災や感電の原因になります。

プリンターをアース接続してください。アース接続されないで使用しますと、万一漏電した場合は火災や感電の原因になります。

変換プラグは使用しないでください。

プリンターを分解したり、改造したりしないでください。また、通気口をふさがないでください。
事故や故障の原因になります。

電源コードを傷つけたり、破損したり、加工、加熱したりしないでください。また、束ねたり、重い物をのせたり、引っ張ったりしないでください。破損した電源コードを使用し続けると火災や感電、故障の原因になります。破損した場合は新しいものに交換してください。

湿気の異常に多い場所や水分のかかる可能性のある場所では、絶対に使用しないでください。火災や感電や故障の原因になります。

プリンターの内部やすき間に、金属片を落としたり、水などの液体をこぼさないでください。火災や感電、故障の原因になります。

濡れた手で、電源コードなどを接続したり、はずしたりしないでください。感電の原因になります。

次のような場合は、電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて、弊社サービス拠点に修理をご依頼ください。異常状態のまま使用すると、事故や火災の原因になります。また、お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。
◇ 異臭がする、発熱した、煙が出た、または異常音が発生したとき
◇ プリンターの内部やすき間に、金属片や水などの異物が入ったとき
◇ サービス拠点で対処する異常が発生したとき

カバーの中や通気口、インクカートリッジスロットなどのプリンター内部にむやみに手を入れないでください。けがをする恐れがあります。また、プリンターはお客様が操作しなくても自動的に動作する場合がありますので、印刷中に限らずご注意ください。

インクカートリッジは、絶対に火気に近づけないでください。引火した場合は、火災の危険があります。

インク、保管液、洗浄液、キャップクリーニング液、ワイプクリーニング液、廃インクは飲んだり、目の中に入らないように注意してください。気分が悪くなったり、目の刺激が持続する場合があります。
もし目に入った場合は、水で数分間注意深く洗ってください。目の刺激が継続する場合は、医師の診断、手当てを受けてください。
また、誤って飲み込んだ場合は、口をすすいでください。気分が悪い時は、医師に連絡してください。

インクカートリッジや廃インクボトル、メディアカッターブレードなどの付属品や消耗品は、子供の手の届かない場所に保管してください。

プリンターをぐらついた台の上や傾いた場所など不安定な場所には置かないでください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因になります。転倒防止のためキャスターをロックしてください。

ヒーター部は高温になります。触れて、やけどをしたりしないように注意してください。

⚠ 注意　必ず、下記の注意事項をお読みになってからお使いください

ロールメディアは重いので、取り扱うときは台車などの運搬器具を使って、落としたりしないように注意してください。足の上に落としたりすると、けがをする恐れがあります。

作業場所は換気をしてください。換気しないとインクの臭いで気分が悪くなる恐れがあります。気分が悪くなったときは、風通しの良い場所で安静にしてください。

電源コードや USB 2.0 ケーブルを接続するときは、プラグ部またはコネクタ部を確実に奥まで押し込んでください。また、はずすときは、プラグ部またはコネクタ部を持ってください。電線部分を引っ張ると電線に傷が付き、火災や感電、故障の原因になります。

インクが肌や衣服に触れないように注意してください。インクが肌に付着した場合は、多量の水と石鹸で洗ってください。

このほか、各項で示す警告、注意事項についてもお守りください。

取り扱い上の注意

電源についての注意

1. プリンターはコンセント近傍に設置し、そのコンセントへは容易に手が届くようにしておいてください。
2. モーターなどのノイズ発生源となる機器と同じ系路から､電源をとらないでください。
3. ご使用電源は、プリンターやオプションの仕様に合わせてお使いください。
4. 一ヶ月に一度は本機の電源を切り、次のような点検をしてください。
   ① 電源プラグがコンセントにしっかり差し込まれていること
   ② 電源プラグの端子やコンセントに細かい埃がついていないこと。埃は乾いた布で除去してください。
5. テーブルタップを使用する場合は、定格 15A の物を使用してください
6. 電源コードの接続にテーブルタップを使用している場合は、一年毎に新品に交換してください。

プリンター本体についての注意

1. プリンターの上に物を置いたり肘をついたりしないでください。また、無理な力をかけたり衝撃を加えないよう丁寧に扱ってください。
2. カバー類の開閉は、両手でカバー中央付近を持ち、静かに行ってください。
3. USB2.0 ケーブルの抜き差しは、まずプリンターの電源をオフにしてから行ってください。
4. カバーの表面をベンジン、シンナーなどで拭かないでください。塗装がはげたり変質することがあります。また、カバーの汚れは柔らかい布などで軽くふき取ってください。汚れがひどいときは、水で薄めた中性洗剤に浸した布でよく絞ってから拭き取ってください。
   また、インクがプリンターに付着した場合は、すみやかに拭き取ってください。そのまま放置すると、部品が壊れたり、塗装がとれてしまう場合があります。
5. プリントヘッドにむやみに触ったり、キズをつけないようにしてください。とくに、底面（ノズル面）には触れないでください。
6. 弊社指定外の消耗品、付属品、オプションの使用は、画質等に影響を与えるばかりでなく、故障の原因になり、保守ができなくなりますので使用しないでください。

メンテナンスについての注意

溶剤インクの性質上、以下のメンテナンスを必ず行ってください。

1. 毎日、ワイプクリーニング液の残量を目視確認してください。
2. 毎週、キャッピングユニットの清掃を行ってください。
3. 毎週、プリントヘッドのクリーニング「ツウジョウ」を行ってください。
4. プリンターを長時間（2 週間以上）電源断状態で放置する場合は、「サービスクリーン」を行ってください。
5. サービスクリーンを行い、プリンターが放置され、再びプリントする場合には、必ず「ヘッドウォッシュ」と「インクジュウテン」を行ってください。

各種メンテナンスのしかたについては、**「4 章　メンテンスと調整・交換」**を参照してください。

消耗品についての注意

1. 指定のインク以外の使用は、画質等に影響を与えるばかりでなく、故障の原因になり、保守ができなくなりますので使用しないでください。
2. 使用後のインクカートリッジは、ポリ袋に入れ、産業廃棄物として処理してください。また条例などで処理方法に規制がある場合は、その規則に従って処理してください。
   使用後のインクカートリッジをお客様で処理できない場合は、弊社の「使用済消耗品の回収先」（☞ 付 -5）まで送付してください。また送付の際は、必ずインクカートリッジからインクが漏れないようにカートリッジごとビニール袋で包み、ダンボール箱詰めにして送付してください。（カートリッジは分解しないでください。）
3. インクが肌や衣服に触れないようにしてください。インクが肌に付着した場合、石鹸水ですぐに洗ってください。
4. 廃インクボトルは、量を定期的に目視確認し、溢れないように注意してください。
5. 廃インクボトル取り外し時は、インクがもれて床を汚したりしないように、汚れ防止の紙を敷いて行ってください。
6. インクの保管は、冷暗所に保管してください。絶対に高温や直射日光のあたる場所には保管しないでください。性能変化を起こす場合があります。
7. インク、保管液、洗浄液、キャップクリーニング液、ワイプクリーニング液には、品質確保のため使用期限が設定されています。それぞれの消耗品については使用期限内にお使いください。
8. インクカートリッジは分解しないでください。
9. 本プリンターは、市販の溶剤インク用のメディアをお使いいただけます。メディアによって画質は異なります。必ず印刷して確認してください。

マニュアル凡例（表記ルール）

本書で説明に使用する、マーク、キー／LCDなどの表記ルールを以下に示します。

マーク表記について

 警　告

◆ 安全上の注意における「警告」に相当する内容を説明しています。

 注　意

◆ 安全上の注意における「注意」に相当する内容を説明しています。

注　意

◆ 操作上、必ず守っていただきたい重要項目・注意事項を説明しています。製品の故障・損傷や誤った操作を防ぐために、必ずお読みください。

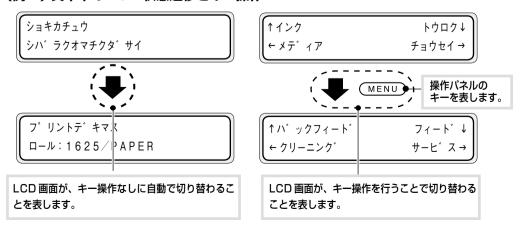
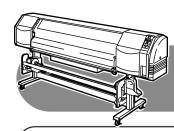
参考

「参考」マークです。
知っておくと便利なこと、操作などの補足事項を記載しています。

☞

「参照」マークです。
このマークの後に、参照項や参照ページを示しています。

キー／LCDの表記について

（例1）文章中のキーとLCD表記

操作パネルのキーを表します。

操作パネルのLCDを表します。

1 ONLINE キーを押して、オフラインにします。

最初のメニューグループが表示されます。

↑インク　トウロク↓
←メディア　チョウセイ→

2 MENU キーを押して、二番目のメニューグループに入ります。

↑バックフィード　フィード↓
←クリーニング　サービス→

3 もう一度 MENU キーを押して、三番目のメニューグループに入ります。

↑ファンクション　システム↓
←メカチョウセイ　ヒーター→

選択するためのキーを示します。
（例　↑：∧キー）

4 ∧, ∨, <, > キーでメニューを選択します。

たとえばファンクションメニューは ∧ キーで入ります。

（例2）文章中のLCD状態遷移とキー操作

まずはじめに

コンピューターと接続する

P.2-2

電源を入れる

P.2-3

インクカートリッジを交換する

P.2-30

ロールメディアをセットする

P.2-7

メディアを登録する

P.2-12

メディアを交換する

P.2-15

電源を切る

P.2-3

日常行う点検・保守（日常メンテナンス）

1 廃インクボトルのチェック

P.4-3

2 ワイプクリーニング液のチェック

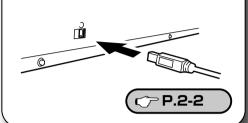
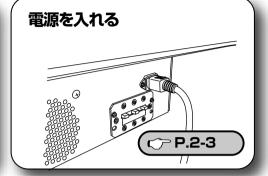
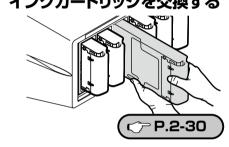
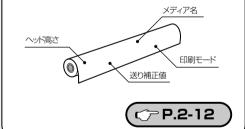
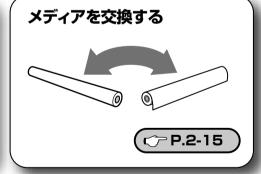
P.4-3

3 ワイパーブレードの汚れチェック

✕ ✕

P.4-4

4 キャッピングユニットの清掃

P.4-6

5 ヘッドクリーニング「ツウジョウ」の実施

#クリーニング
>ツウジョウ

P.4-19

6 ノズルプリントの実施

P.4-8

こんな時は･･･

カットメディア（シート）に印刷したい

P.2-17

メディアの余白部分に印刷したい

P.2-23

印刷中に送り補正値を変えたい

P.4-31

印刷中にヒーターの温度を変えたい

P.2-27

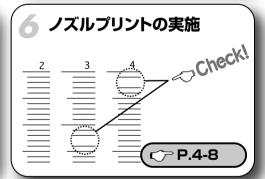
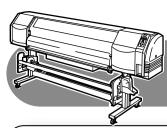
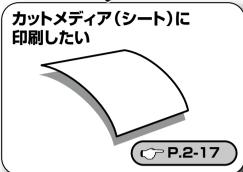
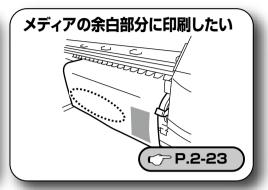
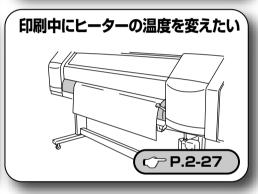
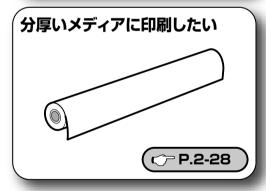
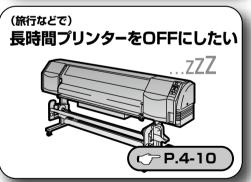
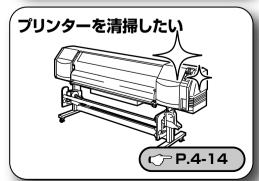
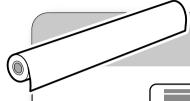
分厚いメディアに印刷したい

P.2-28

（旅行などで）長時間プリンターをOFFにしたい

P.4-10

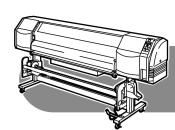
プリンターを清掃したい

P.4-14

こんな時は･･･　プリンターの調整が必要です

★ 新規メディアに交換した場合

送り補正値の設定 P.4-27

メディアの搬送量を調整します。

プリントヘッドの往復位置調整 P.4-33

双方向印刷におけるインク着弾位置の調整します。

交換・トラブル

消耗品を交換する

下記ページを参照して正しく交換してください。

警告メッセージが表示された

パネル操作ができなくなった

メディアが斜めに送られてしまう

ヒーターが暖まらない

印刷物に汚れや縞模様が入る

P.6-15~

目　次

1 章　ご使用の前に（基礎知識）

2 章　基本操作

3章 操作パネルのメニュー操作

4章 メンテナンスと調整・交換

5章 オプションの使い方

6章 困ったときに

付 録

1 ご使用の前に（基礎知識）

本章では、プリンターを使用する前に、知っておいていただきたい情報（基礎知識）について説明します。プリンターに関する基礎知識を得たのち、2 章以降を読み進めてください。

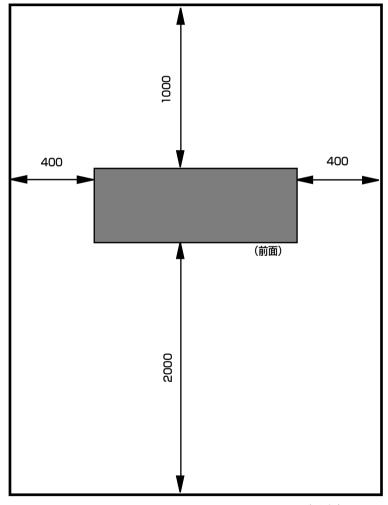
（本章の内容）

使用条件

ここでは、プリンターの使用条件を説明します。

◆設置スペース

プリンターの前後左右には、消耗品の交換や印刷物を処理するためのスペース、ブロアー装置を移動させるスペース、換気のためのスペースなど、通常運転時に必要なスペースだけでなく故障の修理で部品交換するためのスペースが必要となります。下図に示すスペースを確保してください。

■ 設置 / 保守スペース

高さ方向：1750
（単位：mm）

◆使用環境

■ 使用温湿度範囲

プリンターは、下記の温湿度範囲内でお使いください。

温度：15℃～ 30℃
湿度：30% ～ 70%

◇ より良い画質を得たい場合は、20 ～ 25℃の範囲でお使いいただくことを推奨いたします。
◇ 安定した印刷品質を得るために、装置温度が 41℃を超えた場合は、印刷速度を落として印刷します。

注　意
- ◆ 使用温湿度範囲外で使用した場合、印刷が停止したり、画質が乱れることがあります。
- ◆ プリンターが使用環境温湿度に順応するまでには時間を要します。より良い画質を得るためにも、室温を 20 ～ 25℃にして、１時間以上おいてから、お使いいただく事を推奨いたします。

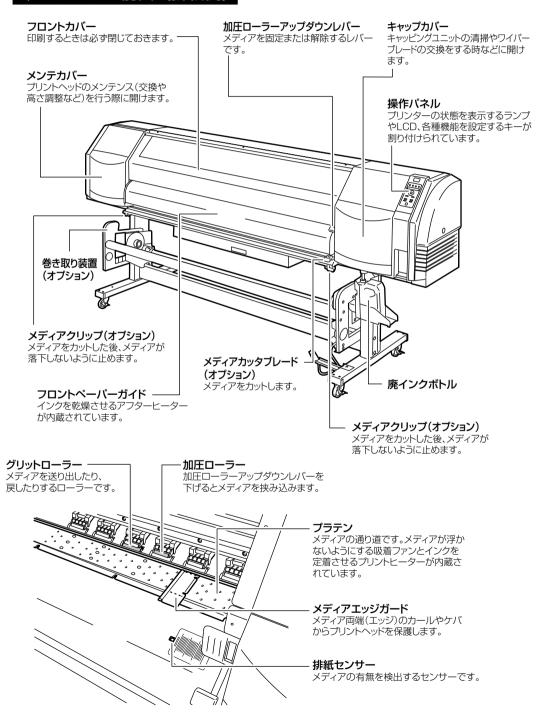
■ 設置禁止環境

次のような場所には設置しないでください。

◇ 直射日光があたる場所
◇ 振動のある場所
◇ ホコリの多い場所
◇ 温度、湿度の変化の激しい場所
◇ 冷暖房機器の近く
◇ 水のかかる可能性のある場所
◇ 通風口などからの風が当たる場所
◇ ジアゾ複写機などから発生するアンモニアガスの影響が強い場所
◇ 換気の悪い場所
◇ 不安定な場所

装置外観・各部の名称と働き

ここでは、プリンターの外観を示し、構成品の各部の名称と機能を説明します。

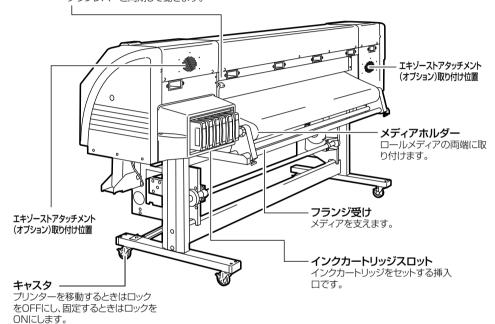
◆プリンター前面（排紙側）

◆プリンター背面（給紙側）

加圧ローラーアップダウンレバー
メディアを固定または解除するレバーです。
プリンター前面の加圧ローラーアップダウンレバーと同期して動きます。

メディアホルダー
ロールメディアの両端に取り付けます。

フランジ受け
メディアを支えます。

インクカートリッジスロット
インクカートリッジをセットする挿入口です。

キャスタ
プリンターを移動するときはロックをOFFにし、固定するときはロックをONにします。

電源インレット
電源コードを接続します。

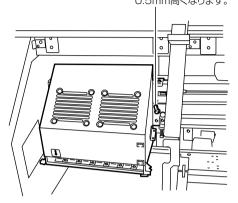
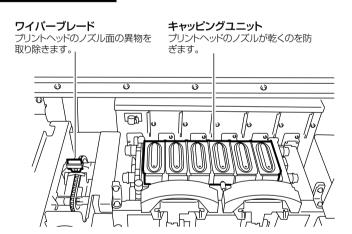
USBコネクタ
USB2.0ケーブルを接続します。

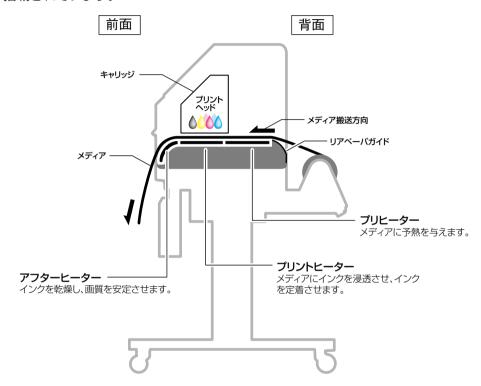
◆プリントヘッド

ヘッド上下機構
レバーを倒すことでプリントヘッドが
0.5mm高くなります。

◆キャッピングユニット

ワイパーブレード
プリントヘッドのノズル面の異物を
取り除きます。

キャッピングユニット
プリントヘッドのノズルが乾くのを防
ぎます。

◆ヒーター

プリンターには、印刷メディアへの画質の定着・安定化のために 3 つのヒーターが搭載されています。

＊ 3 つのヒーターは各々独立にコントロールされます。
（☞ P.2-23「ヒーターコントロールメニューでの温度変更」）

◆操作パネル

プリンターの操作パネルには、キー,LED,LCDが下図のようにレイアウトされています。なお、エラーや無効キー入力時の通知用のブザー機能もついています。

LED
点灯、点滅、消灯によって、プリンターの状態を表示します。

データLED(緑)
データーの受信状態を表示します。
・点滅：コンピュータからのデーター受信中
・消灯：コンピュータからの受信データーなし

エラーLED(オレンジ)
エラー LED（オレンジ）
エラーの有／無を表示します。
・点灯：エラーあり
・点滅：ワーニングあり（☞P.6-13）
・消灯：正常（エラーなし）

インクLED(緑)
インクの有／無を表示します。
・点灯：すべてのインクあり
・点滅：インクの残量が少ない
　　　　インク使用期限切れ間近
・消灯：インクなし

メディアLED(緑)
メディア LED（緑）
メディアの有／無を表示します。
・点灯：メディアあり
（ロールあるいはカットメディアどちらかが装着されている）
・点滅：巻き取りタイムアウト
・消灯：メディアなし
（ロール，カットメディアがどちらもない）

ブザー
エラー発生時、無効キー入力の警告、及び、日常メンテナンスなど、プリントヘッドがキャップされていない状態の警告時に鳴動します。

オンラインLED
オンライン LED
プリンターのオンライン／オフライン状態を表示します。
・点灯：オンライン
・点滅：プリントポーズモード
・消灯：オフライン

LCD
プリンターの状態やメニュー画面などを表示します。
英数字,カタカナ,記号表示(2行20文字)でプリンターの各種メッセージを表示したり、状態を表示したりします。メニューは階層構造をとっています。各メニューには、∧，∨，＜，＞ キーやメニューキーを使ってアクセスします。

電源スイッチ
プリンターの電源をオン／オフする電源スイッチとして使用します。

キー
プリンターのメニュー操作などに使用します。

ONLINE
プリンターのオンライン／オフラインの切り換えに使用します。

MENU
パラメータの入力補助（メニューの階層表示の切り換え）キーとして使用します。

CANCEL
入力したパラメータをキャンセルする時に使用します。

OK
メニューの確定，パラメータの確定に使用します。

HEATER
ヒーターコントロールメニューに入る時に使用します。

TEST PRINTS
短押し：メカチョウセイメニューに入る時に使用します。
長押し：チョウセイメニューに入る時に使用します。

PH.RECOVERY
短押し：クリーニングメニューに入る時に使用します。
長押し：サービスメニューに入る時に使用します。

メニューグループの選択、メニューの切り換え（選択、数値のアップ／ダウン）などに使用します。

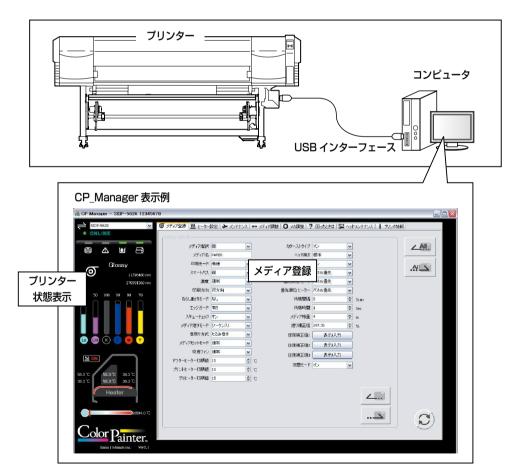
CP_Manager について

本機はパソコンでプリンターの状況がひと目で分かるソフトウェア「CP_Manager」に対応しました。CP_Manager™ では、以下の操作を行うことが可能です。

パネルの操作

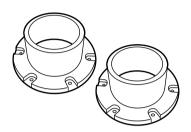
・プリンターの状態表示
・メディア登録、調整値の入力
・ノズルプリント、各種調整印刷の実行
・メンテナンス時期の通知、メンテナンス動作の実行

付加機能

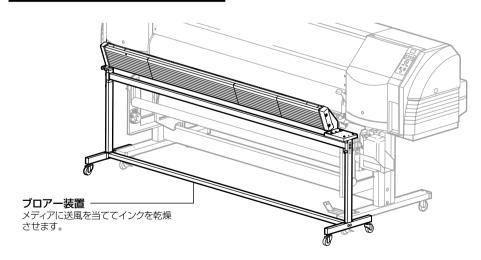
・操作方法のガイダンス表示
・取扱説明書（PDF）の表示

CP_Manager ™は本機に付属の CD-ROM を使ってインストールしてください。

オプション

◆エキゾーストアタッチメント（IP-265）

プリンターに排気ダクトを取り付けるためのユニットです。

◆ 2 インチフランジ（IP5-261）

2 インチ紙管のロールメディアをセットするためのフランジです。

◆ブロアー装置（IP-182）

◆巻取り装置（64）（IP-153）

印刷したメディアを巻き取るユニットです。(IP-5620 用)

◆巻取り装置（54）（IP5-260）

印刷したメディアを巻き取るユニットです。(IP-5520 用)

◆カッターユニット（64）（IP5-262）

印刷したメディアを手動でカットするユニットです。(IP-5620 用)

◆カッターユニット（54）（IP5-263）

印刷したメディアを手動でカットするユニットです。(IP-5520 用)

◆ 6 色への変更キット（IP5-264）

4 色仕様で購入したプリンターを 6 色仕様にアップグレードするためのキットです。

消耗品

◆メディア

■ メディアの種類

以下に示す種類の溶剤インク用市販メディアをご使用いただけます。
ただし、設置環境やメディアのロットなどにより、印刷条件が変わる場合があります。事前に印刷テストをすることをお勧めします。
詳しくは、弊社営業所または、代理店にお問い合わせください。

・光沢塩ビ
・マット塩ビ
・ターポリン

■ メディア保管上の注意

◇ メディアを保管する際は、開封前／開封後に関わらず、直射日光や水漏れを避け、ほこり等が付かないよう梱包箱（袋）に入れて冷暗所にて保管してください。
◇ 急激な温湿度変化を避け、結露しないように保管してください。
◇ 立てた状態で保管すると、ロールの自重によって巻きずれになったり、メディア端部が傷つく場合がありますので、ご注意ください。
◇ ロールを積み重ねないでください。

■ メディアを廃棄する際の注意

◇ メディアおよび印刷物を廃棄する際は、廃棄地域の実状に合わせて、分別、回収、廃棄処理してください。また条例などで処理方法に規制がある場合は、その規則に従ってください。

■ 使用時の注意

◇ 開封した状態での温度湿度変動は避けてください。使用環境に 3 時間以上馴染ませてから、セットしてください。またエアコンの ON ／ OFF による湿度の変動にもご注意ください。

◇ メディアの特性上、低湿下ではカールが、高湿下ではシワが発生しやすくなります。常温常湿（23℃ 50% RH 付近）にてご使用ください。

◇ メディアに傷、シワ、めくれ、あるいはゴミの付着がある場合は、その部分を使用しないでください。特にメディアのエッジ（両端部）はメディア搬送上重要なので傷んだメディアは使用しないでください。また、落下させたり、水などに濡らしたりしないでください。画質等に影響を与えるばかりでなく、故障の原因になる場合があります。

◇ なるべく印刷面に手を触れず、余白部を持つようにしてください。手の皮脂や汗などの付着により画質が劣化する場合があります。

◇ セット時に、ロールに巻きずれが生じることがあります。ずれを修正してから使用してください。

■ 印刷物を取り扱う際の注意

◇ インクが乾燥するまでは印刷面に触れないでください。取り扱い時は余白部を持つようにしてください。印刷後、24 時間以内は特にご注意ください。

◇ 印刷面をこすると色落ち、色写りします。また印刷面同士を重ねると色写りする場合がありますので重ねないでください。

◇ コピーやレーザープリンターなどの印刷物と重ねないでください。インクまたはトナーなどにより貼り付く場合があります。

◇ 印刷面を強くこすったり、引っかいたりした場合や、メディアを折った場合は、色落ちしたり、表面（メディアのコート層）が剥がれることがあります。

◇ 水に濡れた状態でこすったり、放置したりすると、印刷がにじんだり、落ちたりすることがあります。

■ その他の注意

◇ メディアは古くなるにつれ色褪せ、変質します。メディアの状態を確認し、状態のよいものをお使いください。

◇ メディアを切断すると紙粉などが発生し、ラミネート浮きの原因になる場合がありますので、ご注意ください。

◇ 糊付きのメディアを使用した際に、プラテン等に粘着剤（糊）が付着することがありますので、その場合は**「4 章　メンテンスと調整・交換」**を参照し、拭き取ってください。粘着剤がつくと、ジャム（メディア詰まり）の原因になる場合があります。

◇ メディアによって画質は異なります。必ず印刷して確認してください。

◆インクカートリッジ

■ インクの種類

以下に示す弊社指定のインクカートリッジをご使用ください。

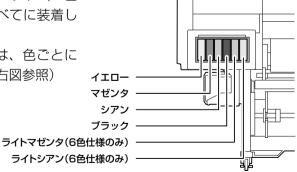
（カートリッジホルダー用インクカートリッジ）

品番	内容物	容量	品番	内容物	容量
IP5-301	Y（イエロー）（GXインク）	500 ml	IP5-311	Y（イエロー）（IXインク）	500 ml
IP5-302	M（マゼンタ）（GXインク）	500 ml	IP5-312	M（マゼンタ）（IXインク）	500 ml
IP5-303	C（シアン）（GXインク）	500 ml	IP5-313	C（シアン）（IXインク）	500 ml
IP5-304	K（ブラック）（GXインク）	500 ml	IP5-314	K（ブラック）（IXインク）	500 ml
IP5-305	Lc（ライトシアン）（GXインク）	500 ml	IP5-315	Lc（ライトシアン）（IXインク）	500 ml
IP5-306	Lm（ライトマゼンタ）（GXインク）	500 ml	IP5-316	Lm（ライトマゼンタ）（IXインク）	500 ml

＊ IP5-3xx インクを使用する場合は、カートリッジホルダー（IP5-320）が各色ごとに必要です。

注　意

- ◆ 弊社指定のインクカートリッジ以外は絶対に使用しないでください。
- ◆ 弊社指定以外のインクを使用すると、画質等に影響を与えるばかりでなく、プリンターの故障の原因となり、保守ができなくなります。
- ◆ GX インクの使用期限は、製造日より 14 ヶ月です。
- ◆ IX インクの使用期限は、製造日より 12 ヶ月です。
- ◆ 使用期限を過ぎたインクを使用すると、画質等に影響を与えるばかりでなく、プリンターの故障の原因となります。
- ◆ インクカートリッジは冷暗所で保管してください。
- ◆ インクカートリッジは、使用の前に振ったりしないでください。
- ◆ インクカートリッジは、6 色（4 色仕様の場合は 4 色）すべて装着してください。交換などで取り外した後は、必ず新しいものを装着してください。
- ◆ インクカートリッジは、すべての色で同じ種類のインク（GX インクまたは IX インク）を使用してください。
- ◆ インクの種類を変更する場合は、弊社営業所または、代理店にお問い合わせください。

インクカートリッジは、6 スロット（4 色仕様の場合は 4 スロット）すべてに装着していなければなりません。
また、各インクカートリッジは、色ごとに装着場所が決まっています。（右図参照）

注　意
- ◆ 他色のスロットに、無理やり差し込まないでください。

警　告
- ◆ インクは、絶対に火気を近づけないでください。火災の危険があります。
- ◆ インクが口や目に入らないように注意してください。呼吸困難になったり、目の障害の原因となります。
もし目に入った場合は、直ちに清浄な水で洗い流した後、医師の手当てを受けてください。
また、誤って飲み込んだ場合は、無理に吐き出させず直ちに医師の手当てを受けてください。

注　意
- ◆ インクカートリッジを分解しないでください。

■ インク保管上・処理上の注意

注　意
- ◆ 使用後のインクカートリッジは、ポリ袋等に入れて、産業廃棄物として処理してください。また、条例などで処理方法に規制がある場合は、その規制に従ってください。
- ◆ 使用後のインクカートリッジをお客様で処理できない場合は、弊社の「使用済消耗品の回収先」（☞付 -5）まで送付してください。また送付の際は、必ずインクカートリッジからインクが漏れないようにカートリッジごとビニール袋で包み、ダンボール箱詰めにして送付してください。（カートリッジは分解しないでください。）

◆廃インクボトル

以下に示す弊社指定の廃インクボトルをご使用ください。

品　番	内 容 物	容　量
IP5-299	廃インクボトル	1 個

警　告
- ◆ 廃インクボトルは絶対に火気を近づけないでください。火災の危険があります。
- ◆ 廃インクが口や目に入らないように注意してください。呼吸困難になったり、目の障害の原因となります。
もし目に入った場合は、直ちに清浄な水で洗い流した後、医師の手当てを受けてください。
また、誤って飲み込んだ場合は、無理に吐き出させず直ちに医師の手当てを受けてください。

注　意

◆ 廃インクボトルは、正しくしっかりと装着してください。
◆ 廃インクボトルは、必ず装着されていなければなりません。廃インクの処理などで取り外した後には、必ず新品の（空の）廃インクボトルを装着してください。

■ 廃インクボトル処理上の注意

注　意

◆ 廃インクボトルが一杯になったら、付属のキャップを確実に締めて産業廃棄物として処理してください。また、条例などで処理方法に規制がある場合は、その規制に従ってください。
◆ 廃インクを処理する際には手袋を着用してください。

◆日常メンテナンスキット

以下に示す弊社指定のクリーニング液、クリーニングスティック、クリーニングローラー、クリーニング棒、ワイパーブレード、ピンセットをお使いください。

品番	内容物	容量
IP5-290	日常メンテナンスキット（GXインク用）	1 式
	キャップクリーニング液	300 ml
	ワイプクリーニング液（GXインク用）	200 ml
	クリーニング棒	10 本
	クリーニングスティック	1 本
	クリーニングローラー	30 個
	ワイパーブレード	1 個
	ピンセット	1 本

品番	内容物	容量
IP5-296	日常メンテナンスキット（IXインク用）	1 式
	キャップクリーニング液	300 ml
	ワイプクリーニング液（IXインク用）	200 ml
	クリーニング棒	10 本
	クリーニングスティック	1 本
	クリーニングローラー	30 個
	ワイパーブレード	1 個
	ピンセット	1 本

警　告

◆ 液が口や目に入らないように注意してください。呼吸困難になったり、目の障害の原因となります。
もし目に入った場合は、水で数分間注意深く洗ってください。目の刺激が継続する場合は、医師の診断、手当てを受けてください。
また、誤って飲み込んだ場合は、口をすすいでください。気分が悪い時は、医師に連絡してください。
◆ キャップクリーニング液やワイプクリーニング液は高温や直射日光の当たる場所には保管しないでください。また、絶対に火気に近づけないでください。引火した場合は、火災の危険があります。

注　意

◆ ワイプクリーニング液は、必ず専用のものをご使用ください。

◆キャップクリーニング液セット

以下に示す弊社指定のキャップクリーニング液をお使いください。

品　番	内 容 物	容　量
IP5-292	キャップクリーニング液（GXインク、IXインク共通）（300ml）	1 本

警　告

◆ 液が口や目に入らないように注意してください。呼吸困難になったり、目の障害の原因となります。
もし目に入った場合は、直ちに清浄な水で洗い流した後、医師の手当てを受けてください。
また、誤って飲み込んだ場合は、無理に吐き出させず直ちに医師の手当てを受けてください。

◆ キャップクリーニング液は高温や直射日光の当たる場所には保管しないでください。また、絶対に火気に近づけないでください。引火した場合は、火災の危険があります。

◆ワイプクリーニング液セット

以下に示す弊社指定のワイプクリーニング液をお使いください。

品　番	内 容 物	容　量
IP5-291	ワイプクリーニング液（GXインク用）（200ml）	3 本
IP5-297	ワイプクリーニング液（IXインク用）（200ml）	3 本

警　告

◆ 液が口や目に入らないように注意してください。呼吸困難になったり、目の障害の原因となります。
もし目に入った場合は、直ちに清浄な水で洗い流した後、医師の手当てを受けてください。
また、誤って飲み込んだ場合は、無理に吐き出させず直ちに医師の手当てを受けてください。

◆ ワイプクリーニング液は高温や直射日光の当たる場所には保管しないでください。また、絶対に火気に近づけないでください。引火した場合は、火災の危険があります。

◆クリーニングスティック

以下に示す弊社指定のクリーニングスティックをお使いください。

品　番	内　容　物	容　量
IP5-120	クリーニングスティック（GXインク、IXインク共通）	1 本
	クリーニングローラー（GXインク、IXインク共通）	1 個

◆クリーニングローラーセット

以下に示す弊社指定のクリーニングローラーをお使いください。

品　番	内　容　物	容　量
IP5-147	クリーニングローラー（GXインク、IXインク共通）	30 個

◆クリーニング棒

以下に示す弊社指定のクリーニング棒をお使いください。

品　番	内　容　物	容　量
IP6-147	クリーニング棒（GX インク、IX インク共通）	300 本

◆ワイパーブレード

以下に示す弊社指定のワイパーブレードをお使いください。

品　番	内　容　物	容　量
IP5-122	ワイパーブレード（GXインク、IXインク共通）	2 枚

◆メディアカッターブレード

以下に示す弊社指定のメディアカッターブレードをお使いください。

品　番	内　容　物	容　量
IP5-124	メディアカッターブレード（GXインク、IXインク共通）	1 個

◆ワイパースポンジ

以下に示す弊社指定のワイパースポンジをお使いください。

品　番	内　容　物	容　量
IP5-123	ワイパースポンジ(GXインク、IXインク共通)	1 個

◆保管液セット

以下に示す弊社指定の保管液カートリッジをお使いください。

品　番	内　容　物	容　量
IP5-293	保管液カートリッジ(GXインク、IXインク共通)	6 個

◆洗浄液セット

以下に示す弊社指定の洗浄液カートリッジをお使いください。

品　番	内　容　物	容　量
IP5-294	洗浄液カートリッジ（GX インク用）	6 個
IP5-298	洗浄液カートリッジ（IX インク用）	6 個

LCD 表示とプリンターの状態

ここでは、LCD 表示とプリンターの状態の見方について示します。

◆ LCD 表示の見方

① 初期化状態表示

プリンター起動時の初期化処理中であることをあらわします。

Booting up...

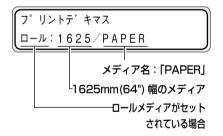
↓

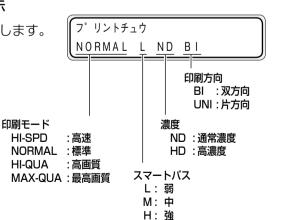
ショキカチュウ
シバ゛ラクオマチクダ゛サイ

◇ **プリンターが正常に立ち上がると、自動的にオンライン状態のアイドルモードになります。**

② オンライン状態 (アイドルモード) 表示

コンピューターからデータの受信が可能であることをあらわします。(オンライン LED 点灯)

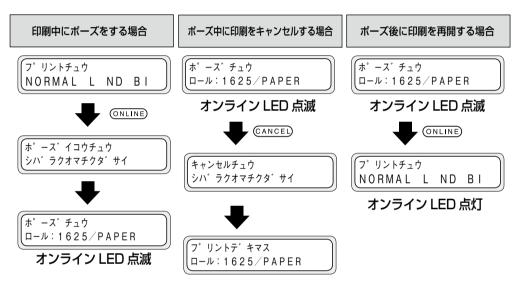
◇ **メディア幅の表示はシステムメニューの「ナガサタンイ」(☞ P.3-58)の設定にてメートル単位系かインチ単位系を選択できます。**
本書ではメートル単位系で説明します。

③ オンライン状態(プリントモード)表示

データを印刷中であることをあらわします。

④ オンライン状態（プリント待機中）表示

データを印刷中、ウォームアップ、データ転送待ちなどで、プリントヘッドのスキャンが待機中であることをあらわします。

```
タイキチュウ
NORMAL L ND BI
```

⑤ オンライン状態（プリントポーズモード）表示

印刷の中断状態をあらわします。

◇ ポーズ中（オンライン LED 点滅状態）で、PH.RECOVERY キーを押すと、プリントヘッドのクリーニングが実行できます。

⑥オンライン状態（プリヒート中）

ヒーターを設定温度まで、加熱中であることをあらわします。

```
プ゜リヒートチュウ
NORMAL L ND BI
```

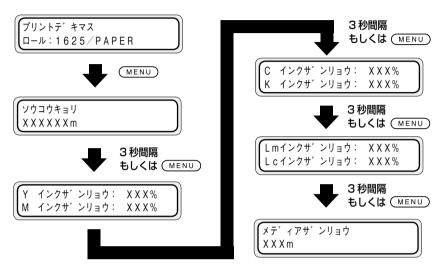
⑦オンライン状態（ヘッドウォーミングアップ中）

プリントヘッドを暖めていることをあらわします。

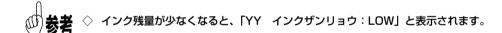
```
ヘット゛ウォーミング゛アップ゜チュウ
NORMAL L ND BI
```

◇ ヘッドウォーミングアップは、ヘッド温度が低い時に行なわれます。

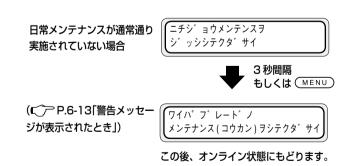
⑧ オンライン状態（プリント情報モード）表示

メディア走行距離、インク残量、メディア残量を表示します。

この後、オンライン状態に戻ります。

◇ ４色機の場合、Lm、Lc のインクザンリョウは表示されません。

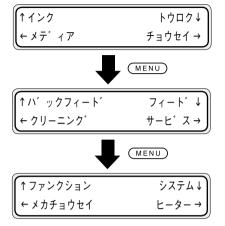
参考 ◇ インク残量が少なくなると、「YY　インクザンリョウ：LOW」と表示されます。

以下は、日常メンテナンスが実施されていない場合や、消耗品の寿命および交換時期が近づいている場合に表示されます。

（☞ P.6-13「警告メッセージが表示されたとき」）

この後、オンライン状態にもどります。

⑨ オフライン状態（メニューモード）表示

オフライン状態でメニュー操作が可能であることをあらわします。

（☞ P.3-2「オフライン時のメニュー基本操作」）

◇ ↑→↓← は、各メニューへのアクセスキーを表します。

⑩ シャットダウン状態表示

プリンターのシャットダウン処理の実行中であることをあらわします。

シャットダ゛ウンチュウ
シバ゛ラクオマチクダ゛サイ

2 基本操作

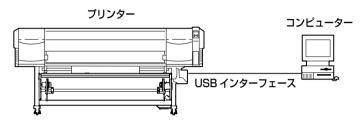
本章では、電源のオン／オフやメディアの交換方法など、
プリンターの基本的な操作方法の説明をします。

（本章の内容）

コンピューターとの接続

ここでは、プリンターをコンピューターに接続する方法について説明します。

◆システム構成（接続例）

下記の接続ができます。

◆接続手順

下記の手順でケーブルの接続をします。

1 プリンターおよび接続機器の電源をオフにします。

注　意

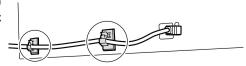
- ◆ プリンターとコンピューターとの接続がされている場合、電源オンはプリンターの電源を一番最初、電源オフはプリンターの電源を一番最後に行ってください。

2 プリンター背面にあるUSBコネクターに専用ケーブルを接続します。

USB コネクター

USB2.0 ケーブル (B コネクター)

注　意

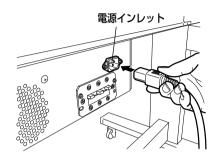
- ◆ 接続ケーブルは、UBS2.0 ケーブルを使用してください。
- ◆ USB ハブを使用する場合は、UBS2.0 対応の製品を使用してください。
- ◆ USB 接続に用いるケーブルやハブ、またその系に接続する USB 機器は USB-IF 認証品を使用してください。USB 認証品ではないケーブル、ハブ、その他機器を接続した場合は正常に動作しない可能性があります。
- ◆ 1 本のケーブルの最大長は 5m です。それ以上の距離で使用される場合はハブを使用してください。最長構成はハブの５段接続です。ケーブルのみで 5m を越える長さにした場合や、単にケーブルをつなぎ合わせた場合は、正常に動作しない可能性があります。
- ◆ USB コネクター保護の為、USB2.0 ケーブルを右図に示すように、本体にクランプさせてください。

電源のオン / オフ手順

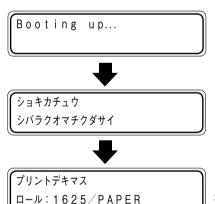
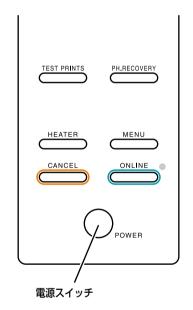
電源のオフ / オンは、プリンターの操作パネル上の電源スイッチで行います。

注　意

◆ プリンターとコンピューターとの接続がされている場合、電源オンはプリンターの電源を一番最初、電源オフはプリンターの電源を一番最後に行ってください。

◆電源オン手順

1 **付属の電源コードをプリンターの電源インレットと電源供給コンセントに差し込みます。**

2 **操作パネル上の電源スイッチを押します。**

電源がオンになると電源投入時の自己診断が行われ、次のように操作パネル上にメッセージが表示されます。

1625(mm) のロールメディアが設定されている場合の例

注　意

◆ プリンターが“ショキカチュウ”や“クリーニングチュウ”にむやみに電源をオフすると、インクのボタ落ちやプリントヘッドを損傷させるおそれがあります。

◇ 操作パネル上の電源スイッチを押しても、操作パネルの LED が点灯しない場合は、電源に問題があります。

◇ 電源投入時の自己診断で異常を検出した場合、LCD にエラーメッセージが表示されます。
「6 章　困ったときに」を参照し、対処してください。

注　意

◆ プリンターに付属の電源コード以外は使用しないでください。

◆ 付属の電源コードが、ご使用になる地域の交流電源仕様に合っていることを確認してください。

◆電源オフ手順

1 プリンターの電源をオフにするには、操作パネル上の電源スイッチを2秒押し続けてオフにします。

シャットダウンチュウ
シバラクオマチクダサイ

上記のようにLCD表示され、シャットダウン処理の実行中であることを示し、シャットダウン終了後、電源が切れます。

シャットダウン時に、プリントヘッドの状態を良好に保つために、フィルキャップ動作（キャップの中をインクで満たしておく状態）が実行されます。
電源をオフにしておく時間が短い場合はCANCELキーを押しながら電源スイッチを押すことにより、フィルキャップ動作を省略して電源オフすることも可能です。
ただし、通常はフィルキャップ動作を実行することを推奨します。

注　意

- ◆ 電源スイッチをオフにしてから再度オンする時は5秒以上経過してから行ってください。
- ◆ プリンターは、プリントヘッドの状態を良好に保つため、プリンターが待機状態になると周期的に、自動でフィルキャップ動作を行います。
  操作パネル上の電源スイッチをオンのままにしていただくことを推奨します。

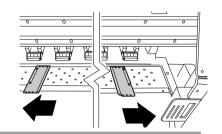
メディアの交換

「ロールメディアの取り付け／取り外し手順」について説明します。
ロールメディア交換には、次の 2 つの場合があります。

・ロールメディアが無くなり、ロールメディアを交換する場合
・ジャム（メディア詰まり）でロールメディアを交換する場合

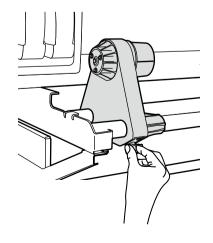
それぞれの場合のロールメディア交換手順を示します。

◆ロールメディアの取り付け手順

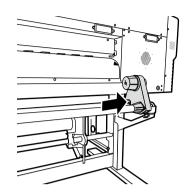
1 フロントカバーを開け、メディアエッジガードをプラテンの両端に寄せます。その後フロントカバーを閉めます。

注　意

◆ あらかじめ、メディアエッジガードがメディアの下に入らないように両側によけておきます。
◆ メディアエッジガードは、ここでのメディア交換作業が完了した後にセットを行ってください。（☞ P.2-19「メディアエッジガードの使い方」）
◆ ロールエンドが紙管に糊付けされているメディアを使用した場合に、糊がペーパーガイドやプラテンに付いてしまう場合があります。その様な場合は必ず清掃して糊を取り除いてからメディアを取り付けてください。

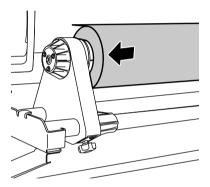
参考 ◇ ブロアー装置 (オプション) をご使用の場合は、作業の邪魔にならない位置に移動してください。

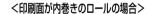
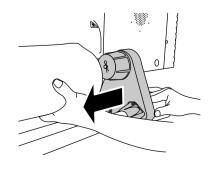
2 左側のメディアホルダーの位置を仮決めし、ネジを回して仮固定します。

3 右側のメディアホルダーを右端に移動します。

注　意

- ◆ ロールエンドが紙管に糊付けされているメディアを使用した場合に、糊がペーパーガイドやプラテンに付いてしまう場合があります。その様な場合は必ず清掃して糊を取り除いてください。

4 ロールメディアを仮固定した左側のメディアホルダーにセットします。

注　意

- ◆ ロールメディアをメディアホルダーに差し込む時、巻きずれを起こしたり、ロールメディアの端面に傷をつけたりしないようご注意ください。
- ◆ 紙管がロールホルダーに固定されるように、しっかりと奥まで差し込んでください。

参考　メディアセットの方向

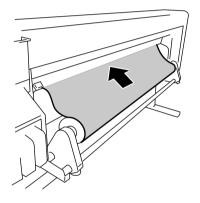
<印刷面が外巻きのロールの場合>

5 ロールメディアの右側にメディアホルダーをセットします。

6 加圧ローラーアップダウンレバーを上げます。

注　意

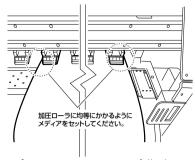
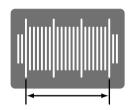
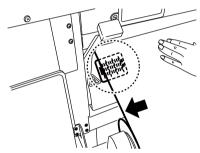
- ◆ 加圧ローラーアップダウンレバーは 3 段階（上、中、下）の切り替え位置があります。ここでは加圧ローラーをアップ（解除）させるために、一番上の位置まで上げてください。
(☞ P.2-20「加圧力切替え方法」)

7 メディアを加圧ローラーとグリットローラーの間に通し、メディアの先端がフロントカバーから出るまで送ります。

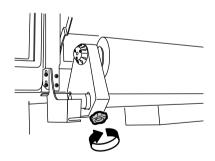
メディアの先端がフロントカバーから 200mm 以上出るまで送ってください。

メディアの先端がフロントカバーから出ると確認音が鳴ります。

注　意

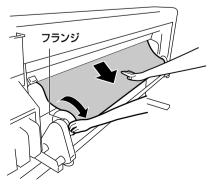
- ◆ 使用環境によっては、メディアがペーパガイドなどに貼り付いて送りにくい場合があります。このような場合は、メディアの両端を持ってペーパガイドから浮かせながら送ってください。
- ◆ 先端がアップカールしていたり、ダウンカールしているメディアは本体内部に引っかかり、正常にセットできない場合があります。大きくアップカール、ダウンカールしているメディアは使用しないでください。
- ◆ ロールメディアの先端がフロントカバーにあたらないように注意してください。
ロールメディアの巻きぐせがある場合、巻きぐせをのばしてからセットしてください。
- ◆ メディアエッジガードがメディアの下に入っていないか確認してください。

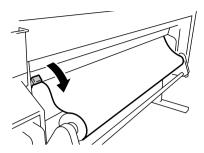
8 メディアの両端が加圧ローラーに均等にかかるように、メディアホルダーを移動します。

参考 ◇ ラベルの目盛り（目安ライン）とメディア幅の関係を覚えておくと、次回メディアセット時の位置合わせの参考になります。

注　意

◆ メディアだけをずらすと、スキューの原因になりますので、メディアホルダーと共に動かしてセット位置を調整してください。

9 左右のメディアホルダーのネジを回して固定します。

10 メディア中央を手で押え、フランジを巻き戻して、たるみをとります。

注　意

◆ 無理にメディア端面を目安ラインに合わせようとせず、ロールに対して真っ直ぐにセットしてください。

11 加圧ローラーアップダウンレバーを下げます。

以降、LCD 画面上のガイダンスに従って操作します。

注　意

◆ 加圧ローラーをダウン（加圧）させるために、一番下の位置まで下げてください。
（☞ P.2-20「加圧力切替え方法」）

12 フロントカバーを開け、メディアエッジガードをメディア両端に合わせます。その後フロントカバーを閉めます。

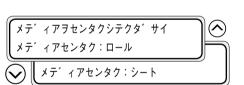
```
エッジガードカクニン
＊ＯＫ？
```

メディアエッジガードがメディアの下に入り込んでいたり、厚いメディアを無理に挿し込んで引っかかったりしていないか確認します。

メディアエッジガードが正しくセットされていることを目視確認し、(OK)キーを押します。

13 ロールメディアかカットメディア（シート）の選択をします。

(∧) キー, (∨) キーで「ロール」か「シート」が選択できます。ここでは「ロール」を選択し、(OK) キーを押します。

（(CANCEL) キーでメディア選択を元に戻します。）

14 メディアの種類を選択します。

(∧)キー，(∨)キーで登録されているメディアの種類を選択し、(OK)キーを押します。（☞P.3-20「トウロクメニュー」）

シュルイヲセンタクシテクダサイ
シュルイセンタク：PAPER
シュルイセンタク：XXX

参考 メディアを新たに登録するには

登録済みメディアの最後に「メディアヲトウロクシテクダサイ」が表示されます。

(OK)キーを押すと、メディア登録メニューに入ります。

メディア登録方法は、トウロクメニューから登録する場合と同じ操作方法となります。

（☞P.3-20「トウロクメニュー」）

(＜) キーを押すと、メディア登録メニューからメディアの種類選択メニューに戻ります。

(CANCEL)キーを押すと、入力前の値に戻ります。

シュルイヲセンタクシテクダサイ
シュルイセンタク：PAPER
シュルイセンタク：XXXXX

（登録済みのメディアが表示される）

シュルイヲセンタクシテクダサイ
メディアヲトウロクシテクダサイ

（メディアの登録メニューに入ります）

15 メディア残量を入力します。

プリンターに取り付けたロールメディアの残量を入力してください。

（☞P.3-18「メディアメニュー」）

ザンリョウヲセットシテクダサイ
＊XXXm

16 メディアセット動作が自動的に開始します。

メディアセットチュウ
シバラクオマチクダサイ

・正常に終了した場合は、オンラインの状態または、オフラインの状態に戻ります。

・正常に終了しなかった場合は、エラーメッセージが表示されます。

手順 **1** に戻ってやり直してください。

注　意

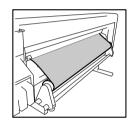
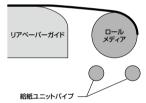
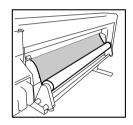
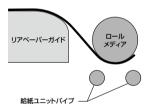
◆ メディアを取り付けた後、メディアがメディアカッターブレード（オプション）のすき間に入り込んでいないか、メディアクリップ（オプション）に挟まれていないか、プラテン上のメディアに浮きやシワがないかなどを確認してください。

注　意

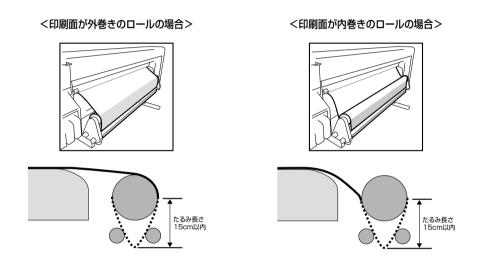
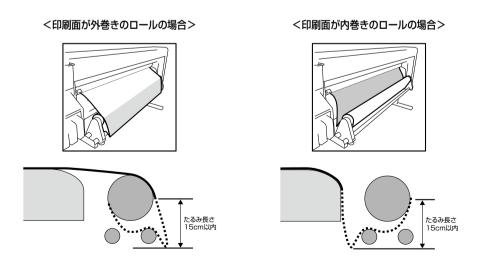
- ◆ ターポリンなど坪量の大きいメディアを使用するときは、ロールメディア側にメディアを 15cm 以上たるませないようにしてください。たるんだメディアの重さでロールメディアが回転してほどけることがあります。
- ◆ 30cm を超えてバックフィードするときは一回でバックフィードせず、メディアを手で回転させ、たるみを取りながらバックフィードしてください。

< OK の場合>

下記の図のようにメディアがピン張り状態になるようにしてください。

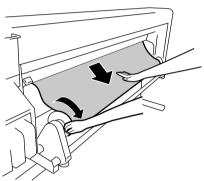
<印刷面が外巻きのロールの場合>

<印刷面が内巻きのロールの場合>

＜ NG の場合＞

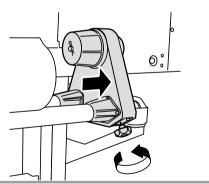
２つの例を下記に示します。例のようにならないようにたるみを取ってください。
上段の図は装置背面側からの斜視図、下段の図は給紙部の断面図です。
たるみの部分は斜視図ではグレーの部分、断面図では破線で示してあります。

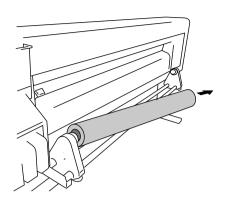
（例 1）

（例 2）

◆ロールメディアの取り外し手順

1 加圧ローラーアップダウンレバーを上げます。

加圧ローラーアップダウンレバー

2 フランジを巻き戻して、メディアを巻き戻します。

3 右側のメディアホルダーのネジをゆるめて、メディアホルダーを右へずらしながら、ロールメディアをメディアホルダーから抜きます。

注　意

◆ ロールメディアをメディアホルダーから抜く際に、ロールメディアを落とさないように注意してください。手が挟まれたり、足の上に落としたりすると、けがをする恐れがあります。

4 左側のメディアホルダーからロールメディアを引き抜いて取り外します。

◆ロールメディアが無くなり、ロールメディアを交換する場合

メディアが無くなると、プリンターが自動検出しメッセージを表示します。
メディアの仕立てによってはプリンターが自動検出できない場合があります。そのまま印刷を続けるとプリンターを汚したり、故障する場合がありますのでメディアの有無を目視確認してください。

1 LCD 画面にメッセージがでます。

```
レバーヲアゲテ
メディアヲセットシテクダサイ
```

2 以降「ロールメディアの取り外し手順」、「ロールメディアの取り付け手順」に従って交換します。

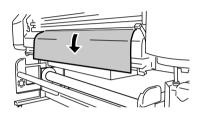
◆ジャム（メディア詰まり）で、ロールメディアを交換する場合

「6 章　困ったときに（メディアジャム（メディア詰まり）処理の仕方）」を参照してください。

◆カットメディアの取り付け手順

1 フロントカバーを開け、メディアエッジガードをプラテンの両端に寄せます。その後フロントカバーを閉めます。

2 加圧ローラーアップダウンレバーを上げます。

3 メディア先端がフロントカバーから出るまで送り出します。

4 メディアの両端が加圧ローラーに均等にかかるようにメディアを移動させます。

5 加圧ローラーアップダウンレバーを下げます。

以降、LCD 画面上のガイダンスに従って操作します。

注　意

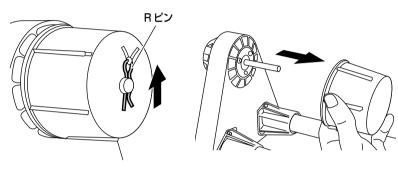
◆「メディアセンタク」は「シート」を選択してください。
◆「シート」の場合は残量を入力できません。

◆カットメディアの取り外し手順

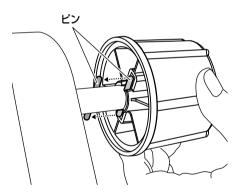
1 加圧ローラーアップダウンレバーを上げて、メディアを取り外します。

◆ 2 インチ紙管を使用する場合

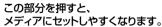
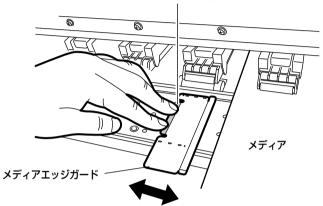
オプションの 2 インチフランジを取り付けることによって、2 インチ紙管を使用することができます。
以下に、2 インチフランジの取り付け手順を説明します。

1 3 インチフランジの R ピンを引き抜き、取り外します。

2 2 インチフランジを取り付けます。

注　意

- ◆ ピンが溝に合うように合わせて取り付けます。
- ◆ 新しいフランジは、取り付けの際、きついことがあります。しっかり奥まで差し込んでください。
- ◆ R ピンやピンを、失くさないようにご注意ください。

3 R ピンを取り付けます。

メディアエッジガードの使い方

メディア両端（エッジ）のカールやケバからプリントヘッドを保護するために、メディア幅に合わせてスライドさせてご使用ください。

注　意

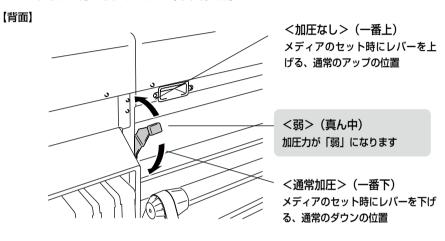
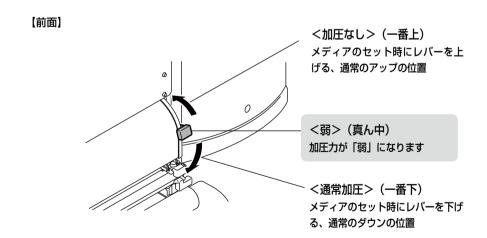
◆ トウロクメニュー中のメディアエッジガードの使用／未使用の設定も行ってください。メディア左右の余白の幅が変わります。（☞ P.3-29「(8) エッジガード」）
◆ メディアエッジガードが汚れた場合、汚れを拭き取ってください。
◆ メディアによっては、メディアエッジガードでも防げないケバがあります。印刷抜けの原因となりますので、事前に除去してください。
◆ メディアエッジガードよりも分厚いメディアは使用できません。無理に押し込んだりしないでください。

 メディアエッジガードをご使用の際には、左右の印刷領域の余白が 10mm となります。

加圧力切替え方法

ご使用になるメディアにあわせて、メディア搬送用の加圧ローラーとグリットローラー間の加圧力を切り替えてご使用ください。
通常は､「通常加圧」でご使用ください。お使いのメディアでスキュー等が発生し、正常にメディア搬送できない場合や、クロスなどコシの弱いメディアをご使用になる場合は、「弱」に切替えてご使用ください。加圧力は加圧ローラーアップダウンレバーの位置で切り替えます。（下図参照）

【背面】

【前面】

メディアを送る「フィード」

メディアを送る（フィードする）機能です。

1 プリンターをオフラインにします。（ONLINEキーを押します。）

```
↑インク            トウロク↓
←メデ゛ィア        チョウセイ→
```

2 MENUキーを押し、メニューグループを第二階層メニューに移行して、フィードメニューを表示します。

```
↑バ゛ックフィード゛      フィード゛↓
←クリーニング゛          サービ゛ス→
```

3 ⌄キーを押し続けます。

```
フィード゛チュウ
```

⌄キーを押し続けている間、ロールメディアが送られます。

カットメディアを使用の場合は、排紙されます。

4 ⌄キーから手を離すとフィードが止まり、オフライン状態（メニューモード）表示に戻ります。

```
↑バ゛ックフィード゛      フィード゛↓
←クリーニング゛          サービ゛ス→
```

参考 ◇ オンライン状態（アイドルモード）表示中に⌄キーを押すと、フィードメニューに入らなくてもメディアを送ることができます。

メディアを戻す「バックフィード」

メディアを戻す（バックフィードする）機能です。

1 プリンターをオフラインにします。（ONLINEキーを押します。）

↑インク	トウロク↓
←メデ゛ィア	チョウセイ→

2 MENUキーを押し、バックフィードメニューを表示します。

↑ハ゛ックフィート゛	フィート゛↓
←クリーニング゛	サーヒ゛ス→

3 ⌃キーを押し続けます。

ハ゛ックフィート゛チュウ

⌃キーを押し続けている間、ロールメディアが戻されます。カットメディアを使用の場合は、排紙されます。

4 ⌃キーから手を離すと止まります。オフライン状態（メニューモード）表示に戻ります。

↑ハ゛ックフィート゛	フィート゛↓
←クリーニング゛	サーヒ゛ス→

参考

◇ フロントペーパーガイドには、メディアの有無を検出する排紙センサーがついています。排紙センサー上にメディアがあればバックフィードすることができます。
また、そのまま⌃キーを押し続けると、排紙センサー位置より最大 14cm までメディアを戻すことができます。

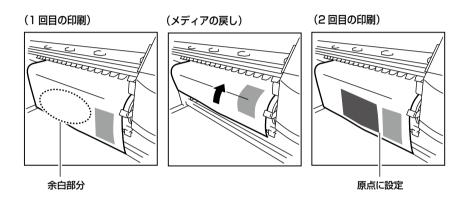
◇ オンライン状態（アイドルモード）表示中に⌃キーを押すと、バックフィードメニューに入らなくてもメディアを戻すことができます。

注　意

◆ 坪量の大きいメディアにてバックフィードをすると、メディアのたるみによりロールメディアが回転してほどけることがあります。
（詳細は ☞ P.2-13、P.2-14 ページ参照）

原点設定機能の使い方

＜原点設定機能＞

原点設定機能とは、たとえば 64" 幅のメディアで A4 程の小さな画像を印刷した場合、下図に示すように、実印刷部以外に大きな余白が発生してしまいます。このような場合に、一度印刷したメディアを戻して、印刷の開始原点を設定し直すことで､この余白部分に印刷を施し､余白部分を有効に活用することができます。この印刷原点の再設定を「原点設定機能」と呼びます。

＜原点設定機能の使い方手順＞

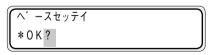
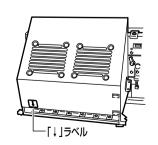
1 バックフィードでメディアを戻します。

（☞ P.2-22　メディアを戻す「バックフィード」）

注　意

◆ メディアを戻す際は、印刷済みの画像イメージが充分に乾いた状態で行ってください。乾燥が不充分な状態で本機能を使用すると、1 回目の印刷画像イメージが損なわれる場合があります。

2 プリンターがオンライン状態（アイドルモード）で、〈 キーを 1.5 秒押し続けると、キャリッジが移動し原点設定可能状態になります。

キャリッジ前面に付いている「↓」ラベルを原点に合わせてください。

3 **「ベースセッテイ」と表示されている状態で、〈，〉キーを押して原点に設定したい位置までキャリッジを移動させます。**

```
ヘ゛ースセッテイ
キャリッシ゛イト゛ウチュウ
```

4 **(OK)キーを押して原点設定を確定します。**

キャリッジが戻り印刷可能状態（オンライン状態（アイドルモード）表示）になります。

```
ヘ゛ースセッテイ
＊ＯＫ？
```

```
ヘ゛ースセッテイチュウ
シハ゛ラクオマチクタ゛サイ
```

```
フ゜リントテ゛キマス
ヘ゛ース：１６２５／ＰＡＰＥＲ
```

設定した原点を解除するには、アイドルモードで〉キーを 1.5 秒押し続けます。

または、加圧ローラーアップダウンレバーを上げると解除します。

解除すると「ベース」から「ロール」または「シート」表示に戻ります。

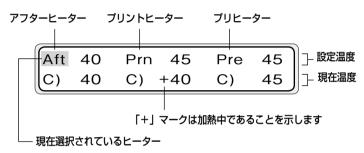
<解除した場合の表示>

```
フ゜リントテ゛キマス
ロール：１６２５／ＰＡＰＥＲ
```

ヒーターコントロールメニューでの温度変更

各ヒーター温度はトウロクメニューで設定されたヒーター初期値が自動設定されます。したがって通常はヒーターコントロールメニューを操作する必要はありません。ヒーターコントロールメニューは、印刷中に温度の微調整を行う場合や、現在のヒーター温度を確認する場合に使用します。

■ ヒーターコントロールメニューの表示

HEATER キーを押すとヒーターコントロールメニューが表示されます。

■ ヒーターコントロールメニューのキー操作

キー	説明
◁, ▷キー	設定するヒーターを選択します。
△, ▽キー	ヒーター温度を設定します。
MENUキー	ヒーターのオン／オフを切り替えます。
OKキー	ヒーターコントロールメニュー表示中に、1.5 秒押し続けると印刷動作がなくても強制的にすべてのヒーターが常時オンになるようにできます (加熱制御を開始します)。
CANCELキー	ヒーターコントロールメニュー表示中に、1.5 秒押し続けると、OKキーで強制的にヒーターをオンした状態を解除します (ヒーター常時オン状態を解除し、ディレイ時間、スタンバイ時間の設定に従った制御に戻ります)。

■ ヒーターコントロールメニューの表示を終了するには

ヒーターコントロールメニュー表示中にHEATERキーを押します。

参考

◇ ヒーターコントロールメニュー表示状態で、キー入力が30秒以上ない場合、自動的に「ヒーター ヒョウジ゛ シュウリョウ」と表示した後、ヒーターコントロールメニューの表示が終了します。
◇ ヒーターコントロールメニュー内でヒーターの温度を変更しても、「トウロク」メニュー内の各ヒーター温度の初期値は変更されません。
◇ システムメニューの「オンドタンイ」の設定が「カシ」の場合、華氏で表示されます。

■ メディア種類とヒーター設定に関する参考情報

メディアの種類ごとの、ヒーター設定温度とプリントモードの参考設定値（初期値)は､以下の通りです。ご使用のメディアにより､設定を変更してお使いください。

メディア分類	メディア種類選択	推奨ヒーター設定温度			印刷モード
		アフター	プリント	プリ	
光沢塩ビ	Glossy	45℃	40℃	45℃	標準/双方向
マット塩ビ	Matte	45℃	40℃	45℃	標準/双方向
ターポリン	Banner	45℃	40℃	45℃	標準/双方向

ヒーター設定温度は、アフター 50℃以下、プリント 45℃以下、プリ 50℃以下の範囲内での設定を推奨します。

注　意

- ◆ **プリントヒーターを高温に設定するとインクの定着性は良くなりますが、メディアのシワや印刷面のマット化の原因になる場合があります。メディアの種類や環境温度にあわせて調整してください。**
- ◆ **プリントヒーターを高温に設定すると、安定した印刷品質を得るために、自動的に印刷速度を落として印刷する場合があります。**
- ◆ **アフター／プリヒーターはプリントヒーター温度に対して +5℃を目安に設定してください。アフター／プリヒーターとプリントヒーターのバランスが悪いとメディアのシワが発生する場合があります。**
- ◆ **プリントヒーターを高温にすると印刷抜けが発生することがあります。**

■ ヒーター温度設定の流れ

① メディアセット時にメディアの種類を選択すると、そのメディアに対して設定されている各ヒーターの温度初期値がメニュー上に表示されます。
(☞ **P.3-30「(13) アフターヒーターショキチ」、☞ P.3-31「(14) プリントヒーターショキチ」、「(15) プリヒーターショキチ」**、)

→ 温度初期値が設定されている場合は、ヒーターがオンになります。
（印刷が開始されるまで加熱は開始しません。）

→ 温度初期値を「＊＊」に設定した場合は､ヒーターがオフになります。
（ヒーターの設定温度表示はオフになっています。）

② コンピューターからプリントデータを送信すると、印刷開始前に下記のいずれかの動作を行います。

→ メディアに設定されている「ユウセンジュンイ　ヒーター」が「データ」になっている場合（☞ **P.3-33「(22) ユウセンジュンイヒーター」**）

- RIP（プリントデータ，ジョブ）で設定した温度設定値でヒーターコントロールメニュー上の設定温度を上書きし、加熱を開始します。
- RIP（プリントデータ，ジョブ）で温度を設定しない場合は、ヒーターコントロールメニュー上の設定温度で加熱を開始します。

→ メディアに設定されている「ユウセンジュンイ　ヒーター」が「パネル」になっている場合（☞ **P.3-33「(22) ユウセンジュンイヒーター」**）

RIP で設定した温度設定値は無視され、操作パネルの設定温度で加熱を開始します。

③ アフター，プリント，プリのすべてのヒーターの現在温度が設定温度より 1℃低い温度に到達すると、印刷を開始します。

→ 現在温度が設定温度より高い場合は、温度が下がるのを待たずに印刷を開始します。印刷開始後も、ヒーターは設定温度をキープし続けるために温度制御を行います。

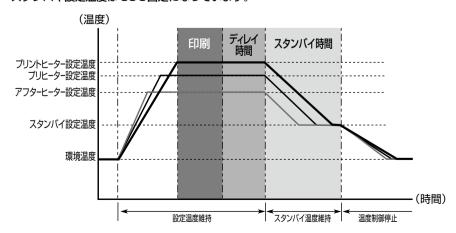
④ 印刷中はヒーターコントロールメニューで設定温度を変えることにより、印刷しながら温度が変わります。印刷が終了しても、本項で変えられた設定温度が「設定温度」として残ります。ただし、トウロクメニューのヒーター初期値の温度は変更されません。

⑤ 以後の印刷は、②に戻ります。

参考

◇ **ヒーターの動作は、どの手段で温度を設定したとしても、パネルに表示されている状態で動作しています。**

◇ **ヒーターの動作と設定温度の変移を下図に示します。「ディレイ時間」、「スタンバイ時間」はオフライン時のヒーターメニューで変更することができます。（☞ P.3-62「ヒーターメニュー」）**

◇ **スタンバイ設定温度は 35℃固定になっています。**

プリントヘッドの高さを変える

メディアの厚さに応じて、プリントヘッドの高さを切り替えて使用してください。
プリントヘッドの高さの切替えは、ヘッド上下機構を使って行います。

1 プリンターをオフラインにします。
（ONLINEキーを押します。）

↑ｲﾝｸ　　　　　ﾄｳﾛｸ↓
←ﾒﾃﾞｨｱ　　　　ﾁｮｳｾｲ→

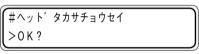
2 MENUキーを押し、サービスメニューを表示します。

↑ﾊﾞｯｸﾌｨｰﾄﾞ　　　ﾌｨｰﾄﾞ↓
←ｸﾘｰﾆﾝｸﾞ　　　　ｻｰﾋﾞｽ→

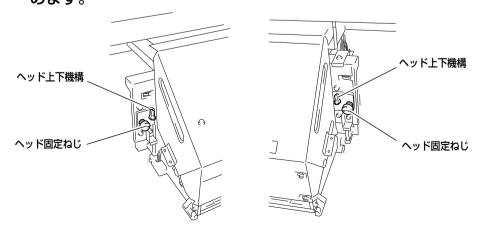
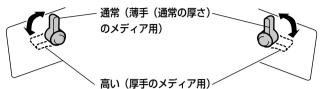
3 〉キーを押し、∨キーを押して「ヘッドタカサチョウセイ」を表示します。

#ﾍｯﾄﾞﾀｶｻﾁｮｳｾｲ
>

4 OKキーを押します。

#ﾍｯﾄﾞﾀｶｻﾁｮｳｾｲ
>OK?

ｷｬﾘｯｼﾞｲﾄﾞｳﾁｭｳ
ｼﾊﾞﾗｸｵﾏﾁｸﾀﾞｻｲ

5 フロントカバーとメンテカバーを開け、ヘッド固定ねじ（2本）をゆるめます。

ｶﾊﾞｰｦｱｹﾃﾀｶｻｦ
ﾁｮｳｾｲｼﾃｸﾀﾞｻｲ

6 プリントヘッドの高さをヘッド上下機構を使って切替えます。

参考 ◇「高い」は「通常」より 0.5mm 高くなります。

一般的に光沢塩ビ・マット塩ビは通常の高さ、ターポリン、FF は高い側で使用します。
メディアの厚さが 0.5mm 以上ある場合は、メディアの種類にかかわらず高い側にしてください。
また、薄手のメディアでも、メディアのシワや浮き等によりプリントヘッドとこすれる場合は、高い側で使用してください。

7 ヘッド固定ねじ（2 本）をしめます。

注 意

- ◆ ヘッド固定ねじ（2 本）をしめたままヘッド上下機構を動かさないでください。ヘッド上下機構が破損する場合があります。
- ◆ プリントヘッドの高さを変更する場合、手で軽くキャリッジを下方に押し付けながら、ヘッド固定ねじをしめてください。
- ◆ プリントヘッドの高さを変更した場合には、トウロクメニュー中の「ヘッドタカサ」も変更してください。(☞ P.3-32「(18) ヘッドタカサ」)
- ◆ プリントヘッドの高さを変更すると、双方向印刷での印刷ずれが起きる場合があります。その場合、トウロクメニュー中の「オウフクホセイチ」で、往復位置を調整してください。(☞ P.3-35「(27) オウフクホセイチ１ L」～「(32) オウフクホセイチ３ R」)
- ◆ プリンターの側板とキャリッジとの隙間が狭く、ヘッド上下機構やヘッド固定ねじに手が届かない場合は、手でキャリッジを右（または左）に移動させてください。
- ◆ ヘッド固定ねじがゆるんだ状態でキャリッジが動くと、メディアやエッジガードとこすれて、画質不良・故障の原因になりますので、左右のヘッド固定ねじをしめたことを確認してください。
- ◆ ヘッド上下機構は両方同時に操作して下さい。また､必ず両方同じ位置にしてください。

◇ ヘッド高さの調整中は警告音が鳴ります。(☞ P.3-58「(5) ケイコクオン」)

インクカートリッジの交換

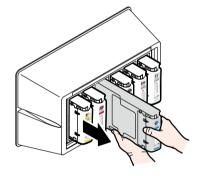
「インクカートリッジの交換手順」について説明します。
インクカートリッジの交換手順には、次の３つの場合があります。

・インクが無くなり、交換する場合
・インクカートリッジが未装着の場合
・インクカートリッジが正常に認識できない場合

注　意

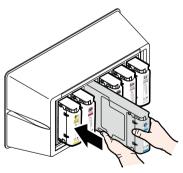
◆ インクを使い切るまでインクカートリッジは抜かないでください。
◆ 印刷中にインクカートリッジを抜かないでください。
◆ インクカートリッジの緑色の基板（IC チップ）には触れないでください。
◆ インクカートリッジ交換後、交換したカートリッジの色で、印刷抜けが発生する場合は、インクカートリッジを２，３回抜き差しした後、クリーニング（ツウジョウ）を行ってください。（☞ P.4-19）

◆インクカートリッジの交換手順

1 インクカートリッジをプリンターから抜き取ります。

2 新しいインクカートリッジを各色のスロットに差し込みます。

奥までしっかりと差し込んでください。

インクカートリッジは、色ごとに装着場所が決まっています。（☞ P.1-13「インクカートリッジ」）

他色のスロットにむりやり差し込まないでください。

3 交換終了。

・正常に終了した場合は、オンラインの状態または、オフラインの状態に戻ります。
・正常に終了しなかった場合は、エラーメッセージが表示されます。
　手順 **1** に戻ってやり直してください。

◆インクが無くなり、交換する場合

1 ガイダンスメッセージが表示されます。

```
ＸＸインクヲ
コウカンシテクダサイ
```

XX：インク名
K：ブラック　Lm：ライトマゼンタ
Lc：ライトシアン　C：シアン
M：マゼンタ　Y：イエロー

2 以降、「インクカートリッジの交換手順」に従って交換します。

◆インクカートリッジが未装着の場合

1 ガイダンスメッセージが表示されます。

```
ＸＸインクヲ
セットシテクダサイ
```

XX：インク名
K：ブラック　Lm：ライトマゼンタ
Lc：ライトシアン　C：シアン
M：マゼンタ　Y：イエロー

2 以降、「インクカートリッジの交換手順」に従って装着します。

◆インクカートリッジが正常に認識できない場合

1 ガイダンスメッセージが表示されます。

```
ＸＸインクヲ　　　　　　ｎｎ
カクニンシテクダサイ
```

XX：インク名
K：ブラック　Lm：ライトマゼンタ
Lc：ライトシアン　C：シアン
M：マゼンタ　Y：イエロー
nn：エラーコード

2 以降、「インクカートリッジの交換手順」に従って装着し直してください。

注　意

- ◆ 正常に認識できないインクカートリッジは使用できません。
- ◆ 装着し直してもガイダンスメッセージが表示されてる場合はサービス拠点に連絡してください。

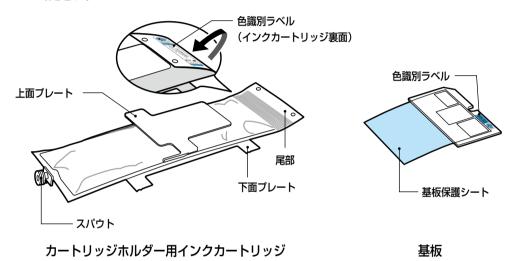
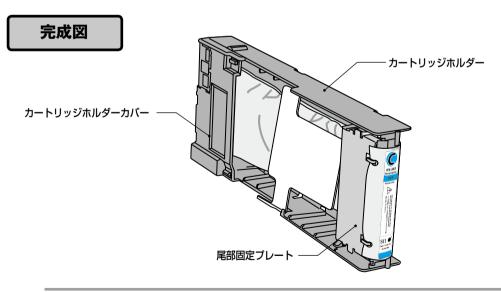
リユース式カートリッジの交換

「リユース式カートリッジの交換手順」について説明します。

消耗品

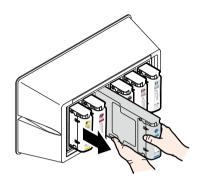
リユース式カートリッジの名称や品番については（☞ **付 -3「消耗品構成」**）をご参照ください。

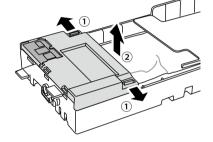
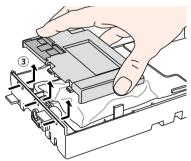
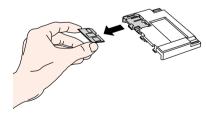
カートリッジホルダー用インクカートリッジ　　基板

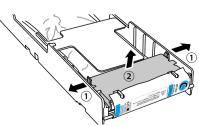
完成図

注　意

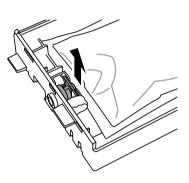
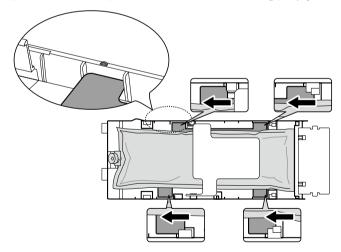
- ◆ インクカートリッジ尾部の色識別ラベルおよび基板の色識別ラベルの、色と品番が同じであることを確認してください。
- ◆ カートリッジホルダーから取り外した使用済みインクカートリッジには、通常、インクが若干残っていますが、不良ではありません。
- ◆ 使用済みのインクカートリッジを交換する際は、必ず、基板も同時に交換してください。

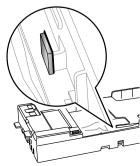
◆使用済みインクカートリッジの取り外し手順

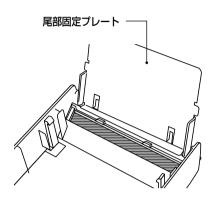
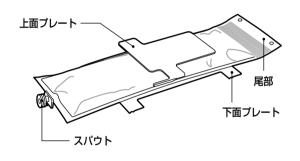
1 使用済みインクカートリッジを、カートリッジホルダーごと、プリンターから抜き取ります。

2 カートリッジホルダーカバーを取り外します。

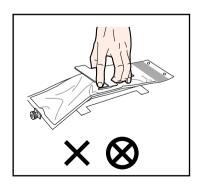
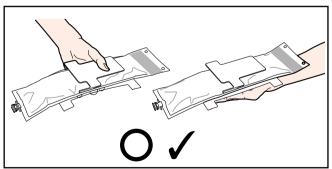
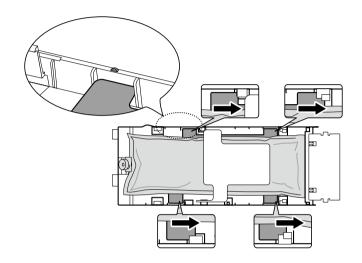
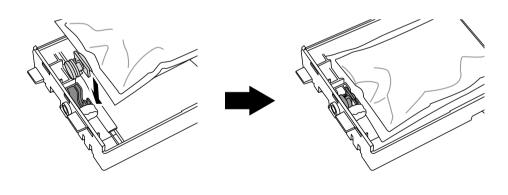
カートリッジホルダーカバーを固定しているツメを外側（矢印①の方向）へ拡げながら、カートリッジホルダーカバーを上（矢印②の方向）に持ち上げます。

カートリッジホルダーカバーを矢印③の方向へ引き抜きます。

3 基板をカートリッジホルダーカバーから取り外します。

4 尾部固定プレートを外します。

尾部固定プレートを固定しているツメを外側へ拡げながら、尾部固定プレートを上に持ち上げます。

5 使用済みインクカートリッジの尾部を尾部固定プレートから外します。

6 使用済みインクカートリッジのスパウトをカートリッジホルダーから外します。

7 インクカートリッジの下面プレートの４箇所の突起を、図で示すカートリッジホルダーの突起部分の位置を基準に、矢印の方向へスライドさせ、カートリッジホルダーから取り外します。

注　意

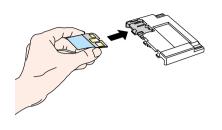
◆ 使用済みインクカートリッジを外す際に、カートリッジホルダーの銀板を剥がさないようにしてください。

◆インクカートリッジの取り付け手順

1 インクカートリッジの上面プレートが上を向いていることを確認し、尾部を右図の斜線部分の穴へ挿入します。

注　意

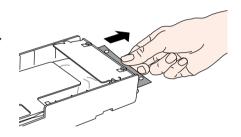
◆ インクカートリッジの上面のプレート部分のみを持たないでください。プレートが剥がれる場合があります。上面と下面のプレートを同時に持つか、インクカートリッジを下から持って挿入してください。

2 インクカートリッジの下面プレートの 4 箇所の突起を、図で示すカートリッジホルダーの突起部分の位置を基準に装着し、矢印の方向へプレートガイド下にスライドします。

3 インクカートリッジのスパウトをカートリッジホルダーに差し込みます。

注　意

◆ スパウトが斜めになった状態で、インクカートリッジを取り付けないでください。

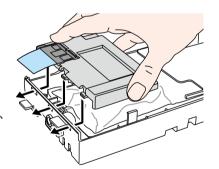
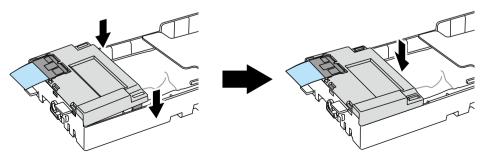
4 基板をカートリッジホルダーカバーに取り付けます。

金色のプレート面を上面とし、基板の形状とカートリッジホルダーカバーの形状が一致するように取り付けます。

注　意

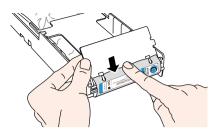
◆ 基板保護シートは、リユース式カートリッジをプリンターへ装着する直前まで、剥がさないでください。接触不良を起こすことがあります。

5 インクカートリッジの尾部を軽く引っ張ります。

6 カートリッジホルダーカバーを取り付けます。

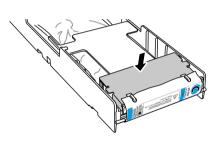
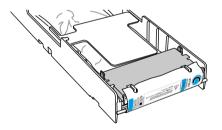
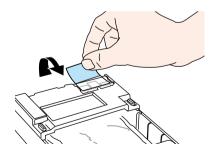
カートリッジホルダーカバーの突起３箇所をカートリッジホルダーの穴へ差し込みます。

カートリッジホルダーカバーをツメに差し込み、固定します。

注　意

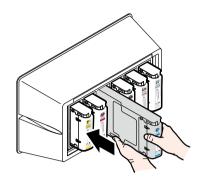
◆ 基板保護シートをカーリッジホルダーとカーリッジホルダーカバーの間に、はさみこまないでください。

7 インクカートリッジ尾部の穴を、尾部固定プレートのフックに引っ掛けます。

注　意

◆ インクカートリッジの穴の形が変わるほど強く引っ張らないでください。

8 尾部固定プレートをカートリッジホルダーのツメに押し込みます。

9 基板保護シートを剥がします。

注　意

◆ 基板保護シートは、必ず剥がしてください。基板保護シートを剥がさずにインクカートリッジをプリンターに装着すると、故障の原因となります。

10 リユース式カートリッジをスロットに差し込みます。

注　意

◆ インクカーリッジ尾部のラベルとインクボックスのラベルの色が同じであることを確認してください。

◆ 尾部固定プレートを内側に強く押さないでください。

廃インクボトルの交換

「廃インクボトルの交換手順」について説明します。
廃インクボトルの交換手順には、次の２つの場合があります。

・廃インクボトルが未装着の場合
・廃インクボトルが一杯になった場合

それぞれの場合の処置手順についても示します。

注　意

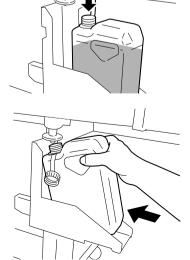
◆ プリンターの動作中は廃インクボトルの交換作業は行わないでください。
◆ 交換作業の際にはインクがこぼれないように注意してください。また汚れ防止の紙などを敷いてから行ってください。

◆廃インクボトルの交換手順

1 一杯になった廃インクボトルを少し傾けながら、廃インクの注ぎ口（管）から外します。

2 キャップをしてプリンターから取り外します。

3 廃インクボトル周辺のこぼれたインクを拭き取ります。

4 新品の（空の）廃インクボトルを取り付けます。

5 廃インクカウンターのリセット（クリア）の選択メッセージが表示されます。

```
#ハイインクカウンタリセット
*NO
```

```
#ハイインクカウンタリセット
*YES
```

注　意

◆ 廃インクカウンターとは、プリンターが自動で廃インク量を積算し、廃インクが一杯に溜まった際に、新品の (空の) 廃インクボトルに交換することを促すメッセージを表示をするものです。積算はあくまで擬似的なものであり正確に一杯 (フル状態) を検出するものではありません。基本的に新品の (空の) 廃インクボトルを装着して、ハイインクカウンタリセットを行った (＊ YES にした) ことを前提に、廃インク量を積算しています。この前提を崩すとフル状態を誤検出し、廃インクが漏れ出すことがありますのでご注意ください。

6 ハイインクカウンタリセット＊ YES を選択し、(OK)キーを押します。

◆廃インクボトルが未装着の場合の処置

1 ガイダンスメッセージが表示されます。

```
ボトルガミソウチャクデス
ボトルヲセットシテクダサイ
```

2 廃インクボトルを取り付けます。☞ P.2-40「廃インクボトルの交換手順」手順 1 ～ 4 を参照。

3 廃インクカウンターのリセット（クリア）の選択メッセージが表示されます。

```
#ハイインクカウンタリセット
＊NO
```

```
#ハイインクカウンタリセット
＊YES
```

4 ハイインクカウンタリセット＊ YES を選択し OK キーを押します。

注　意

- ◆ 新品の（空の）廃インクボトルを取り付ける場合は、＊ YES を選択します。
- ◆ 廃インクの残量を目視確認するために、一旦廃インクボトルを外した場合（使いかけで少し廃インクが入っている場合）は、＊ NO を選択します。

スキューが検出されたとき

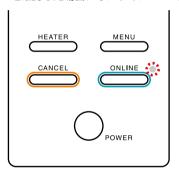
本機は、印刷開始時及び、印刷長 3 メートル毎（※）にメディアのスキューチェックを行っています。規定以上のズレを検出した場合、プリントポーズモードになり、印刷を続行するか、中止するかの選択画面を表示します。
（※トウロクメニューのスキューチェックの設定がオンの場合）

（印刷中）

```
ﾌﾟﾘﾝﾄﾁｭｳ
NORMAL L ND BI
```

（スキューチェックの実施）

```
ｽｷｭｰｦｹﾝｼｭﾂｼﾏｼﾀ
ｿﾞｯｺｳ/ﾁｭｳｼ
```

スキューを確認した場合、オンライン LED が点滅

OK キーで印刷続行

```
ﾌﾟﾘﾝﾄﾁｭｳ
NORMAL L ND BI
```

CANCEL キーで印刷中止

```
ﾚﾊﾞｰｦｱｹﾞﾃ
ﾒﾃﾞｨｱｦｻｲｾｯﾄｼﾃｸﾀﾞｻｲ
```

参考 そのまま続行すると...

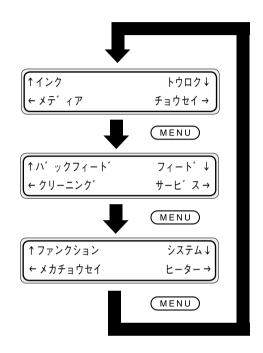
◇ そのまま「ゾッコウ」を選択すると、停止している部分から印刷を再開できますが、メディアがメディアエッジガードから外れたり、メディアジャムになる可能性があります。したがって、その後の印刷が長いとズレが大きくなり、本機が故障する恐れがあるので“チュウシ”を選択することをおすすめします。

3 操作パネルのメニュー操作

本章では、操作パネルメニューの基本操作とその構造および各メニューでの操作説明をします。

（本章の内容）

オフライン時のメニュー基本操作

オンライン状態のアイドルモードで ONLINE キーを押すと、オフライン状態となり、LCD にメニューグループが表示され、メニュー操作が可能な状態となります。

注　意

◆ 基本的にエラー表示中であっても、ONLINE キーを押すと、オフライン状態になりますが、エラー種類や、エラー処置中ではオフライン状態にならない場合があります。その場合は、エラーを解除してから、オフライン状態としてください。

◆メニュー階層構造

メニューは、下記の階層構造となっています。

＜第一階層メニュー＞

第一階層で表示されるメニューグループです。
下位層に複数のメニューがあるものもあります。

＜第二階層メニュー＞

第一階層メニューの下層のメニューグループです。

＜第三階層メニュー＞

第二階層メニューの下層のメニューグループです。

＜パラメーター＞

選択されたメニューの項目の選択や数値入力などをします。
選択肢入力方式，数値入力方式，文字入力方式，実行方式があります。

◆メニューツリー

↑インク トウロク↓
←メディア チョウセイ→
MENU
インクメニュー
P.3-17
XXインクザンリョウ：ZZZ%
セイゾウビ：YY/MM/DD
P.3-17
メディアメニュー
P.3-18
ロール（PAPER）
XXXXmm
P.3-18
トグル表示
メディアザンリョウ
ZZZm
シート（PAPER）
YYYYmmxZZZZmm
P.3-18
ベース（PAPER）
YYYYmm
P.3-19
トグル表示
メディアザンリョウ
ZZZm
トウロクメニュー
P.3-20
#メディアセンタク
>01：TYPE01
P.3-24
#メディアメイ
>01：TYPE01
P.3-24
#インサツモード
>01：ヒョウジュン
P.3-24
#スマートパス
>01：ジャク
P.3-25
#ノウド
>01：ツウジョウ
P.3-26
#インサツホウコウ
>01：ソウホウコウ
P.3-27
#ナラシドウサモード
>01：ナシ
P.3-28
①
②
③

①
②
③
#エッジ ガード
>01：シヨウ
P.3-29
#スキューチェック
>01：オン
P.3-29
#メディアオクリモード
>01：シーケンス1
P.3-29
#マキトリホウシキ
>01：タルミマキ
P.3-29
#メディアセットモード
>01：ツウジョウ
P.3-30
#キュウチャクファン
>01：ツウジョウ
P.3-30
#アフターヒーターショキチ
>01：**°C
P.3-31
#プリントヒーターショキチ
>01：**°C
P.3-31
#プリヒーターショキチ
>01：**°C
P.3-31
#カラーストライプ
>01：オン
P.3-32
#ヘッド タカサ
>01：ヒョウジュン
P.3-32
#クリーニング モード
>01：オン
P.3-33
#ユウセンジュンイ オクリ
>01：データ
P.3-33
#ユウセンジュンイ モード
>01：データ
P.3-33
#ユウセンジュンイ ヒーター
>01：データ
P.3-33
#タイキカンカク
>01：0000スキャン
P.3-34
④

①
②
④
#タイキジ゛カン
>01:10ヒ゛ョウ
P.3-34
#メデ゛ィアザ゛ンリョウ
>01:YYYm
P.3-34
#オクリホセイチ
>01:100.00%
P.3-35
#オウフクホセイチ1 L XX
>01:+00
P.3-35
#オウフクホセイチ1 R XX
>01:+00
P.3-35
#オウフクホセイチ2 L XX
>01:+00
P.3-36
#オウフクホセイチ2 R XX
>01:+00
P.3-36
#オウフクホセイチ3 L XX
>01:+00
P.3-36
#オウフクホセイチ3 R XX
>01:+00
P.3-37
#メデ゛ィアサクジ゛ョ
>02:TYPE02 OK?
P.3-37
#ハ゜ラメータ コピ゜ーモト
>01
P.3-37
#ハ゜ラメータ コピ゜ーサキ
>01→02*
P.3-38

①
②
チョウセイメニュー
P.3-40
#オクリ シング゛ル
#インサツジ゛ッコウ>
P.3-41
#オウフク オート
#インサツジ゛ッコウ>
P.3-44
#オクリ マルチ
#インサツジ゛ッコウ>
P.3-42
#オウフク マニュアル
#インサツジ゛ッコウ>
P.3-44
↑バ゛ックフーィド゛ フィード゛↓
←クリーニング゛ サービ゛ス→
バックフィードメニュー
P.3-46
バ゛ックフィード゛チュウ
P.3-46
クリーニングメニュー
P.3-47
#クリーニング゛
>ツウジ゛ョウ
P.3-47
フィードメニュー
P.3-48
フィード゛チュウ
P.3-48
サービスメニュー
P.3-49
#キャップ゜クリーニング゛
>
P.3-49
#サービ゛ス
>サービ゛スクリーン
P.3-49
#ワイパ゜フレード゛コウカン
>
P.3-50
#ワイプ゜クリーニング゛エキコウカン
>
P.3-50
#ワイパ゜スポ゜ンジ゛コウカン
>
P.3-50
#フィルキャップ゜
>
P.3-50
#ヘッド゛タカサチョウセイ
>
P.3-51
#ヘッド゛カクニン
>
P.3-51
MENU
⑤

3
メニュー操作

⑤
↑ファンクション システム↓
←メカチョウセイ ヒーター→
ファンクションメニュー
P.3-52
#メニューインサツ
>
P.3-52
#エラーログ゛インサツ
>
P.3-52
#リレキインサツ
>
P.3-52
メカチョウセイメニュー
P.3-53
#ノズ゛ルプ゜リント
#インサツシ゛ッコウ>
P.3-53
#ノズ゛ルイチチョウセイ
#インサツシ゛ッコウ>
P.3-54
#ヘッド゛チョウセイ
#インサツシ゛ッコウ>
P.3-54
#センサーチョウセイ
#インサツシ゛ッコウ>
P.3-55
#マキトリチョウセイ
#インサツシ゛ッコウ>
P.3-56
システムメニュー
P.3-57
#LANGUAGE
>JAPANESE
P.3-57
#タイムゾ゛ーン(YY/MM/DD)
*yy/mm/dd hh:mi +xx
P.3-57
#ナガ゛サタンイ
>ミリ
P.3-58
#オンド゛タンイ
>セッシ
P.3-58
#ケイコクオン
>オン
P.3-58
#BOOTバ゛ージ゛ョン
*X. XX
P.3-59
#F/Wバ゛ージ゛ョン
*X. XX_YY
P.3-59
⑥
⑦

注　意

◆ 各メニューのパラメーター表示単位は、システムメニューで設定された単位で表示されます。
長さ：システムメニューの「ナガサタンイ」（メートル系、インチ系）
温度：システムメニューの「オンドタンイ」（摂氏、華氏）

◆基本的な操作手順と使用キーについて

(1) メニュー操作が可能な状態にする

・オフライン状態で、メニュー操作が可能になります。
・オフライン状態になるとメニューグループ画面が表示されます。

(2) メニューグループの選択

[∧], [∨], [＜], [＞]キー
　：直接メニューグループを選択します。

[MENU]キー　：メニューグループ表示画面を切り替えます。

(3) メニューの選択

[∧], [∨]キー　：同一階層のメニューを切り換えます。

[＜]キー　：メニューグループ選択の状態に戻ります。

[OK]キー　：メニューを確定し、パラメーターを変更できる状態にします。

(4) パラメーターの設定または変更

[∧], [∨]キー　：パラメーターを切り換えます。また、数値入力時に数値をアップ／ダウンさせます。

[＜], [＞]キー　：数値入力時の桁を移動します。

(5) パラメーター設定の確定またはキャンセル

[OK]キー　：パラメーターを確定します。

[CANCEL]キー　：入力したパラメーターをキャンセルし、メニュー選択の状態に戻ります。

(6) 設定終了

[ONLINE]キーを押すと、オンライン状態に戻ります。

◆選択肢入力方式，数値入力方式，実行方式，文字入力方式の操作手順

■ パラメーターが選択肢入力方式の場合

ここでは、トウロクメニューの「インサツモード」で説明します。

1 **(∧),(∨),(<),(>)キーで、メニューグループを選択します。(∨)キーでトウロクメニューを選択します。**

```
↑インク　　　　　　　　トウロク↓
←メディア　　　　　　　チョウセイ→
```

2 **(∧),(∨)キーで、トウロクメニューの下位メニューを選択します。**

```
#インサツモード
>01：ヒョウジュン
```

ここでは、**「インサツモード」**を選択します。

なお、(<)キーで、**1** の状態に戻ることができます。

3 **(OK)キーを押し、パラメーターを変更できる状態にします。**

```
#インサツモード
*01：ヒョウジュン
```

4 **(∧)，(∨)キーで、そのメニューのパラメーターを選択します。**

```
#インサツモード
*01：コウガシツ
```

ここでは、**「コウガシツ」**を選択します。

5 **(OK)キーを押すと、パラメーターの変更が実行され、2 の状態に戻ります。**

```
#インサツモード
>01：コウガシツ
```

■ パラメーターが数値入力方式の場合

ここでは、トウロクメニューの「オクリホセイチ」で説明します。

1 ⌃，⌄，＜，＞キーで、メニューグループを選択します。

⌄キーでトウロクメニューを選択します。

```
↑インク            トウロク↓
←メディア          チョウセイ→
```

2 ⌃，⌄キーで、トウロクメニューの下位メニューを選択します。

ここでは、「オクリホセイチ」を選択します。

なお、＜キーで、**1** の状態に戻ることができます。

```
#オクリホセイチ
>01：100.00%
```

3 OKキーを押し、パラメーターを変更できる状態にします。

```
#オクリホセイチ
*01：100.00%
```

4 ＜，＞キーで、修正する桁まで移動します。

```
#オクリホセイチ
*01：100.00%
```

5 ⌃，⌄キーを押して数値の修正します。

```
#オクリホセイチ
*01：100.10%
```

6 OKキーを押すと、パラメーターの変更が実行され、**2** の状態に戻ります。

```
#オクリホセイチ
>01：100.10%
```

■ パラメーター実行方式の場合

ケース 1：印刷などを実行する場合

ここでは、ファンクションメニューの「メニューインサツ」で説明します。

1 ⌃，⌄，〈，〉キーで、メニューグループを選択します。

⌃キーでファンクションメニューを選択します。

```
↑ファンクション　　　　　システム↓
←メカチョウセイ　　　　　ヒーター→
```

2 ⌃，⌄キーで、ファンクションメニューの下位メニューを選択します。

ここでは、「メニューインサツ」を選択します。

なお、〈キーで、1 の状態に戻ることができます。

```
#メニューインサツ
>
```

3 OKキーを押します。

```
#メニューインサツ
*OK?
```

4 OKキーを押して、実行します。

なお、CANCELキーを押して、実行せずに 2 の状態に戻ることができます。

```
#メニューインサツ
*ジッコウチュウ
```

5 実行終了後、2 の状態に戻ります。

ケース 2：表示のみの場合

ここでは、システムメニューの「BOOT バージョン」メニューで説明します。

1 (∧)，(∨)，(<)，(>) **キーで、メニューグループを選択します。**

(∨)キーでシステムメニューを選択します。

```
↑ファンクション          システム↓
←メカチョウセイ          ヒーター→
```

2 (∧)，(∨)**キーで、システムメニューの下位メニューを選択します。**

「BOOT バージョン」が選択された時点で、内容が表示されます。

```
#BOOTバ゛ージョン
*X. XX
```

＊x：BOOT バージョン

3 (∧)，(∨)**キーで、システムメニューの他の下位メニューを選択できます。**

```
#F／Wバ゛ージョン
*X. XX_YY
```

なお、(<)キーで、**1** の状態に戻ることができます。

■ パラメーターが文字入力方式の場合

ここでは、トウロクメニューの「メディアメイ」メニューで説明します。

1 ⌃, ⌄, ＜, ＞キーで、メニューグループを選択します。

⌄キーでトウロクメニューを選択します。

```
↑インク        トウロク↓
←メディア    チョウセイ→
```

2 ⌃, ⌄キーで、トウロクメニューの下位メニューを選択します。

ここでは、「メディアメイメニュー」を選択します。

```
#メディアメイ
>01:PAPER
```

3 OKキーを押し、パラメーターを変更できる状態にします。

```
#メディアセンタク
*01:PAPER
```

4 MENU＋⌃キーまたはMENU＋⌄キーで文字コードグループ、⌃キーまたは⌄キーを押して文字を修正します。

（☞P3-16 <文字選択表>を参照。）

```
#メディアセンタク
*01:コAPER
```

5 ＜, ＞キーで、修正する桁まで移動し、文字を修正します。

```
#メディアセンタク
*01:コートシER
```

6 OKキーで確定します。

```
#メディアセンタク
>01:コートシ
```

＜文字選択表＞

文字コードグループ選択		文字選択 （∨）キー ⟷ （∧）キー
バックワード （MENU ＋（∨）キー）	記号	（スペース），！，“，＃，＄，％，＆， ‘，（、），＊，＋，（，），－，．，／， ：，；，＜，＝，＞，？，＠，［，］，＾， ＾，＿＿，｛，｜，｝
↑	数字	0～9
	アルファベット・大文字	A～Z
	アルファベット・小文字	a～z
	カタカナ：ア行	ア，イ，ウ，エ，オ
	カタカナ：カ行	カ，キ，ク，ケ，コ
	カタカナ：サ行	サ，シ，ス，セ，ソ
	カタカナ：タ行	タ，チ，ツ，テ，ト
↓	カタカナ：ナ行	ナ，ニ，ヌ，ネ，ノ
フォワード （MENU ＋（∧）キー）	カタカナ：ハ行	ハ，ヒ，フ，ヘ，ホ
	カタカナ：マ行	マ，ミ，ム，メ，モ
	カタカナ：ヤ行	ヤ，ユ，ヨ
	カタカナ：ラ行	ラ，リ，ル，レ，ロ
	カタカナ：ワ行	ワ，ヲ，ン，゛，゜，ー
	小文字カタカナ	ァ，ィ，ゥ，ェ，ォ，ャ，ュ，ョ，ッ

注　意

◆ システムメニュー「LANGUAGE」で JAPANESE（日本語）以外を選択した場合、カタカナの入力はできません。（☞ P.3-57）

各メニューの操作説明

◇ 各メニュー表示において、Lm（ライトマゼンタ）、Lc（ライトシアン）に関する表示は６色機のみとなります。（４色機には表示されません）

◆インクメニュー

インク情報を表示します。(∧)キーを押すと各色のインク情報が３秒間隔で表示されます。

インク色の表示順は、Y→M→C→K→Lm→Lc となります。

(1)　インクザンリョウは、インクの残りの量を表示します。
　　セイゾウビは、インクカートリッジの製造年月日を表示します。

(2)　(MENU)キーを押すことで、３秒待たずに次色へ進むことができます。

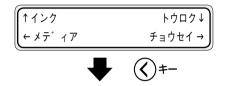
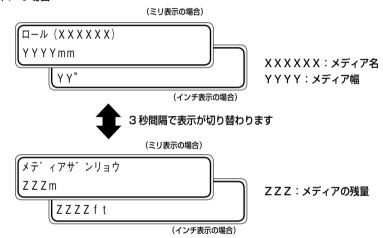
(3)　(CANCEL)キーまたは(＜)キーを押すとオフライン状態（メニューモード）表示に戻ります。

(4)　(ONLINE)キーを押すとオンライン状態（アイドルモード）表示に移行します。

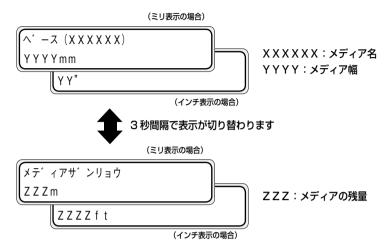
注　意

◆ インク残量が少なくなると、「XX　インクザンリョウ：LOW」と表示されます。

◆メディアメニュー

メディア情報を表示します。Ⓚキーを押すと以下のメディア情報が表示されます。

<ロールメディアの場合>

<カットメディア（シート）の場合>

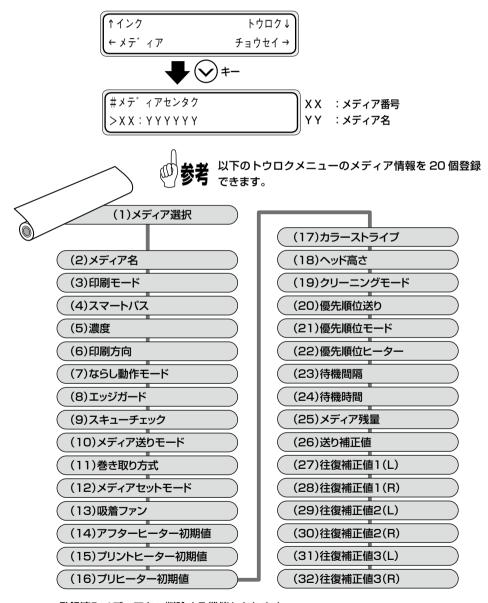
「シート」はメディア残量を表示しません。

<ベースの場合（原点設定機能で原点設定した場合）>

(1) メディアザンリョウは、メディアの残りの量を表示します。「＊＊」が表示された場合は、残量が無効であることを示します。

(2) CANCELキーおよび〈キーを押すとオフライン状態（メニューモード）表示に戻ります。

(3) ONLINEキーを押すとオンライン状態（アイドルモード）表示に移行します。

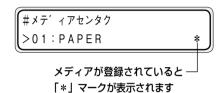
◆トウロクメニュー

印刷に関するパラメーターの設定を行います。(∨)キーを押すとパラメーターの設定が可能となります。

登録済みメディアを、削除する機能もあります。
(☞ P.3-37「(33) メディアサクジョ」
登録済みメディアのパラメーターを、他のメディアにコピーする機能もあります。
(☞ P.3-37「(34) パラメーターコピーモト」、P.3-38「(35) パラメーターコピーサキ」)

■ メディアを選択する方法

1 (∨)キーでトウロクメニューを選択します。

↑インク　　トウロク↓
←メディア　　チョウセイ→

2 (∧)，(∨)キーで、「メディアセンタク」を選択します。

3 (OK)キーを押し、パラメーターを変更できるようにします。

4 (∧)，(∨)キーで、登録したいメディア番号を選択します。

5 (OK)キーを押すと、メディア番号が確定し、**2** の状態に戻ります。

#メディアセンタク
>02:Glossy　*

■ プリセットメディア初期値

最大 20 種類（メディア番号 01 ～ 20）のメディアが登録でき、登録したメディアの削除や変更も可能です。ただしメディア番号 01(PAPER) および現在プリンターにセットされているメディアは削除することはできません。
以下に初期値を示します。

メディア番号 設定内容	01	02	03	04	05
メディア名	PAPER	Glossy	Matte	Banner	BLT_B
印刷モード	標準	標準	標準	標準	標準
スマートパス	弱	弱	弱	弱	弱
濃度	通常	通常	通常	通常	高濃度
印刷方向	双方向	双方向	双方向	双方向	双方向
ならし動作モード	なし	なし	なし	なし	なし
エッジガード	使用	使用	使用	使用	使用
スキューチェック	オン	オン	オン	オン	オン
メディア送りモード	シーケンス 1	シーケンス 1	シーケンス 1	シーケンス 1	シーケンス 1
巻き取り方式	たるみ巻き	たるみ巻き	たるみ巻き	たるみ巻き	たるみ巻き
メディアセットモード	通常	通常	通常	通常	通常
吸着ファン	通常	通常	通常	通常	通常
アフターヒーター初期値	＊＊（オフ）	45℃	45℃	45℃	45℃
プリントヒーター初期値	＊＊（オフ）	40℃	40℃	40℃	40℃
プリヒーター初期値	＊＊（オフ）	45℃	45℃	45℃	45℃
カラーストライプ	オン	オン	オン	オン	オン
ヘッド高さ	標準	標準	標準	標準	標準
クリーニングモード	オン	オン	オン	オン	オン
優先順位 (送り補正値)	データ	データ	データ	データ	データ
優先順位（印刷モード）	データ	データ	データ	データ	データ
優先順位(ヒーター温度)	データ	データ	データ	データ	データ
待機間隔	0（なし）	0（なし）	0（なし）	0（なし）	0（なし）
待機時間	10 秒	10 秒	10 秒	10 秒	10 秒
メディア残量	0m	0m	0m	0m	0m
送り補正値	100.00%	100.00%	100.00%	100.00%	100.00%
往復補正値 1（L）	00	00	00	00	00
往復補正値 1（R）	00	00	00	00	00
往復補正値 2（L）	00	00	00	00	00
往復補正値 2（R）	00	00	00	00	00
往復補正値 3（L）	00	00	00	00	00
往復補正値 3（R）	00	00	00	00	00

■ パラメーターの設定方法

ここでは、メディア番号「02」のメディアに、送り補正値（P.3-24）を入力する説明をします。

1 トウロクメニューから(∧)，(∨)キーで、「#オクリホセイチ」を表示します。

```
#オクリホセイチ
>02:100.00%
```

2 (OK)キーを押しパラメーターを変更できるようにして、パラメーターを修正します。

```
#オクリホセイチ
*02:100.00%
```

注　意

◆ 送り補正値は、送り調整パターンを印刷し補正値を決定してください。（P.4-27）

3 (OK)キーを入力するとメッセージが表示されます。

（このメッセージは、新規登録時のみ表示されます）

```
#オクリホセイチ
*02:シンキトウロク　OK?
```

4 (OK)キー入力で、メディア番号 02 を新規登録し、LCD 画面の末尾に＊（メディア登録済みマーク）が表示され、**1** の状態に戻ります。

```
#オクリホセイチ
>02:100.00%          *
```

メディアが登録されていると「*」マークが表示されます

なお、(CANCEL)キーを押すと新規登録を中止し、**1** の状態に戻ります。

(1) メディアセンタク

新規登録またはパラメーター修正するメディアのメディア番号を選択します。
メディア番号は、「01」から「20」までの20種類を選択することができます。

```
#メデ゛ィアセンタク
>XX：YYYYYY
```

XX　：選択したメディア番号
YYYYYY：メディア名

◇ トウロクメニューに入ると、最初に表示されるメディア番号は、現在プリンターにセットされているメディア番号になります。
メディアがセットされていない場合は、メディア番号「01」が表示されます。

<パラメーター (選択肢入力) >

01 ～ 20

(2) メディアメイ

「メディアセンタク」で選んだメディア番号にメディア名をつけます（登録します）。メディア名は、6 桁の文字（または記号）が入力できます。
6 桁の文字には、記号、英数字、カタカナを使用することができます。

```
#メデ゛ィアメイ
>XX：YYYYYY
```

XX：選択したメディア番号
YYYYYY：メディア名

<パラメーター (文字入力) >

6 桁の文字入力（記号、英数字、カナ、他）☞ P.3-16

(3) インサツモード

出力解像度を選択します。出力解像度が高いほど、粒状感のない高精細な画質を得ることができます。

```
#インサツモート゛
>XX：ヒョウシ゛ュン
```

XX　：選択したメディア番号

<パラメーター（選択肢入力）>

ヒョウシ゛ュン（標準）	印刷モードの特性は次ページ一覧を参考にしてください。
コウカ゛シツ（高画質）	
サイコウカ゛シツ（最高画質）	
コウソク（高速）	

印刷モードは 4 種類あります。メディアの種類や生産性、画質に合わせてお選びください。

1.「ヒョウジュン」　【生産性＋画質重視】

540 × 540dpi の解像度で印刷します。通常はこのモードを選択してください。生産性と画質のバランスの取れたモードです。

2.「コウガシツ」　【画質重視】

720 × 720dpi の解像度で印刷します。画質を重視する場合に選択してください。標準よりも高精細な画質を得られるモードです。

3.「サイコウガシツ」　【画質重視】

900 × 900dpi の解像度で印刷します。より画質を重視する場合に選択してください。もっとも高精細な画質を得られるモードです。

4.「コウソク」　【生産性重視】

540 × 360dpi の解像度で印刷します。生産性を重視する場合に選択してください。印刷速度が標準に比べて約 1.5 倍向上するモードです。

注　意

- ◆ **推奨の印刷モードは「ヒョウジュン」です。他のモードは生産性や画質などのお客様が重視する目的に応じて使い分けてください。**
- ◆ **出力解像度が高いほど印刷速度は低下します。**

(4) スマートパス

印刷画質（ムラなど）を改善するための自動補正の強度を設定します。弱中強の順に補正強度 (改善効果) が増します。

```
#スマートパ゜ス
>XX:シ゛ャク
```

ＸＸ　：選択したメディア番号

<パラメーター（選択肢入力）>

シ゛ャク（弱）	通常はこの設定を選択してください。最高の生産性が発揮できます。
チュウ（中）	バンディングや色むらなどの画質不良が気になる場合に選択してください。画質改善の効果が増します。
キョウ（強）	「チュウ」でも画質不良の改善ができない場合に選択してください。より強力な画質改善効果を得ることができます。

注　意

- ◆ **「チュウ」設定は、「ジャク」設定に比べて印刷速度が約 33% 低下します。**
- ◆ **「キョウ」設定は、「ジャク」設定に比べて印刷速度が約 50% 低下します。**
- ◆ **補正強度が強いほど印刷速度は低下します。**

◇ 印刷速度は「インサツモード」と「スマートパス」の組み合わせによりおよそ次の表のようになります。

注　意

◆ 双方向で印刷したときの速度です。片方向で印刷したときはおよそ半分の速度になります。

			最大印刷速度 (双方向印刷時) [m^2/h] (※ 1)		
モデル名	インサツモード	出力解像度	スパートパス ジャク	スマートパス チュウ	スマートパス キョウ
IP-5620	コウソク	540 × 360dpi	17.8 (※ 2)	11.7	8.8
	ヒョウジュン	540 × 540dpi	11.9	8.0	5.9
	コウガシツ	720 × 720dpi	7.2	4.7	3.6
	サイコウガシツ	900 × 900dpi	4.7	3.1	2.4
IP-5520	コウソク	540 × 360dpi	16.8 (※ 2)	11.0	8.3
	ヒョウジュン	540 × 540dpi	11.2	7.5	5.6
	コウガシツ	720 × 720dpi	6.8	4.5	3.4
	サイコウガシツ	900 × 900dpi	4.4	3.0	2.2

※ 1　それぞれのモードにおける最大印刷速度です。使用するメディア幅などの条件によっては本速度より低下する場合があります。

※ 2　「インサツモード : コウソク、スマートパス : ジャク」の組み合わせに設定した場合、環境温度が 20℃未満になると、スマートパスの設定が自動的に「チュウ」に切り替わって動作します。

(5) ノウド

印刷濃度を設定します。

```
#ノウド゛
>XX:ツウシ゛ョウ
```

XX　：選択したメディア番号

<パラメーター（選択肢入力）>

ツウシ゛ョウ（通常）	通常はこの設定を選択してください。
コウノウド（高濃度）	電飾メディアなどの高濃度印刷を必要とする場合に選択してください。印刷速度を変えずに濃度を 1.5 ～ 2 倍にアップすることができます。

◇ 「コウノウド」を選択したときの効果は「インサツモード」との組み合わせによって変わります。

◇ 「ツウジョウ」の濃度を 1.0 とした場合、「コウノウド」を選択したときの濃度はおよそ次の表のようになります。

	ノウド	
インサツモード	ツウジョウ	コウノウド
コウソク	1.0	1.0（※ 1）
ヒョウジュン	1.0	1.5（※ 2）
コウガシツ	1.0	2.0
サイコウガシツ	1.0	2.0

※ 1　インサツモードが「コウソク」の場合は、ノウドを「コウノウド」に設定しても濃度は変わりません。
※ 2 「インサツモード：ヒョウジュン、ノウド：コウノウド、スマートパス：ジャク」の組み合わせに設定した場合、環境温度が 20 度未満になると、スマートパスの設定が自動的に「チュウ」に切り替わって動作します。

注　意

◆ **「コウノウド」は、インク量が多いため、ニジミやインク乾燥不良になる場合があります。その場合はより遅い印刷速度で印刷してください。**

(6) インサツホウコウ

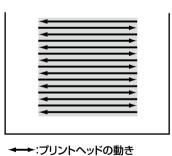
メディアの印刷方向を選択します。

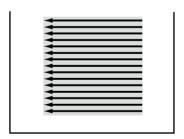
```
#インサツホウコウ
>XX：ソウホウコウ
```

XX　：選択したメディア番号

<パラメーター（選択肢入力）>

ソウホウコウ	双方向で印刷を行います。プリントヘッドのスキャンの往路と復路（行き帰り）で印刷します。
カタホウコウ	片方向で印刷を行います。プリントヘッドのスキャンの往路だけで印刷します。

● **双方向印刷**

:プリントヘッドの動き
:印刷イメージ

● **片方向印刷**

:プリントヘッドの動き
:印刷イメージ

(7) ナラシドウサモード

メディアのならし動作モードを選択します。
メディアをプリンターに取り付けたまま待機状態が長時間続くと、湿度やほこりなどによってロールメディアの先端がシワになったり汚れたりして、かすれや印刷抜けが発生することがあります。
本機能は、このようなことを避けるために使用します。

```
#ナラシト゛ウサモート゛
>XX:ナシ
```

XX　：選択したメディア番号

ならし動作の設定は、使用状況に応じてパラメーター設定してください。
ここで設定されている時間経過しても、印刷データ受信がなく印刷待機している場合、自動的にロールメディアの先端部分をフロントカバーの前まで送ります。（すでにロールメディアの先端部分がフロントカバーの前にある場合は、省略されます。）
その後､印刷データ受信があり印刷が開始されると､自動的にメディアならし送り動作（メディアの送りと戻し動作の繰り返し）を行ないます。
また、電源オフする時も同様に、自動的にロールメディアの先端部をフロントカバーの前まで送り、電源オフとなります。（巻取り装置を使用している場合は、そのまま電源オフとなります。）

＜パラメーター（選択肢入力）＞

ナシ	本動作を行いません。連続印刷する場合や、シワになりにくいメディアを使用時に選択してください。ただし、長時間待機状態にしてしまった場合、メディアにシワができて印刷抜けなどになることがあります。
３０フン	30 分経過したら本動作を行ないます。30 分未満の場合は印刷スタート前に毎回メディアならし動作を行います。高湿度環境下での印刷が多く、そのときのメディアのシワがひどい場合に設定してください。
１シ゛カン	1 時間経過したら本動作を行ないます。印刷の間隔が 1 時間程度開くことが多く、そのときのメディアのシワがひどい場合に設定してください。
２シ゛カン	2 時間経過したら本動作を行ないます。印刷の間隔が 2 時間程度開くことが多く、そのときのメディアのシワがひどい場合に設定してください。
４シ゛カン	4 時間経過したら本動作を行ないます。印刷の間隔が 4 時間程度開くことが多く、そのときのメディアのシワがひどい場合に設定してください。

(8) エッジガード

メディアエッジガードを使用するかどうかを選択します。
この設定により、メディアの左右の余白が変わります。

```
#エッジ゛ガ゛ード゛
>XX:シヨウ
```

XX ：選択したメディア番号

<パラメーター（選択肢入力）>

シヨウ	エッジガードを使用時に設定します。
ミシヨウ	エッジガードを未使用時に設定します。

◇ **エッジガードを使用すると印刷の左右の余白が 10mm、エッジガードを使用しないと、左右の余白が 5mm になります。**

(9) スキューチェック

印刷中に、メディアのスキューチェックを実行するかを選択します。

```
#スキューチェック
>XX:オン
```

XX ：選択したメディア番号

<パラメーター（選択肢入力）>

オン	印刷中に一定間隔でスキューチェックを実行します。
オフ	印刷中のスキューチェックを実行しません。

(10) メディアオクリモード

メディアの送りモードを選択します。

```
#メデ゛ィアオクリモード゛
>XX:シーケンス1
```

XX ：選択したメディア番号

<パラメーター（選択肢入力）>

シーケンス 1	通常のメディア送りシーケンスでメディア送りを実施します。
シーケンス 2	メディアがプラテンに貼り付かないように、メディアを小刻みに前後に揺すりながら送るシーケンスです。（「シーケンス 1」よりも印刷時間が長くなります。）

(11) マキトリホウシキ

メディアを巻取り装置で巻き取る方式を選択します。

```
#マキトリホウシキ
>XX:タルミマキ
```

XX ：選択したメディア番号

<パラメーター（選択肢入力）>

タルミマキ	たるみ巻き方式で巻取り装置を駆動します。
テンションマキ	テンション巻き方式で巻取り装置を駆動します。

注　意

◆ **巻取り装置を使用しない場合は、「タルミマキ」を選択してください。**

(12) メディアセットモード

メディア交換 / セット時にメディアの先端を検出し、待機位置に戻すかどうかを選択します。巻取り装置使用の場合は、本設定に関わらずメディアを待機位置に戻すことはしません。

```
#ﾒﾃﾞｨｱｾｯﾄﾓｰﾄﾞ
>XX:ﾂｳｼﾞｮｳ
```

XX ：選択したメディア番号

<パラメーター（選択肢入力）>

ツウジョウ	メディア交換 / セット時にメディア幅の検出、メディア送り実施後、スキューチェックしてメディアセット完了します。
セツヤク	メディア交換 / セット時にメディア幅の検出、メディア戻し実施後、メディア先端を検出してメディアセットを完了します。

注　意

通常は、「ツウジョウ」設定でご使用ください。
「セツヤク」を選択した場合は、次の点に注意してください。

- ◆ **プリンターにメディアをセットする前に、あらかじめメディアの先端をプラテンと平行になるように真っ直ぐに切ってください。切らずに使用すると先端部の印刷の欠けやプラテンのインクによる汚れや、メディアジャム（メディア詰まり）の原因となります。**
- ◆ **プリンターにセットするメディアは、あらかじめ先端にシワ、テープや糊の付着がないか確認してください。そのまま使用するとメディアジャム（メディア詰まり）の原因となります。**

(13) キュウチャクファン

プラテンにメディアを吸着させる力（ファンの風量）を選択します。

```
#ｷｭｳﾁｬｸﾌｧﾝ
>XX:ﾂｳｼﾞｮｳ
```

XX ：選択したメディア番号

<パラメーター（選択肢入力方式）>

ツウジョウ	通常の風量でメディアを吸着します。
ジャク	通常より風量を落としてメディアを吸着します。

注　意

- ◆ **コシの弱いクロス（布）メディアなどで、シワが発生する場合は「ジャク」を選択してください。**
- ◆ **「ジャク」を選択した場合、ブロアー装置（オプション）のファン風量も弱くなります。**

(14) アフターヒーターショキチ

フロントヒーター温度を設定します。
ただし、「＊＊」が設定された場合は、
ヒーターはオフになります。

(単位が摂氏の場合)

```
#アフターヒーターショキチ
>XX:30° C
```

(単位が摂氏の場合)

```
#アフターヒーターショキチ
>01:086° F
```

<パラメーター（数値入力）>

15℃～55℃	摂氏の設定温度範囲
59 F～131 F	華氏の設定温度範囲

(15) プリントヒーターショキチ

プリントヒーター温度を設定します。
ただし、「＊＊」が設定された場合は、
ヒーターはオフになります。

(単位が摂氏の場合)

```
#プ゜リントヒーターショキチ
>01:30° C
```

(単位が摂氏の場合)

```
#プ゜リントヒーターショキチ
>01:086° F
```

<パラメーター（数値入力）>

15℃～55℃	摂氏の設定温度範囲
59 F～131 F	華氏の設定温度範囲

(16) プリヒーターショキチ

リアヒーター温度を設定します。
ただし、「＊＊」が設定された場合は、
ヒーターはオフになります。

(単位が摂氏の場合)

```
#プ゜リヒーターショキチ
>01:50° C
```

(単位が摂氏の場合)

```
#プ゜リヒーターショキチ
>01:122° F
```

<パラメーター（数値入力）>

15℃～55℃	摂氏の設定温度範囲
59 F～131 F	華氏の設定温度範囲

参考

◇ 摂氏・華氏の表示切替は、システムメニューの「(4) オンドタンイ」(☞ P.3-58) で行ないます。

摂氏 ⟺ 華氏変換式
F=(9/5) C+32
C=(5/9) (F-32)

(17) カラーストライプ

カラーストライプを印刷するか選択します。

```
#カラーストライプ゚
>XX:オン
```

XX： 選択したメディア番号

<パラメーター（選択肢入力）>

オン	カラーストライプをつけます。
オフ	カラーストライプをつけません。

◇ カラーストライプをつけない場合、印刷抜けが発生することがあります。なるべくカラーストライプをつけて印刷することをお薦めします。
◇ オフラインでの各種調整パターンなどでは、本設定に関わらずカラーストライプがつきます。
◇ カラーストライプを「オン」に設定すると、印刷領域が約 20mm 狭くなります。

(18) ヘッドタカサ

プリントヘッドの高さと使用しているメディアの厚さにより、高さを選択します。

```
#ヘッド゛タカサ
>XX:ヒョウシ゛ュン
```

XX： 選択したメディア番号

<パラメーター（選択肢入力）>

ヒョウシ゛ュン	通常時に使用します。
タカイ	プリントヘッドの高さを高い状態にして、薄いメディアを使用した時に使用します。

注　意

◆ プリンター本体側のヘッド高さの変更と合わせて選択してください。(☞ P.2-28)

(19) クリーニングモード

プリントヘッドの状態を保つために、プリンターが自動でクリーニングを実行するかを選択します。

```
#ｸﾘｰﾆﾝｸﾞ ﾓｰﾄﾞ
>XX:ｵﾝ
```

XX： 選択したメディア番号

<パラメーター (選択肢入力) >

オン	過去の印刷履歴から、印刷開始時もしくは、印刷終了時に自動でクリーニングを実行するモードです。
オフ	自動クリーニングを実行しません。

(20) ユウセンジュンイ　オクリ

送り補正値の優先順位を選択します。

```
#ﾕｳｾﾝｼﾞｭﾝｲ ｵｸﾘ
>XX:ﾃﾞｰﾀ
```

XX： 選択したメディア番号

<パラメーター（選択肢入力）>

データ	コンピューターの RIP から転送されたデータ（補正値）を優先します。
パネル	プリンターのトウロクメニュー (またはオクリメニュー) で設定した補正値を優先します。

(21) ユウセンジュンイ　モード

印刷するモード（印刷モード、スマートパス、濃度）の優先順位を選択します。

```
#ﾕｳｾﾝｼﾞｭﾝｲ ﾓｰﾄﾞ
>XX:ﾃﾞｰﾀ
```

XX： 選択したメディア番号

<パラメーター（選択肢入力）>

データ	コンピューターの RIP から転送されたデータ（印刷モード、スマートパス、濃度）を優先します。
パネル	プリンターのトウロクメニューで設定した印刷モード、スマートパス、濃度を優先します。

(22) ユウセンジュンイ　ヒーター

ヒーター温度設定の優先順位を選択します。

```
#ﾕｳｾﾝ ｼﾞｭﾝｲ ﾋｰﾀｰ
>XX:ﾃﾞｰﾀ
```

XX： 選択したメディア番号

<パラメーター（選択肢入力）>

データ	コンピューターの RIP から転送されたデータ（温度）を優先します。
パネル	プリンターのトウロクメニューで設定した温度を優先します。

(23) タイキカンカク

```
#タイキカンカク
>XX:0000ｽｷｬﾝ
```

XX： 選択したメディア番号

印刷中に一定の印刷長さごとにプリントヘッドのスキャンを待機します。
プリントヘッドの印刷抜けの予防のために設定します。通常は「0スキャン」に設定してください。

◇ 「(23) タイキカンカク」は印刷の長さをスキャン数で設定します。
◇ 「(24) タイキジカン」は待機する時間を設定します。

<パラメーター（数値入力）>

0000 ~ 9999	「0」はスキャン待機を行いません。

(24) タイキジカン

```
#タイキジ カン
>XX:10ビ ョウ
```

XX： 選択したメディア番号

「(23) タイキカンカク」に応じてスキャンを待機する時間を設定します。「(23) タイキカンカク」が「0」に設定されている場合、本パラメーターは無視されます。
プリントヘッドの印刷抜けの予防のために設定します。「10ビョウ」を目安に設定してください。

<パラメーター（数値入力）>

1 ~ 99 秒

(25) メディアザンリョウ

```
#メデ ィアザ ンリョウ
>XX:YYYm
```

```
>XX:YYYYft
```

XX： 選択したメディア番号
YY：メディア残量

メディア残量を設定します。あらかじめメディア残量を設定しておくと、印刷した長さを減じた残りの量をメディアメニューで知ることができます。
無効な入力など「＊＊＊」が表示された場合は、メディアの残量管理を行いません。

<パラメーター（数値入力）>

0 ~ 999 m	メートル単位系の入力単位はメートル（m）。
0 ~ 3278ft	インチ単位系の入力単位はフィート（ft）。

◇ パラメーター表示単位は、システムメニューの「ナガサタンイ」で設定された単位で表示されます。

(26) オクリホセイチ

メディアの送り補正値を設定します。
バンディング（パスのつなぎ目の横縞）が目立たない送り量を設定します。

```
#オクリホセイチ
>XX:YYY.YY%
```

XX：選択したメディア番号
YYY．YY：送り補正値

<パラメーター(数値入力)>

097.00 ～ 103.00%

注　意

送り補正値の設定方法は「4章　送り補正値の設定」を参照してください。(☞ P.4-27)

(27) オウフクホセイチ１　L

往復補正は、双方向印刷の往路と復路でのずれを合わせます。「オウフクホセイ１」は印刷モードが「コウソク」および「ヒョウジュン」の往復補正値を設定します。ここでは「L列」の補正値を設定します。

```
#オウフクホセイチ1 L          YY
>XX:+00
```

YY： インク色
XX： 選択したメディア番号

表示順　Y→M→C→K→Lm→Lc

<パラメーター(数値入力)>

＋／－、－15～＋15

注　意

◆ 往復補正値の設定方法は「4章　ヘッド印刷位置補正」(☞ P.4-32) を参照してください。

(28) オウフクホセイチ１　R

印刷モードが「コウソク」および「ヒョウジュン」の場合の「R列」の往復補正値を設定します。

```
#オウフクホセイチ1 R          YY
>XX:+00
```

YY： インク色
XX： 選択したメディア番号

表示順　Y→M→C→K→Lm→Lc

<パラメーター(数値入力)>

＋／－、－15～＋15

注　意

◆ 往復補正値の設定方法は「4章　ヘッド印刷位置補正」(☞ P.4-32) を参照してください。

(29) オウフクホセイチ２　L

「オウフクホセイ 2」は印刷モードが「コウガシツ」の往復補正値を設定します。ここでは「L列」の補正値を設定します。

```
#オウフクホセイチ2　L　　　　　YY
>XX:+00
```

ＹＹ： インク色
ＸＸ： 選択したメディア番号

表示順　Ｙ→Ｍ→Ｃ→Ｋ→Ｌｍ→Ｌｃ

<パラメーター (数値入力) >

＋／ー、－ 15 ～＋ 15

注　意

◆ 往復補正値の設定方法は「4 章　ヘッド印刷位置補正」(☞ P.4-32) を参照してください。

(30) オウフクホセイチ２　R

印刷モードが「コウガシツ」の場合の「R列」の往復補正値を設定します。

```
#オウフクホセイチ2　R　　　　　YY
>XX:+00
```

ＹＹ： インク色
ＸＸ： 選択したメディア番号

表示順　Ｙ→Ｍ→Ｃ→Ｋ→Ｌｍ→Ｌｃ

<パラメーター (数値入力) >

＋／ー、－ 15 ～＋ 15

注　意

◆ 往復補正値の設定方法は「4 章　ヘッド印刷位置補正」(☞ P.4-32) を参照してください。

(31) オウフクホセイチ３　L

「オウフクホセイ 3」は印刷モードが「サイコウガシツ」の往復補正値を設定します。ここでは「L列」の補正値を設定します。

```
#オウフクホセイチ3　L　　　　　YY
>XX:+00
```

ＹＹ： インク色
ＸＸ： 選択したメディア番号

表示順　Ｙ→Ｍ→Ｃ→Ｋ→Ｌｍ→Ｌｃ

<パラメーター (数値入力) >

＋／ー、－ 15 ～＋ 15

注　意

◆ 往復補正値の設定方法は「4 章　ヘッド印刷位置補正」(☞ P.4-32) を参照してください。

(32) オウフクホセイチ３　R

印刷モードが「サイコウガシツ」の場合の「R列」の往復補正値を設定します。

```
#オウフクホセイチ3　R　　　　YY
>XX:+00
```

YY： インク色
XX： 選択したメディア番号

表示順　Y→M→C→K→Ｌm→Ｌc

<パラメーター (数値入力) >

＋／−、− 15 〜＋ 15

注　意

◆ 往復補正値の設定方法は「4 章　ヘッド印刷位置補正」(☞ P.4-32) を参照してください。

(33) メディアサクジョ

登録済みメディアの削除を行います。
登録したメディア番号の 01 〜 20 までの選択が可能です。
登録メディア 01 は基準メディアと位置付けられ削除できません。また、現在プリンターにセットされているメディアも削除することはできません。
なお、削除の操作を行うと、確認（OK?）のガイダンスが表示されますので、OKキーを押してください。

```
#メディアサクジョ
>02:TYPE02
```

```
#メディアサクジョ
*02:TYPE02　OK?
```

(34) パラメーターコピーモト

コピー元のメディア番号を登録します。
登録済みメディアのメディア情報（パラメーター）を他のメディアへコピーする際に使用します。コピー先は「(35)パラメーターコピーサキ」で指定します。

```
#パラメータコピーモト
>XX
```

XX：　コピー元メディア番号

注　意

◆ コピー元に指定したメディア番号が削除された場合、コピー元は自動的に「01」に設定されます。

<パラメーター（選択肢入力）>

01 〜 20	登録されている番号のみ表示されます。

3
メニュー操作

(35) パラメーターコピーサキ

コピー先のメディア番号を選択します。

```
#ハ゜ラメータコピ゜ーサキ
>XX→YY*
```

XX：　コピー元メディア番号
YY：　コピー先メディア番号

<パラメーター（選択肢入力）>

01 ～ 20	すでに登録済みの番号には「*」が表示されます。

■ パラメーターコピー元、パラメーターコピー先

コピー元とコピー先を選択し、メディア情報のコピーをします。
コピーされるパラメーターはトウロクメニューの（2）から（35）の各設定内容です。
登録済みのメディア情報コピーを行う機能で、**「(34) パラメーターコピーモト」**と**「(35) パラメーターコピーサキ」**セットでパラメーターのコピーができます。
詳細は、次ページのパラメーターコピー方法を参照してください。

■ パラメーターコピー方法

ここでは、メディア番号 13 番に登録されているパラメーターをメディア番号 20 番にコピーする方法を説明します。

1 コピー元を選択します。

```
#ﾊﾟﾗﾒｰﾀｺﾋﾟｰﾓﾄ
>01
```

```
#ﾊﾟﾗﾒｰﾀｺﾋﾟｰﾓﾄ
*01
```

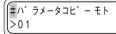
```
#ﾊﾟﾗﾒｰﾀｺﾋﾟｰﾓﾄ
*13
```

```
#ﾊﾟﾗﾒｰﾀｺﾋﾟｰﾓﾄ
>13
```

(OK)キーで決定します。

(∧), (∨)キーでメディア番号を選びます。(コピー元番号は、登録されている番号のみ表示します)

(OK)キーでコピー元のメディア番号を決定します。

各メニューの途中で (CANCEL)キーが押された場合は、最初のメニューに戻ります。

2 コピー先を選択します。

表示されている左側の数値（13）はコピー元のメディア番号です。右側の数値はコピー先のメディア番号です。

```
#ﾊﾟﾗﾒｰﾀｺﾋﾟｰｻｷ
>13→01*
```

```
#ﾊﾟﾗﾒｰﾀｺﾋﾟｰｻｷ
*13→01*
```

```
#ﾊﾟﾗﾒｰﾀｺﾋﾟｰｻｷ
*13→20
```

```
#ﾊﾟﾗﾒｰﾀｺﾋﾟｰｻｷ
*13→20   OK?
```

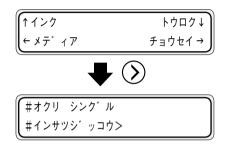
```
#ﾊﾟﾗﾒｰﾀｺﾋﾟｰｻｷ
*13→20*
```

(∧), (∨)キーでメディア番号を選びます。(コピー先番号は、０１～２０まで表示します)
コピー先が登録済みの場合、番号の後に＊が表示されます。

(OK)キーでコピー先のメディア番号を決定します。
コピー先が新規登録の場合、番号の後の＊はありません。
(OK)キーでパラメーターコピーを実行します。

各メニューの途中で (CANCEL)キーが押された場合は、最初のメニューに戻ります。

◆チョウセイメニュー

メディアの送り調整に関するパラメーターの設定を行います。〉キーを押すとパラメーターの設定が可能となります。

■ 送り調整

メディアの印刷条件 (ロール交換、ヒーター温度、印刷モード、スマートパス、巻取り方式、メディア送りモード、吸着ファン、加圧力切換え) を変更した場合は、送り調整を行ってください。
送り補正値を求める手順は、まず送り調整パターンを印刷し、印刷したパターンから補正値を読み取り、補正値をプリンターに設定します。
送り調整パターンは、「オクリ　シングル」と「オクリ　マルチ」の２種類があります。どちらを用いてもかまいません。

- ・「オクリ　シングル」は、現設定の「オクリホセイチ」で印刷を行います (1 パターン)。
- ・「オクリ　マルチ」は、現設定の「オクリホセイチ」－ 0.2%、現設定の「オクリホセイチ」、現設定の「オクリホセイチ」＋ 0.2% の 3 つのパターンを印刷します。

なお、印刷中にCANCELキーを押すことにより、印刷を中止することができます。

(1) オクリ　シングル

印刷する送り調整パターン (上段メニュー) を 、 キーで選択し、 キーで確定します。
その次に、下段メニューの選択および確定を行います。

```
#オクリ　シング゛ル
#インサツシ゛ッコウ>
```

```
#オクリ　マルチ
#インサツシ゛ッコウ>
```

● 下段メニュー：#インサツジッコウ：現設定の「オクリホセイチ」で送り調整パターンを印刷します。

<パラメーター（実行方式）>

なし

● #下段メニュー：#インサツモード：送り調整パターンの印刷モードを選択します。

<パラメーター（選択肢入力）>

コウソク	高速モードで印刷するときに選択します。
ヒョウジュン	標準モードで印刷するときに選択します。
コウガシツ	高画質モードで印刷するときに選択します。
サイコウガシツ	最高画質モードで印刷するときに選択します。

● 下段メニュー：#スマートパス：送り調整パターンのスマートパスを選択します。

<パラメーター（選択肢入力）>

ジャク	弱で印刷するときに選択します。
チュウ	中で印刷するときに選択します。
キョウ	強で印刷するときに選択します。

● 下段メニュー：#ホセイチ：送り補正値を入力します。

<パラメーター（数値入力）>

97.00 ～ 103.00%	送り補正値の設定範囲

注　意

◆ 「インサツモード：コウソク、スマートパス：ジャク」の組み合わせに設定した場合、環境温度が 20℃未満になると、スマートパスの設定が自動的に「チュウ」に切り替わって印刷します。

(2) オクリ　マルチ

印刷する送り調整パターン (上段メニュー) を ⌃、⌄ キーで選択し、› キーで確定します。
その次に下段メニューの選択および確定を行います。

```
#オクリ　マルチ
#インサツジ゛ッコウ>
```

```
#オクリ　シング゛ル
#インサツジ゛ッコウ>
```

● **下段メニュー： #インサツジッコウ：現設定の「オクリホセイチ」− 0.2%、現設定の「オクリホセイチ」、現設定の「オクリホセイチ」＋ 0.2% の 3 つのパターンを印刷します。**

＜パラメーター（実行方式）＞

なし

● **下段メニュー：#インサツモード：送り調整パターンの印刷モードを選択します。**

＜パラメーター（選択肢入力）＞

コウソク	高速モードで印刷するときに選択します。
ヒョウジュン	標準モードで印刷するときに選択します。
コウガシツ	高画質モードで印刷するときに選択します。
サイコウガシツ	最高画質モードで印刷するときに選択します。

● **下段メニュー：#スマートパス：送り調整パターンのスマートパスを選択します。**

＜パラメーター（選択肢入力）＞

ジ゛ャク	弱で印刷するときに選択します。
チュウ	中で印刷するときに選択します。
キョウ	強で印刷するときに選択します。

● **下段メニュー：#ホセイチ：送り補正値を入力します。**

＜パラメーター（数値入力）＞

97.00 〜 103.00%	送り補正値の設定範囲

注　意

◆ **「インサツモード：コウソク、スマートパス：ジャク」の組み合わせに設定した場合、環境温度が 20℃未満になると、スマートパスの設定が自動的に「チュウ」に切り替わって印刷します。**

◇ 送り補正値は、送り調整パターンの印刷実行前に変更することもできます。

```
#オクリ シング゛ル:100.00%
#インサツシ゛ッコウ>
```

OK キーを入力すると、補正値入力可能状態となります。

```
#オクリ シング゛ル:100.00%
#ホセイチ        *100.20%
```

この状態で ∧ ∨ キーを押すと、補正値の調整を行うことができます。

```
#オクリ シング゛ル:100.20%
#ホセイチ        *OK?
```

OK キーを入力すると、補正値確認状態となります。

OK キーを入力すると、印刷が開始されますます。

```
#オクリ シング゛ル:100.20%
*シ゛ッコウチュウ
```

■ 往復調整

メディア種類 (厚み) やプリントヘッドの高さを変更した場合は往復調整を行ってください。

往復調整値を求める手順は、まず往復調整パターンを印刷し、印刷したパターンから補正値を読み取り、補正値をプリンターに設定します。

往復調整は、オウフクホセイ 1 ／オウフクホセイ 2 ／オウフクホセイ 3 の3種類の設定が必要です。

往復調整パターンは、「オウフク　オート」と「オウフク　マニュアル」の 2 種類があります。

- 「オウフク　オート」は、1 つの調整パターン（オウフクホセイ 1）を印刷します。通常はこの調整パターンを使います。
- 「オウフク　マニュアル」は、より細かな調整を行うために、複数の調整パターン（オウフクホセイ 1 ／オウフクホセイ 2 ／オウフクホセイ 3）を印刷します。

「オウフク　オート」は、調整作業を簡便化したもので、1 つを (オウフクチョウセイ 1 を) 調整することで、自動的に全ての (オウフクホセイ2、3の) の調整がプリンタに設定されます。もし「オウフク　オート」より細かな調整を行う場合は「オウフク　マニュアル」を実行して、個々に調整を行って下さい。

なお、印刷中に CANCEL キーを押すことにより、印刷を中止することができます。

(3) オウフク　オート

印刷する往復調整パターン (上段メニュー) を
∧、∨キーで選択し、＞キーで確定します。
その次に、下段メニューの選択および確定を行います。

```
#オウフク　オート
#インサツジ゛ッコウ>
```

、

```
#オウフク　マニュアル
#インサツジ゛ッコウ>
```

● 下段メニュー：#インサツジッコウ：選択した往復調整パターンを印刷します。

＜パラメーター（実行方式）＞
なし

● 下段メニュー：#ホセイチＬ：往復補正値Ｌ列を入力します。

＜パラメーター（数値入力）＞
範囲：-15～+15

```
#オウフク　オート
#ホセイチL　ZZ　>+0
```

ＺＺ　：ヘッド

◇ 本補正値を入力すると自動的に計算を行い、各印刷モード用のパラメーターを設定します。

注　意

◆ 補正値が0の場合でもOKキーを押して、補正値を確定して下さい。OKキーを押さなかった場合、補正値の自動計算結果が反映されません。

● 下段メニュー：#ホセイチR：往復補正値R列を入力します。

＜パラメーター（数値入力）＞
範囲：－ 15 ～＋ 15

```
#オウフク　オート
#ホセイチR　ZZ　>+0
```

ＺＺ　：ヘッド

◇ 本補正値を入力すると自動的に計算を行い、各印刷モード用のパラメーターを設定します。

注　意

◆ 補正値が0の場合でもOKキーを押して、補正値を確定して下さい。OKキーを押さなかった場合、補正値の自動計算結果が反映されません。

(4) オウフク　マニュアル

印刷する往復調整パターン (上段メニュー) を ⌃、⌄ キーで選択し、〉キーで確定します。

その次に下段メニューの選択および確定を行います。

```
#オウフク　マニュアル
#インサツジ゛ッコウ>
```

```
#オウフク　オート
#インサツジ゛ッコウ>
```


● 下段メニュー：#インサツジッコウ：選択した往復調整パターンを印刷します。

<パラメーター（実行方式）>

なし

```
#オウフク　マニュアル
#パターン　　　　>オウフクホセイ1
```

● 下段メニュー：#パターン：往復調整パターンの印刷モードを選択します。

<パラメーター（選択肢入力）>

オウフクホセイ 1	高速モードおよび標準モードで印刷するときに選択します。
オウフクホセイ 2	高画質モードで印刷するときに選択します。
オウフクホセイ 3	最高画質モードで印刷するときに選択します。

● 下段メニュー：#ホセイチＸＸ：往復補正値を入力します。

<パラメーター（数値入力）>

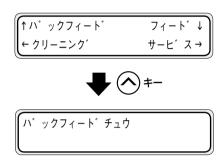
範囲：－ 15 ～＋ 15

```
#オウフク　マニュアル
#ホセイチXX　ZZ　>+0
```

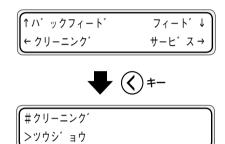
ＺＺ：ヘッド
ＸＸ：1L ／ 1R ／ 2L ／ 2R ／ 3L ／ 3R

◇ オウフク　マニュアルを実施した場合は、ホセイチ 1L ／ホセイチ 1R ／ホセイチ 2L ／ホセイチ 2R ／ホセイチ 3L ／ホセイチ 3R をそれぞれ設定します。

◆バックフィードメニュー

キーを押し続けている間、メディアをバックフィードします。

キーから手を離すと戻されているメディアが止まり、オフライン状態（メニューモード）表示に戻ります。

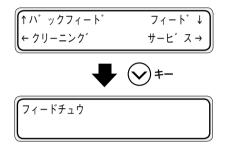
◆クリーニングメニュー

プリンターのヘッドクリーニングを行う場合に使用します。(<)キーを押すとプリントヘッドのクリーニングメニューへ入ります。

<パラメーター (選択肢入力) >

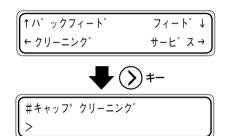
ツウシ゛ョウ	印刷抜けの回復
キョウリョク	「ツウジョウ」で直らない場合の印刷抜けの回復

クリーニング操作の詳細は、**「4 章　プリントヘッドのクリーニング」**(☞ P.4-19)を参照してください。

◆フィードメニュー

キーを押し続けている間、メディアをフィードします。
（カットメディアの場合は、排紙を行います。）

キーから手を離すと送られているメディアが止まり、オフライン状態（メニューモード）表示に戻ります。

◆サービスメニュー

キャッピングユニット／ワイパーブレードのメンテナンスや交換、インク流路洗浄等を行う場合に使用します。〉キーを押すとサービスメニューの操作が行えます。

(1)　キャップクリーニング

キャッピングユニットの定期な清掃が行えるように、キャリッジがメンテナンスエリアまで移動します。
（☞ P.4-6「キャッピングユニットの清掃」）

#キャッフ゜クリーニンク゛
>

＜パラメーター (実行方式) ＞

なし

(2)　サービス

サービス（クリーニング）操作の実行をします。

#サーヒ゛ス
>サーヒ゛スクリーン

＜パラメーター (選択肢入力) ＞

サーヒ゛スクリーン	プリントヘッドとインク経路を保管液を使ってクリーニングし、保管液を充填した状態で、プリンターを長期放置できる状態にします。
ヘット゛ウォッシュ	サービスクリーンで長期放置を行った後に、プリンターを動作可能状態にするために、クリーニング液（洗浄力の強い液）を使ってプリントヘッドとインク流路のクリーニングを実施します。
インクシ゛ュウテン	ヘッドウォッシュを行った後、プリンターにインクを充填する場合に使用します。
インクヌキトリ	インクを抜き取る場合に使用します。

(3) ワイパーブレードコウカン

ワイパーブレードを交換する場合に使用します。(P.4-21「ワイパーブレードの交換」)

```
#ﾜｲﾊﾟ ﾌﾞ ﾚｰﾄｺｳｶﾝ
>
```

(4) ワイプクリーニングエキコウカン

ワイプクリーニング液を交換する場合に使用します。(P.4-23「ワイプクリーニング液の交換」)

```
#ﾜｲﾌﾟ ｸﾘｰﾆﾝｸﾞ ｴｷｺｳｶﾝ
>
```

(5) ワイパースポンジコウカン

ワイパースポンジを交換する場合に使用します。(P.4-25「ワイパースポンジの交換」)

```
#ﾜｲﾊﾟ ｽﾎﾟ ﾝｼﾞ ｺｳｶﾝ
>
```

(6) フィルキャップ

キャップ内にインクを充満させプリントヘッド（ノズル面）をインクで浸し、ノズル詰まりを解消させる機能です。1 ～ 2 時間放置して様子を見てください。
クリーニングを繰り返しても印刷抜けが直らない場合などに使用してください。

```
#ﾌｨﾙｷｬｯﾌﾟ
>
```

<パラメーター (実行方式) >

なし

注　意

- ◆ フィルキャップを実行した後、印刷を行う場合は、必ずクリーニング（ツウジョウ）を実施してください。
- ◆ 24 時間放置しても印刷抜けが回復しない場合は、スマートノズルマッピング (ノズルマップ) をお試しください。それでも改善されない場合はサービス拠点に連絡してください。(P.3-53「(1) ノズルプリント」)

(7) ヘッドタカサチョウセイ

プリントヘッド高さ調整時に使用します。
(☞P.2-28「プリントヘッドの高さを変える」)

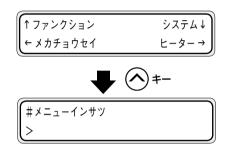
```
#ヘッド゛タカサチョウセイ
>
```

(8) ヘッドカクニン

プリントヘッドの接続を確認する場合に使用します。ガイダンスメッセージに従い、コネクター接続の接触不良などを確認してください。

```
#ヘッド゛カクニン
>
```

◆ファンクションメニュー

プリンターで用意されているファンクションを実行する場合に使用します。
(^) キーを押すと以下のファンクションが実行可能となります。

(1) メニューインサツ

プリンター情報、パネル設定情報などを印刷します。

#メニューインサツ
>

<パラメーター (実行方式) >

なし

(2) エラーログインサツ

プリンターに保存されているエラーログ情報を印刷します。

#エラーログ゛インサツ
>

<パラメーター (実行方式) >

なし

(3) リレキインサツ

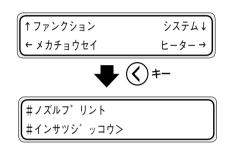
プリンターに保存されているインクシステムの清掃状況およびプリントヘッドの交換ログを印刷します。

#リレキインサツ
>

<パラメーター (実行方式) >

なし

◆メカチョウセイメニュー

メカ調整パラメーターの設定を行う場合に使用します。〈キーを押すとメカ調整パラメーターの設定が可能となります。

∧、∨キーで、印刷するパターン（上段）を選択し、〉キーで確定します。

OKキーを入力すると、印刷が開始されます。
印刷中CANCELキーを押すことにより、印刷を中止することができます。

（1） ノズルプリント

ノズル詰まりなどを確認するパターンを印刷します。毎日の点検用として使用します。

#ノズ゛ルプ゜リント
#インサツジ゛ッコウ>

● **#インサツジッコウ：ノズルプリントを印刷します。**

<パラメーター（実行方式）>

なし

ノズル詰まりが起きているノズルの番号を設定します。

● **#ノズルマップ：ノズル詰まりしているノズル番号を入力します。**

#ノズ゛ルプ゜リント
#ノズ゛ルマップ゜XX　YY>ZZZ

XX：番号（01 ～ 10）
YY：インク色
表示順：Y→M→C→K→Lm→Lc
ZZZ：ノズル詰まり番号

<パラメーター（数値入力）>

範囲：0 ～ 254

ノズル詰まりしているノズル番号を確認する場合は、（☞ P.4-9）を参照ください。

(2) ノズルイチチョウセイ

ノズル位置調整パターンを印刷します。
(保守用途で使用します。)

```
#ノズ゛ルイチチョウセイ
#インサツジ゛ッコウ>
```

(3) ヘッドチョウセイ

ヘッド調整パターンを印刷します。

```
#ヘッド゛チョウセイ
#インサツジ゛ッコウ>
```

● **#インサツジッコウ：ヘッド調整パターンを印刷します。**

<パラメーター（実行方式）>

なし

各プリントヘッドの主走査方向のヘッド位置（メディアの左右方向の印刷位置）の調整を行います。
「ヘッドチョウセイ」パターンの印刷結果を元に補正値を入力します。

注　意

◆ **K色プリントヘッドを基準に調整しますので、Kの補正値はありません。**

● **#イチホセイチ：ヘッド位置補正値を入力します。**

<パラメーター（数値入力）>

＋／－、－１５～＋１５

```
#ヘッド゛チョウセイ
#イチホセイチ　ＹＹ　　　>+0
```

ＹＹ：インク色
表示順：Y→M→C→Lm→Lc

各プリントヘッドの左右ノズルの着弾位置の調整を行います。
「ヘッドチョウセイ」パターンの印刷結果を元に補正値を入力します。

● **#サユウホセイチ：ヘッド位置補正値を入力します。**

<パラメーター（数値入力）>

＋／－、－５～＋５

```
#ヘッド゛チョウセイ
#サユウホセイチ　ＹＹ　　>+0
```

ＹＹ：インク色
表示順：Y→M→C→K→Lm→Lc

（4）センサーチョウセイ

センサー位置調整パターンを印刷します。

```
#センサーチョウセイ
#インサツジ゛ッコウ>
```

● **#インサツジッコウ：センサー位置調整パターンを印刷します。**

<パラメーター（実行方式）>
なし

メディアに印刷される画像の位置が正しくなるように調整します。「センサーチョウセイ」パターンの印刷結果をもとに補正値を入力します。
センサー調整の詳細は、（☞ P.4-41）を参照してください。

● **#ホセイチ（トップ゜）：メディアの送り方向（トップ方向）の補正値を入力します。**

```
#センサーチョウセイ
#ホセイチ（トップ゜） >+0.0mm
```

<パラメーター（数値入力）>
−5.0〜+5.0mm

注　意

◆ **システムメニューの「ナガサタンイ」で設定された単位とは関係なく、入力単位はmm（ミリ）です。**

メディアに印刷される画像の位置が正しくなるように調整します。「センサーチョウセイ」パターンの印刷結果をもとに補正値を入力します。

● **#ホセイチ（サイド゛）：メディアの幅方向（サイド方向）の補正値を入力します。**

```
#センサーチョウセイ
#ホセイチ（サイド゛） >+0.0mm
```

<パラメーター（数値入力）>
−5.0〜+5.0mm

注　意

◆ システムメニューの「ナガサタンイ」で
mm（ミリ）です。

```
#マキトリチョウセイ
#インサツジ゛ッコウ>
```

（5）マキトリチョウセイ

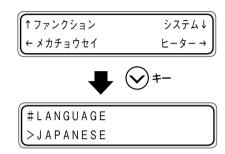
巻取り装置の調整パターンを印刷します。

● **#インサツジッコウ：巻き取り調整パターンを印刷します。**

<パラメーター（実行方式）>

なし

◆システムメニュー

システムパラメーターの設定、または表示を行う場合に使用します。(∨)キーを押すとシステムパラメーターの設定が可能となります。

(1)　LANGUAGE

LCD メッセージの表示言語を選択します。

```
#LANGUAGE
>JAPANESE
```

＜パラメーター (選択肢入力) ＞

JAPANESE	LCD メッセージを日本語で表示します。
ENGLISH	LCD メッセージを英語で表示します。
FRENCH	LCD メッセージをフランス語で表示します。
ITALIAN	LCD メッセージをイタリア語で表示します。
GERMAN	LCD メッセージをドイツ語で表示します。
SPANISH	LCD メッセージをスペイン語で表示します。
PORTUGUESE	LCD メッセージをポルトガル語で表示します。

(2)　タイムゾーン

タイムゾーンの選択をします。
パラメーター入力状態でタイムゾーン時間を変更すると、ローカルタイムの表示も更新されます。

```
#タイムゾーン(YY/MM/DD)
*yy/mm/dd hh:mi +00
```

yy：年　mm：月　dd：日　hh：時間　mi：分
yy/mm/dd　hh:mi：
内部日時（グリニッジ標準時＝ GMT）にタイムゾーン時間を加えた日時（ローカルタイム）を表示します。
(日本は GMT+9 時間)

＜パラメーター (選択肢入力) ＞

－12～＋12	一時間毎の全 25 段階の選択肢入力

(3) ナガサタンイ

各種パラメーターを表示する際の、長さ単位を選択します。

```
#ナガ゛サタンイ
>ミリ
```

<パラメーター (選択肢入力) >

ミリ	mm（ミリ）や m（メートル）のメートル単位系で表示します。
インチ	”（インチ）や ft（フィート）のインチ単位系で表示します。

(4) オンドタンイ

各種パラメーターを表示する際の、温度単位を選択します。

```
#オント゛タンイ
>セッシ
```

<パラメーター (選択肢入力) >

セッシ	温度単位を摂氏で表示します。
カシ	温度単位を華氏で表示します。

(5) ケイコクオン

以下のような状態で警告音を鳴らすかどうか設定します。

・ 日常メンテナンスやヘッド高さ調整でプリントヘッドがキャップから外れた状態
・ 印刷中のメディアジャム（メディア詰まり）エラー等でプリントヘッドがキャップできない状態
・ プリントヘッド確認時
・ ベース（原点）設定中

```
#ケイコクオン
>オン
```

<パラメーター (選択肢入力) >

オン	警告音を鳴らします。
オフ	警告音を鳴らしません。*

* 通常のエラー発生時には本設定に関わらずブザーが鳴ります。

(6) ＢＯＯＴバージョン

BOOT バージョンを表示します。

```
#BOOTﾊﾞｰｼﾞｮﾝ
*X.XX
```

<パラメーター (実行方式) >

なし

(7) Ｆ／Ｗバージョン

システム F/W のバージョンを表示します。

```
#F/Wﾊﾞｰｼﾞｮﾝ
*X.XX_YY
```

<パラメーター (実行方式) >

なし

(8) ＬＥＥバージョン

LEE 基板のバージョンを表示します。

```
#LEEﾊﾞｰｼﾞｮﾝ
*X.XX
```

<パラメーター (実行方式) >

なし

(9) ＬＥＣバージョン

LEC 基板のバージョンを表示します。

```
#LECﾊﾞｰｼﾞｮﾝ
*X.XX
```

<パラメーター (実行方式) >

なし

(10) ＢＴＣバージョン

ＢＴＣのバージョンを表示します。

```
#BTCバージョン
#XXX
```

<パラメーター（実行方式）>

なし

(11) ＡＴＧバージョン

ＡＴＧのバージョンを表示します。

```
#ATGバージョン
#XXX
```

<パラメーター（実行方式）>

なし

(12) ＲＳＭバージョン

ＲＳＭのバージョンを表示します。

```
#RSMバージョン
#XXX
```

<パラメーター（実行方式）>

なし

(13) ＰＴＧバージョン

ＰＴＧのバージョンを表示します。

```
#PTGバージョン
#XXX
```

<パラメーター（実行方式）>

なし

(14) ＵＳＢアドレス

USB のアドレスを表示します。

```
#USBアド゛レス
>
```

<パラメーター (実行方式) >

なし

(15) ＵＳＢスピード

USB 接続の転送スピードを表示します。

```
#USBｽﾋﾟｰﾄﾞ
*HIGH-SPEED
```

<パラメーター (実行方式) >

HIGH-SPEED	High-Speed で接続されています。
FULL-SPEED	Full-Speed で接続されています。

注　意

◆ **現在接続されている状態を表示します。転送スピードを選択するメニューではありません。**

(12) ショキセッテイ

すべてのパラメーターを工場出荷時の初期設定にします。

```
#ショキセッテイ
>
```

<パラメーター (実行方式) >

なし

注　意

◆ **ショキセッテイ後、プリンターを再起動する必要があります。**

(13) アップデート

ファームウェアのアップデートをする場合に使用します。

```
#アップ゜デ゛ート
>
```

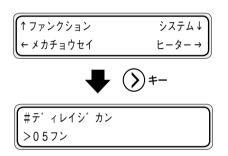
<パラメーター (実行方式) >

なし

注　意

◆ **アップデート後、プリンターを再起動する必要があります。**

◆ヒーターメニュー

ヒーターのディレイタイムやスタンバイタイムの設定を行う場合に使用します。
(>)キーを押すとヒーターの設定が可能となります。

(1) ディレイジカン

印刷終了後、ヒーターをオフするまでのディレイ時間を設定します。(☞ P.2-25)

#デ゛ィレイシ゛カン
>05フン

<パラメーター(数値入力方式)>

00 ～ 30

(2) スタンバイジカン

印刷終了後、ヒーターのスタンバイ設定温度を維持する時間を選択します。(スタンバイ設定温度に移行する時間も含みます。)
(☞ P.2-25)

#スタンハ゛イシ゛カン
>30フン

<パラメーター(選択肢入力)>

ナシ	スタンバイ設定温度を維持しません。
30 フン	スタンバイ設定温度を 30 分維持します。
60 フン	スタンバイ設定温度を 1 時間維持します。
90 フン	スタンバイ設定温度を 1 時間 30 分維持します。
120 フン	スタンバイ設定温度を 2 時間維持します。
エンド゛レス	スタンバイ設定温度を維持し続けます。

4 メンテナンスと調整・交換

本章では、プリンターのメンテナンスと調整方法および消耗品の交換方法を説明します。（インクカートリッジと廃インクボトルおよびメディアの交換は「2 章　基本操作」を参照してください。）

（本章の内容）

定期保守

定期点検・定期保守について説明します。

◆定期点検・保守ガイド

本プリンターは、定期的に点検・保守が必要です。
各定期点検・保守は下記の参照頁を参照して正しく行ってください。

日常の点検・保守（日常メンテナンス）

①廃インクボトルのチェック ☞ P.4-3
②ワイプクリーニング液の残量チェック ☞ P.4-3
③ワイパーブレードの汚れチェック ☞ P.4-4
④キャッピングユニットの清掃 ☞ P.4-6
⑤プリントヘッドのクリーニング「ツウジョウ」 ☞ P.4-7
⑥ノズルプリントの実施 ☞ P.4-8

電源OFFでプリンターを放置した場合(2週間以内)

①ヘッドウォッシュ ☞ P.4-12
②インク充填 ☞ P.4-12

2週間以上電源OFFで放置する場合

①サービスクリーン
☞ P.4-10

2週間以上電源OFFから復帰させる場合

①ヘッドウォッシュ
☞ P.4-11
②インク充填
☞ P.4-11

1ヶ月以上電源OFFで放置した場合

サービスコールエラーが表示されますので、販売店、または、最寄りの当社サービス拠点までご連絡ください。 ☞ 付-5

■ 日常の点検・保守（日常メンテナンス）

安定した印刷品質を得るため、次の 6 項目を定期的に実施してください。

① 廃インクボトルのチェック：毎日

② ワイプクリーニング液のチェック：毎日

③ ワイパーブレードの汚れチェック：毎日

④ キャッピングユニットの清掃：毎週

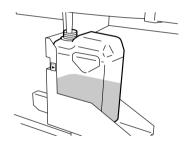
⑤ ヘッドクリーニング「ツウジョウ」の実施：毎週

⑥ ノズルプリントの実施：毎日

注　意

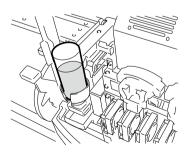
- ◆ 上記の①～⑥の作業は指定期間内に定期的に行ってください。
- ◆ 必ず弊社指定のクリーニング液、クリーニングスティックとクリーニングローラー、またはクリーニング棒をお使いください。

① 廃インクボトルのチェック

廃インクが一杯になっていないか目視確認します。「FULL」表示ラベルまで廃インクが溜まっている場合は、新品の（空の）廃インクボトルを取り付けてください。(☞ **P.2-40「廃インクボトルの交換」**)

② ワイプクリーニング液の残量チェック

フロントカバーとキャップカバーを開け、ワイプクリーニング液の残量を目視確認します。

ワイプクリーニング液がない場合には交換してください。(☞ **P.4-23「ワイプクリーニング液の交換」**)

ワイプクリーニング液の交換周期は目安として約 1 ヶ月です。

注　意

- ◆ ワイプクリーニング液が汚れる事がありますが、異常ではありません。

③ ワイパーブレードの汚れチェック

ワイパーブレードの汚れや傷を目視確認します。

傷がついている場合は、ワイパーブレードを交換してください。（☞ P.4-21「ワイパーブレードの交換」）

1 プリンターをオフラインにして、MENUキーを押し、サービスメニューを表示します。

```
↑バ゛ックフィード゛　　　フィード゛↓
←クリーニング゛　　　　サービ゛ス→
```

2 ⟩キーを押し、サービスメニューへ入ると、キャップクリーニングメニューが表示されます。

```
#キャップ゜クリーニング゛
>
```

3 ⌄キーで「ワイパーブレードコウカン」を選択し、OKキーを押します。

```
#ワイバ゜ブ゜レード゛コウカン
>
```

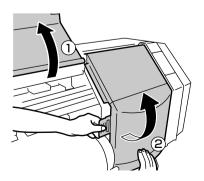
4 確認画面が表示されたら、OKキーを押します。

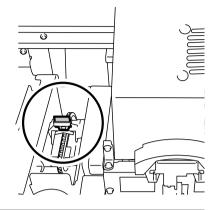
ワイパーブレードの位置が移動します。

```
#ワイバ゜ブ゜レード゛コウカン
*OK?
```

```
ワイバ゜イド゛ウチュウ
シバ゛ラクオマチクダ゛サイ
```

5 フロントカバーとキャップカバーを開けます。

```
カバ゛ーヲアケテワイバ゜ブ゜レード゛ヲ
コウカンシテクダ゛サイ
```

6 ワイパーブレードに汚れや傷がないか目視確認します。

傷がついている場合はワイパーブレードを交換してください。（☞ P.4-21「ワイパーブレードの交換」）

注　意

- ◆ ワイパーブレードに汚れがついている場合は、ワイパースポンジが正しくセットされているか目視確認してください。正しくセットされていない場合は、正しくセットしてください。（P4-25「ワイパースポンジの交換」）
- ◆ ワイプクリーニング液の残量を確認し、少ない場合はワイプクリーニング液を交換してください。（P.4-23「ワイプクリーニング液の交換」）

7 キャップカバーとフロントカバーを閉めます。

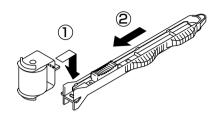
```
#コウカンカンリョウ
＊NO
```

8 「＊ NO」を選択し、(OK)キーを押して終了します。

注　意

- ◆ プリンターはワイパーブレードを使用した期間を自動的に積算し、ワイパーブレードの交換時期を促すメッセージを表示します。基本的に新品のワイパーブレードを装着して「＊ YES」にしたことを前提に積算しています。（「＊ YES」にすると積算値がリセットされます）この前提を崩すと交換時期を誤検出しますのでご注意ください。

④ キャッピングユニットの清掃

1 クリーニングスティックにクリーニングローラーを取り付けます。

2 プリンターをオフラインにして、(MENU)キーを押し、サービスメニューを表示します。

```
↑バ゛ックフィート゛    フィート゛↓
←クリーニンク゛      サーヒ゛ス→
```

3 (>)キーを押し、サービスメニューへ入ると、キャップクリーニングメニューが表示されます。

```
#キャップ゜クリーニンク゛
>
```

4 (OK)キーを押し、確認画面が表示されたら再度(OK)キーを押します。

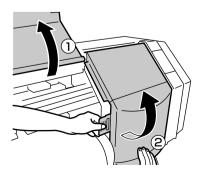
キャリッジが移動します。

参考 キャリッジが移動する際、警告音が鳴ります。
（☞ P.3-58「(5) ケイコクオン」）

```
#キャップ゜クリーニンク゛
>
```

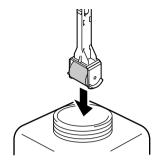
```
#キャップ゜クリーニンク゛
*OK?
```

```
キャリッシ゛イト゛ウチュウ
シバ゛ラクオマチクタ゛サイ
```

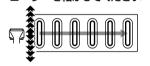
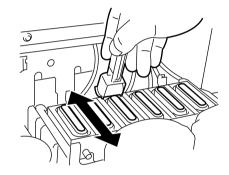
5 フロントカバーを開けてから、キャップカバーを開けます。

```
カバ゛ーヲアケテキャップ゜ヲ
セイソウシテクタ゛サイ
```

6 クリーニングローラーをキャップクリーニング液に浸けます。

注　意

◆ 一度キャップを清掃したクリーニングローラーをキャップクリーニング液ボトルの中に入れないでください。キャップクリーニング液が汚れてしまいます。

7 キャップ上面をクリーニングローラーを転がして清掃します。

1. はじめに各キャップ1往復づつローラーを転がします

2. つぎに各キャップを10往復づつローラーを転がしてください

注　意

◆ クリーニングローラーは一回限りの使い切りです。毎回新しいクリーニングローラーに交換して清掃してください。

◆ 4 色仕様の場合は、左側 2 箇所のキャップは清掃不要です。

8 キャップカバーとフロントカバーを閉めます。

自動的にプリントヘッドが元の位置に戻ります。

注　意

◆ 不必要にキャッピングユニットから、プリントヘッドを離した状態で放置しないでください。プリントヘッドが乾燥して故障の原因となります。

◆ 上記清掃をしても印刷抜けが起こる場合は、クリーニング棒にキャップクリーニング液をつけ、目視で確認しながらキャップ上の異物やインク汚れを取り除いてください。

◆ キャップクリーニング液がキャップ以外に付着しないように注意してください。

⑤ プリントヘッドのクリーニング「ツウジョウ」の実施

操作パネルから、クリーニングメニューを選択し、「ツウジョウ」を選択してクリーニングを行います。(☞ **P.4-19「プリントヘッドのクリーニング」**)

⑥ ノズルプリントの実施

ノズルプリントは、プリントヘッドのノズル（インクの吐出口）が目詰まりしていないかどうか確認するために行います。

毎日の最初の印刷前に、あるいはキャップの清掃などで、プリントヘッドをキャッピングユニット外へ出した後にプリントヘッドの確認をするためにも行います。

1 プリンターをオフラインにします。（ONLINEキーを押します。）

↑インク　トウロク↓
←メデ゛ィア　チョウセイ→

2 MENUキーを 2 回押し、メカチョウセイメニューを表示します。

↑ファンクション　システム↓
←メカチョウセイ　ヒーター→

3 <キーを押し、ノズルプリントの表示にします。

#ノズルフ゜リント
#インサツジ゛ッコウ>

4 >キーを押します。

#ノズ゛ルフリント
#インサツジ゛ッコウ>

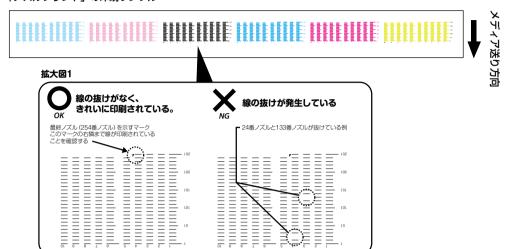
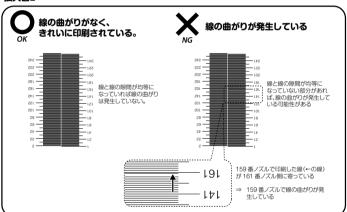
5 OKキーを押します。

#ノズ゛ルフリント
#インサツジ゛ッコウ>＊ＯＫ？

6 OKキーを押します。

#ノズ゛ルフリント
＊ジ゛ッコウチュウ

7 OKキーを押すと、ヘッドウォーミングアップ後、次頁のようなパターンが印刷されます。

・「ノズルプリント」の印刷サンプル

拡大図2

線の抜けや線の曲がりがないか確認します。

ノズルプリントで線の抜けや線の曲がりがある場合は、再度「⑤ **プリントヘッドのクリーニング「ツウジョウ」の実施**」を行ってください。

プリントヘッドのクリーニングを複数回行っても線の抜けや線の曲がりがある場合は、「ノズルマップ」の設定を行ってください。（☞ **P.3-53「（1）ノズルプリント」**）

注　意

- ◆ **プリントヘッドは不必要に、キャッピングユニットの外に放置しないでください。**
  ５分以内に作業を終了させてプリントヘッドをキャッピングしてください。

◇ **ノズルマップ（スマート ノズル マッピング）とは、プリントヘッドの固定ノズル詰まりによる画質劣化を防ぐ機能です。通常は１ノズル程度のノズル詰まりがあっても、印刷結果が劣化（白スジ、かすれなど）することは殆どありません。しかし、２ノズル、３ノズルとノズル詰まりが増えると白スジやかすれが発生し、期待の印刷結果を得ることができなくなります。スマート ノズル マッピング機能は、印刷抜けが発生しているノズルを別のノズルで補完することによって、画質劣化を防ぐ機能です。本機能を使っても、完全に抜けが解消できない場合は弊社サービス部門にお問合せください。**

■ プリンターを長期間（2 週間以上）電源断状態で放置する場合の保守

プリントヘッドの乾燥防止のため、保管液で充填した状態で保存します。保管液のカートリッジが 6 個（6 色分）（6 色仕様の場合。4 色仕様の場合は 4 個（4 色分)。）必要です。保管液セット（IP5-293)、をご用意ください。
保管液のカートリッジは 1 回のサービスクリーンですべて使い切ります。

① サービスクリーン

操作パネルから、サービスメニューを選択し、サービスクリーンを選択します。

```
#サービス
>サービスクリーン
```

サービスクリーンの終了後、保管液をインクカートリッジスロットに差し込んだまま電源を切り、プリンターを放置します。

サービスクリーンを実施し長時間放置した後、印刷できる状態に復帰させるには、ヘッドウォッシュが必要です。（☞ P.4-11「① ヘッドウォッシュ」）

■ プリンターを長期間（2 週間以上）電源断状態での放置から復帰させる場合の保守

洗浄液でプリントヘッドおよびインク経路をクリーニングします。

洗浄液セット（GX インクの場合：IP5-294 / IX インクの場合：IP5-298）をご用意ください。

洗浄液のカートリッジは 1 回のヘッドウォッシュですべて使い切ります。

① ヘッドウォッシュ

操作パネルから、サービスメニューを選択し、ヘッドウォッシュを選択します。以降、LCD 画面上のガイダンスに従って操作します。

```
#サービス
>ヘッドウォッシュ
```

ヘッドウォッシュ後、インクジュウテンを行い、すべてのインクを充填します。

注　意

- ◆ プリンターは、プリントヘッドの状態を良好に保つため、プリンターが待機状態になると、周期的に自動でフィルキャップ動作を行います。
- ◆ サービスクリーン、ヘッドウォッシュ実行中にフロントカバーの開閉やレバーの開閉は控えてください。動作を最初からやり直す場合があり、インクや洗浄液が無駄になる場合があります。

② ヘッドウォッシュ後のインク充填

ヘッドウォッシュを実施後、プリンターにすべてのインクを充填する必要があります。

```
#サービス
>インクジュウテン
```

操作パネルからサービスメニューを選択し、インクジュウテンを選択します。

すべてのインクカートリッジを挿入し、インクを充填します。

インク充填終了後、少なくとも 1 時間はプリンターをそのままの状態で放置します。ワイパースポンジが湿っていることを確認し、必要に応じて湿らせます。その後ノズルプリントを行います。

ノズルプリントで印刷抜けが発生した場合は、クリーニングメニューからクリーニング「ツウジョウ」を行います。

■ プリンターを 2 週間以内の電源断状態での放置から復帰させる場合の保守

① ヘッドウォッシュ

洗浄液でプリントヘッドおよびインク経路をクリーニングします。

洗浄液セット（GX インクの場合：IP5-294 / IX インクの場合：IP5-298）をご用意ください。

洗浄液のカートリッジは 1 回のヘッドウォッシュですべて使い切ります。

ヘッドウォッシュ後、インクジュウテンを行い、すべてのインクを充填します。

注　意

- ◆ プリントヘッドやインク流路の保護のため、インクあるいは保管液が空の状態でプリンターを放置しないでください。
- ◆ サービスクリーン、ヘッドウォッシュ実行中にフロントカバーの開閉や加圧ローラーアップダウンレバーの上げ下げは控えてください。動作を最初からやり直す場合があり、インクや洗浄液が無駄になる場合があります。
- ◆ 電源オフで放置する期間が 2 週間以上の場合と 2 週間以内の場合で保守方法が異なります。2 週間以上の場合は保管液を充填して放置しますが、2 週間以内の場合は保管液を使う必要はなくインクが充填された状態のまま放置します。

② ヘッドウォッシュ後のインク充填

ヘッドウォッシュを実施後、プリンターにすべてのインクを充填する必要があります。

```
#サービス
>インクジュウテン
```

操作パネルからサービスメニューを選択し、インクジュウテンを選択します。

注　意

- ◆ インクジュウテンでは、約 100ml のインクが使用されます。インク残量が 100ml 以下のカートリッジが挿入されている場合、カートリッジ交換を促すメッセージが表示されますので、インクが 20%以上残っているカートリッジをセットしてください。

すべてのインクカートリッジを挿入し、インクを充填します。

インク充填終了後、少なくとも 1 時間はプリンターをそのままの状態で放置します。その後ノズルプリントを行います。

ノズルプリントで印刷抜けが発生した場合は、クリーニングメニューからクリーニング「ツウジョウ」を行います。

■ プリンターを 1 ヶ月以上電源断状態で放置した場合の保守

サービスクリーンの実施にかかわらず、サービスコールエラーが表示されますので、販売店または最寄りの当社サービス拠点までご連絡ください。

注　意

◆ プリントヘッドやインク流路の保護のため、インクあるいは保管液が空の状態でプリンターを放置しないでください。

◆ プリンターを 1 ヶ月以上放置する場合は、あらかじめ購入先または、最寄りの弊社サービス拠点にご相談ください。

◆清掃

■ 外装の清掃

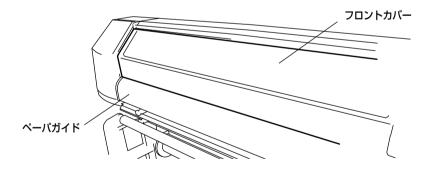
プリンターの外装が汚れた場合は、水または水でうすめた中性洗剤を柔らかい布に含ませて、よくしぼってから拭き取ってください。

注　意

- ◆ お手入れをするときは､プリンター電源のスイッチを必ずオフにしてから行ってください。
- ◆ シンナー、ベンジンなどの揮発性溶剤は絶対に使用しないでください。塗装がはげたり変質することがあります。

■ フロントカバー、ペーパガイド、加圧ローラー、エッジガードの清掃

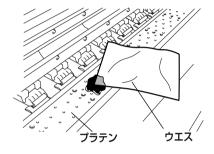
ホコリ、紙粉等で汚れた場合は掃除機等で吸い取ってください。インク等の汚れがひどいときは､中性洗剤を湿らせた柔らかい布できれいに拭き取ってください。

注　意

- ◆ お手入れをするときは､プリンター電源のスイッチを必ずオフにしてから行ってください。
- ◆ 紙粉を吹き飛ばさないでください。プリンターの内部に紙粉や埃が混入し故障などの原因となる場合があります。また画質等に悪影響を与える場合があります。
- ◆ ロールエンドが紙管に糊付けされているメディアを使用した場合に、糊がペーパーガイドやプラテンに付いてしまう場合があります。その様な場合は必ず清掃して糊を取り除いてください。

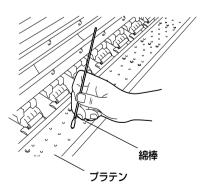
■ プラテン上の清掃

・塩ビの粘着剤等が付着した場合。
・プラテンにインクが垂れてしまった場合。
次の手順で清掃を行ってください。
（ここでは、インクでプラテンが汚れた場合を説明しています。）

1 **フロントカバーを開け、ウエスをプラテン上についたインクの上に置きインクをしみ込ませます。**

インクが広がらないように注意してインクをウエスにしみ込ませてください。

2 **プラテン上についたインクの跡を中性洗剤に湿らせた柔らかい布できれいに拭き取ります。**

3 **インクがプラテン上のバキューム穴に入り込んでしまった場合には、市販の綿棒 * で穴の中に付着したインクをきれいに拭き取り、次に綿棒 * に中性洗剤を湿らせてもう一度きれいに拭き取ります。**

＊： 綿棒は、綿部の径が 3mm 程度のものを使用してください。

■ キャリッジベースの清掃

印刷物に黒スジがつくなど、キャリッジベース面の汚れがメディアに移る場合、次の手順で清掃を行ってください。

1 **プリンターをオフラインにして、(MENU)キーを押し、サービスメニューを表示します。**

```
↑バ゛ックフィード゛        フィード゛↓
←クリーニング゛          サービ゛ス→
```

2 **(>)キーを押し、サービスメニューへ入ると、キャップクリーニングメニューが表示されます。**

```
#キャップ゜クリーニング゛
>
```

3 **(∨)キーで「ヘッドカクニン」を選択し、(OK)キーを押します。**

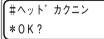
```
#ヘッド゛カクニン
>
```

4 **確認画面が表示されたら、(OK)キーを押します。**

キャリッジが移動します。

```
#ヘッド゛カクニン
*OK?
```

↓ (OK)

```
キャリッジ゛イド゛ウチュウ
シバ゛ラクオマチクダ゛サイ
```

5 **フロントカバーを開けてから、メンテカバーを開けます。**

```
カバ゛ーヲアケ゛テ
ヘッド゛ヲカクニンシテクダ゛サイ
```

6 **キャリッジベースを、柔らかい布で拭き取ってください。**

清掃が終わったらメンテカバーとフロントカバーを閉めます。

自動的にプリントヘッドが元の位置に戻ります。

注　意

◆ 不必要にキャッピングユニットから、プリントヘッドを離した状態で放置しないでください。プリントヘッドが乾燥して故障の原因となります。

■ ヘッドガードの清掃

印刷物に黒スジがつくなど、ヘッドガードの汚れがメディアに移る場合、次の手順で清掃を行ってください。

1 **プリンターをオフラインにして、(MENU)キーを押し、サービスメニューを表示します。**

```
↑ﾊﾞｯｸﾌｨｰﾄﾞ        ﾌｨｰﾄﾞ↓
←ｸﾘｰﾆﾝｸﾞ          ｻｰﾋﾞｽ→
```

2 **(>)キーを押し、サービスメニューへ入ると、キャップクリーニングメニューが表示されます。**

```
#ｷｬｯﾌﾟｸﾘｰﾆﾝｸﾞ
>
```

3 **(∨)キーで「ヘッドカクニン」を選択し、(OK)キーを押します。**

```
#ﾍｯﾄﾞｶｸﾆﾝ
>
```

4 **確認画面が表示されたら、(OK)キーを押します。**

キャリッジが移動します。

```
#ﾍｯﾄﾞｶｸﾆﾝ
*OK?
```

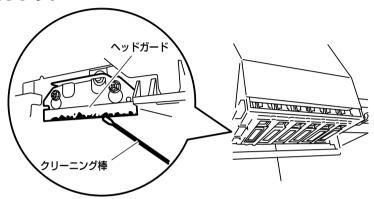
```
ｷｬﾘｯｼﾞｲﾄﾞｳﾁｭｳ
ｼﾊﾞﾗｸｵﾏﾁｸﾀﾞｻｲ
```

5 **フロントカバーを開けてから、メンテカバーを開けます。**

```
ｶﾊﾞｰｦｱｹﾞﾃ
ﾍｯﾄﾞｦｶｸﾆﾝｼﾃｸﾀﾞｻｲ
```

4

メンテナンスと調整・交換

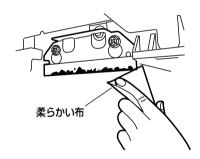
6 クリーニング棒にキャップクリーニング液をつけ、目視で確認しながらキャリッジ左右のヘッドガード上の汚れに擦りつけて、数分間放置します。

注　意

◆ 一度ヘッドガードを清掃したクリーニング棒をキャップクリーニング液ボトルの中に入れないでください。キャップクリーニング液が汚れてしまいます。

7 柔らかい布で汚れを拭き取ります。

清掃が終わったらメンテカバーとフロントカバーを閉めます。

自動的にプリントヘッドが元の位置に戻ります。

注　意

◆ 不必要にキャッピングユニットから、プリントヘッドを離した状態で放置しないでください。プリントヘッドが乾燥して故障の原因となります。

プリントヘッドのクリーニング

プリントヘッドのクリーニングは以下の 2 種類があります。用途に合わせて、ご使用ください。

クリーニングの種類	用　途
ツウジョウ	印刷抜けの回復
キョウリョク	「ツウジョウ」で直らない場合の印刷抜けの回復

◆プリントヘッドのクリーニングの操作手順

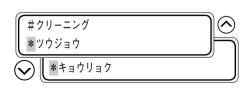
1 **プリンターをオフラインにします。**
（ONLINE キーを押します。）

↑インク　トウロク↓
←メテ゛ィア　チョウセイ→

2 **MENU キーを押し、クリーニングメニューを表示します。**

3 **〈 キーを押すと、ヘッドクリーニングメニューへ入ります。**

4 **OK キーを押して、パラメーターを変更できる状態にします。**

5 **∧，∨ キーでクリーニング選択オプションを選びます。**

6 (OK)キーを押します。

```
#クリーニング
*ボトルカクニン OK ?
```

7 廃インクボトルが一杯になっていないことを目視確認して(OK)キーをもう一度押します。

```
#クリーニング
*クリーニング チュウ XXX
```

XXX： 10 秒おきに数字がダウンする

注 意

- ◆ クリーニング動作は数分かかります。
- ◆ クリーニングが開始されると、所要時間が表示されます。所要時間は 10 秒おきにカウントダウンします。

8 プリントヘッドのクリーニングが終了すると、**3** の状態に戻ります。

```
#クリーニング
>ツウジョウ
```

9 (<)キーを押すと、オフライン状態（メニューモード）表示に戻ります。

```
↑バックフィード フィード↓
←クリーニング サービス→
```

ワイパーブレードの交換

「ワイパーブレードの交換手順」について説明します。
ワイパーブレードはプリンターの交換メッセージが表示されたとき、あるいは毎日の点検で、ワイパーブレードに傷がついている場合に交換します。交換作業の前に、あらかじめピンセットを用意してください。（日常メンテナンスキットに同梱されています。）

1 プリンターをオフラインにして、MENUキーを押し、サービスメニューを表示します。

```
↑バ゛ックフィート゛　　　　フィート゛↓
←クリーニング゛　　　　　サーヒ゛ス→
```

2 〉キーを押し、サービスメニューへ入ると、キャップクリーニングメニューが表示されます。

```
#キャップ゜クリーニング゛
>
```

3 ∨キーで「ワイパーブレードコウカン」を選択し、OKキーを押します。

```
#ワイパ゜ブ゜レート゛コウカン
>
```

4 確認画面が表示されたら、OKキーを押します。

ワイパーブレードの位置が移動します。

```
#ワイパ゜ブ゜レート゛コウカン
*OK?
```

```
ワイパ゜イト゛ウチュウ
シハ゛ラクオマチクタ゛サイ
```

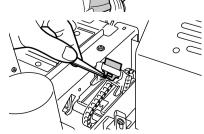
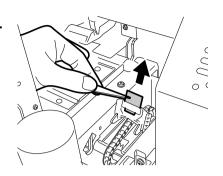
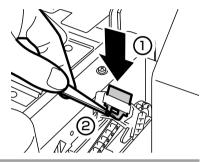
5 フロントカバーとキャップカバーを開けます。

```
カハ゛ーヲアケテワイパ゜ブ゜レート゛ヲ
コウカンシテクタ゛サイ
```

```
ワイパ゜ブ゜レート゛ヲコウカンシ
カハ゛ーヲシメテクタ゛サイ
```

6 ワイパーブレードの下の縁をピンセットで挟み、プラスチックの突起部分の引っかかりを外します。

4

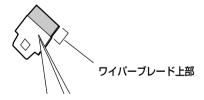
メンテナンスと調整・交換

7 上に持ち上げるようにしてワイパーブレードを抜き取ります。

8 新しいワイパーブレードのゴム部分をピンセットで挟んで上からまっすぐ差し込み、ゴム部分の穴にプラスチックの突起部分が引っかかるように取り付けます。

注　意

◆ ワイパーブレードは表裏の区別はありません。

◆ ワイパーブレードの上部はプリントヘッドに直接触れる部分なので、ワイパーブレードを取り扱う際に手で触ったり、ピンセットで挟んだりしないでください。

9 キャップカバーとフロントカバーを閉めます。

```
#コウカンカンリョウ
*NO
```

10 (∨)キーを押して、「＊ YES」を選択し、(OK)キーを押して交換を終了します。

```
#コウカンカンリョウ
*YES
```

注　意

◆ プリンターはワイパーブレードを使用した期間を自動的に積算し、ワイパーブレードの交換時期を促すメッセージを表示します。基本的に新品のワイパーブレードを装着して「＊ YES にした」ことを前提に積算しています。（「＊ YES」にすると積算値がリセットされます）この前提を崩すと交換時期を誤検出しますのでご注意ください。

ワイプクリーニング液の交換

「ワイプクリーニング液の交換手順」について説明します。
ワイプクリーニング液は、プリンターの交換メッセージが表示されたとき、および毎日の点検において残量が少なくなった場合に交換します。ワイプクリーニング液の交換周期は目安として約 1 ヶ月です。

1 プリンターをオフラインにして、MENUキーを押し、サービスメニューを表示します。

```
↑バ゛ックフィード゛      フィード゛↓
←クリーニング゛        サービ゛ス→
```

2 〉キーを押し、サービスメニューへ入ると、キャップクリーニングメニューが表示されます。

```
#キャップ゜クリーニング゛
>
```

3 ∨キーで「ワイプクリーニングエキコウカン」を選択し、OKキーを押します。

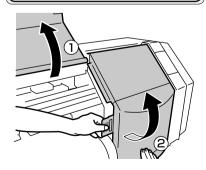
```
#ワイプ゜クリーニング゛エキコウカン
>
```

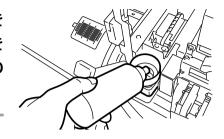
4 確認画面が表示されたら、OKキーを押します。

```
#ワイプ゜クリーニング゛エキコウカン
*OK?
```

```
カバ゛ーヲアケテワイプ゜クリーニング゛
エキヲコウカンシテクダ゛サイ
```

5 フロントカバーとキャップカバーを開けます。

```
ワイプ゜クリーニング゛エキヲコウカンシ
カバ゛ーヲシメテクダ゛サイ
```

6 古いワイプクリーニング液ボトルを少し持ち上げ、中に入っている液をすべてプリンター内に流し込んだのを確認してから抜きます。

注　意

◆ あらかじめ廃インクボトルが一杯になっていないか目視確認してください。

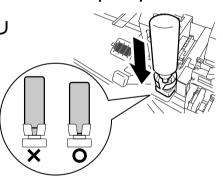
プリンターセット用キャップ

7 新しいワイプクリーニング液ボトルのキャップをプリンターセット用のキャップに取り替えます。

8 ワイプクリーニング液ボトルをプリンターにセットし、上から押して、プリンターセット用キャップの詮を押し込みます。

9 キャップカバーとフロントカバーを閉めます。

```
#コウカンカンリョウ
*NO
```

10 ⌄キーを押して、「＊ YES」を選択し、OKキーを押して交換を終了します。

```
#コウカンカンリョウ
*YES
```

注　意

◆ プリンターはワイプクリーニング液ボトルを使用した期間を自動的に積算し、ワイプクリーニング液ボトルの交換時期を促すメッセージを表示します。基本的に新品のワイプクリーニング液ボトルを装着して「＊ YES にした」ことを前提に積算しています。(「＊ YES」にすると積算値がリセットされます）この前提を崩すと交換時期を誤検出しますのでご注意ください。

◆ ワイプクリーニング液は汚れる事がありますが、異常ではありません。

ワイパースポンジの交換

「ワイパースポンジの交換手順」について説明します。
ワイパースポンジは、プリンターの交換メッセージが表示されたときに交換します。ワイパースポンジの交換周期は目安として約 6 ヶ月です。

1 プリンターをオフラインにして、(MENU)キーを押し、サービスメニューを表示します。

```
↑ハ゛ックフィート゛        フィート゛↓
←クリーニンク゛          サーヒ゛ス→
```

2 (＞)キーを押し、サービスメニューへ入ると、キャップクリーニングメニューが表示されます。

```
#キャッフ゜クリーニンク゛
>
```

3 (∨)キーで「ワイパースポンジコウカン」を選択し、(OK)キーを押します。

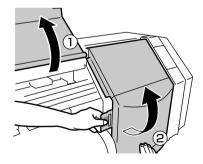
```
#ワイハ゜スホ゜ンシ゛コウカン
>
```

4 確認画面が表示されたら、(OK)キーを押します。

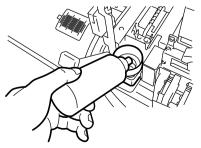
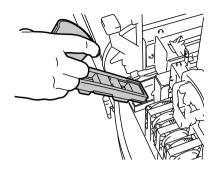
```
#ワイハ゜スホ゜ンシ゛コウカン
*OK?
```

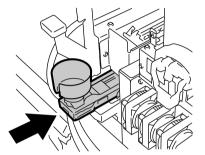
```
カハ゛ーヲアケテワイハ゜スホ゜ンシ゛ヲ
コウカンシテクタ゛サイ
```

5 フロントカバーとキャップカバーを開けます。

```
ワイハ゜スホ゜ンシ゛ヲコウカンシ
カハ゛ーヲシメテクタ゛サイ
```

6 ワイプクリーニング液ボトルを少し持ち上げ、中に入っている液がプリンター内にすべて流れ込んだのを確認してから抜き取ります。

注　意

◆ あらかじめ廃インクボトルが一杯になっていないか目視確認してください。

7 ワイパースポンジを手前に引き出しながら少しずつ立てるようにし、中に入っている液がプリンター内にすべて流れ込んだのを確認してから抜き取ります。

8 新しいワイパースポンジを取り付けます。

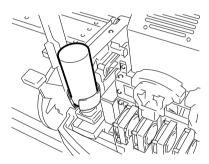
カチッと音がするまでプリンターの奥まで差し込んでください。

9 新しいワイプクリーニング液ボトルを取り付けます。

（☞ P.4-23「ワイプクリーニング液の交換」）

10 キャップカバーとフロントカバーを閉めます。

```
#コウカンカンリョウ
*NO
```

11 (∨)キーを押して、「＊ YES」を選択し、(OK)キーを押して交換を終了します。

```
#コウカンカンリョウ
*YES
```

注　意

◆ プリンターはワイパースポンジを使用した期間を自動的に積算し、ワイパースポンジの交換時期を促すメッセージを表示します。基本的に新品のワイパースポンジを装着して「＊ YES にした」ことを前提に積算しています。（「＊ YES」にすると積算値がリセットされます）この前提を崩すと交換時期を誤検出しますのでご注意ください。

送り補正値の設定

メディアは厚み、コシの強さ、表面の摩擦抵抗などによって搬送性能が変化します。送り補正値が不適切だと印刷に周期的なバンディング（横縞）が起きる場合があります。以下の流れで適切な送り補正値を設定してください。

Step 1
調整パターンの印刷

Step 2
調整パターンの印刷結果から
送り補正値の入力

◇ 送り補正値が変わる要因は以下のようなものがあります。
・メディアの種類
・印刷モードの変更
・スマートパスの変更
・加圧ローラーアップダウンレバーによる圧力変更
・巻取り装置の使用／未使用
・メディア送りモードの変更（「シーケンス 1」／「シーケンス 2」）

◆送り補正値の設定手順

1 幅 A1 サイズ以上、長さ 1m 以上のメディアを取り付けます。

送り補正は送り調整パターンの「シングル」又は、「マルチ」のどちらのパターンを使っても送り補正値を決定することができます。

「オクリ　シングル」は、現設定の「オクリホセイチ」で印刷を行います(1パターン)。

「オクリ　マルチ」は、現設定の「オクリホセイチ」−0.2%、現設定の「オクリホセイチ」、現設定の「オクリホセイチ」+0.2%の3つのパターンを印刷します。

巻取り装置の巻き取り方式をテンション巻きにした場合は、印刷長さが長くなります。

（なお、送り調整パターンは、CANCEL キーを押すことで、印刷を中止することができます。）

（送り調整パターン「シングル」の場合）

2 プリンターをオフラインにします。
（ONLINE キーを押す）

```
↑インク          トウロク↓
←メデ゛ィア       チョウセイ→
```

3 〉キーを押し、送り調整パターン「シングル」の表示にします。

```
#オクリ  シング゛ル
#インサツジ゛ッコウ>
```

4 ＞キーを押し、印刷するパターン（オクリ　シングル）を選択します。

```
#オクリ シング゛ル:100.00%
#インサツジ゛ッコウ>
```

5 ∧，∨キーで、印刷モード及び、スマートパスを選択し、調整したい設定に変更します。

```
#オクリ シング゛ル
#インサツモード゛ >ヒョウジ゛ュン
```

```
#オクリ シング゛ル
#スマートパ゜ス >ジ゛ャク
```

6 ∧，∨キーで、「インサツジッコウ」を選択し、OKキーを押します。

```
#オクリ シング゛ル:100.00%
#インサツジ゛ッコウ>
```

選択された印刷モードおよびスパートパスで、送り調整パターン「シングル」が印刷されます。

7 OKキーを押すと、補正値入力の表示になりますので、∧，∨キーで、補正値を調整して、OKキーを押します。

```
#オクリ シング゛ル:100.00%
#ホセイチ      *100.20%
```

上段には現在の補正値が、下段には変更中の補正値が表示されます。

8 OKキーを押すと、補正値確認状態となります。

```
#オクリ シング゛ル:100.20%
#ホセイチ      *OK?
```

9 OKキーを押します。

```
#オクリ シング゛ル:100.20%
*ジ゛ッコウチュウ
```

補正値を確定して印刷を開始します。

10 印刷結果を見て補正値が正しくないようであれば、手順６～９を繰り返し行い、補正値を決定します。

（送り調整パターン「マルチ」の場合）

1 プリンターをオフラインにします。（ONLINE キーを押す）

```
↑インク          トウロク↓
←メディア      チョウセイ→
```

2 〉キーを押し、送り調整パターン「マルチ」の表示にします。

```
#オクリ　マルチ
#インサツジッコウ>
```

3 〉キーを押し、印刷するパターン（オクリ　マルチ）を選択します。

```
#オクリ　マルチ　　：100.00%
#インサツジッコウ>
```

4 ︿，﹀キーで、印刷モード及び、スマートパスを選択し、調整したい設定に変更します。

```
#オクリ　マルチ
#インサツモード　>ヒョウジュン
```

```
#オクリ　マルチ
#スマートパス　>ジャク
```

5 ︿，﹀キーで、「インサツジッコウ」を選択し、OK キーを押します。選択された印刷モードおよびスパートパスで、送り調整パターン「マルチ」が印刷されます。

```
#オクリ　マルチ　　：100.00%
#インサツジッコウ>
```

6 OK キーを押すと、補正値入力の表示になりますので、︿，﹀キーで、補正値を調整して、OK キーを押します。

```
#オクリ　マルチ　　：100.00%
#ホセイチ　　　　＊100.20%
```

上段には現在の補正値が、下段には変更中の補正値が表示されます。

7 OK キーを押すと、補正値確認状態となります。

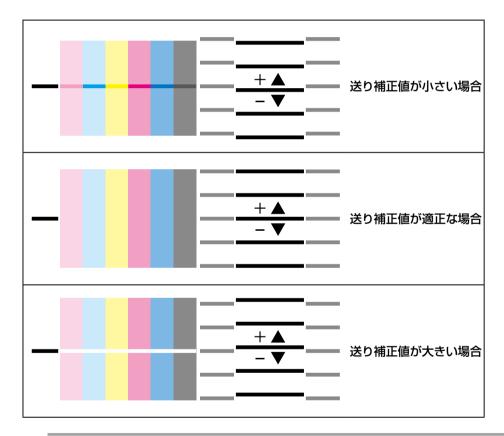
```
#オクリ　マルチ　　：100. 20%
#ホセイチ　　　　＊OK？
```

8 OK キーを押します。

```
#オクリ　マルチ　　：100.20%
＊ジッコウチュウ
```

補正値を確定して印刷を開始します。

9 印刷結果を見て現在設定されている補正値よりも最適な補正値があれば、その補正値を入力して下さい。もし、補正値が正しくないようであれば、手順６～９を繰り返し行い、補正値を決定します。

送り調整パターンの見方

注　意

- ◆ プリントヘッド毎（毎色）に、適正な補正値が違う場合は平均的な値を設定してください。ただし、印刷する画像で優先される色がある場合は、その色の補正値を設定してください。
- ◆ メディアの左右で適正な補正値が違う場合は平均的な値を設定してください。
- ◆ メディアの左右で適正な補正値が違う場合はメディアの斜行などが原因となっている可能性があります。メディアが斜めにセットされていないか再確認してください。

◆オンライン印刷中の変更

オンライン印刷中、次の操作で、送り補正値の変更が可能です。

```
プ゜リントデ゛キマス
ロール：1625／PAPER
```

オンライン状態（アイドルモード）表示

```
プ゜リントチュウ
NORMAL L ND BI
```

印刷画像のデータ受信開始

データ LED 点滅

キーもしくは キーを押します

```
ビ゛チョウセイ：100.00%
*100.00%
```

参考

◇ 「プリントチュウ」表示中に、キーまたは キーを押すと、現在動作している送り補正値を表示します。（表示の２行目）

◇ 表示の１行目には印刷開始時の値が表示され、印刷終了まで変わることはありません。

◇ 、キーで０．０１%アップ（ダウン）します。

◇ 値が変更された時点で印刷に反映します。

◇ ３秒間キー操作がない場合、元の表示に戻ります。

◇ 変更された補正値は、新しい補正値として保存されますので、次の印刷にも反映されます。

ヘッド印刷位置補正

各プリントヘッドの印刷位置を調整するためのパターンを印刷し、補正値を入力して調整します。

●新規メディアに交換した場合

(1)往復位置の調整 (P.4-33「オウフクチョウセイの調整方法」)

チョウセイ
「オウフク　オート/マニュアル」
を印刷

調整パターンの結果から
「ホセイチ L」、「ホセイチ R」
に補正値を入力

(2)送り補正値の調整 (P.4-27「送り補正値の設定」)

チョウセイ
「オクリ　シングル／マルチ」
を印刷

調整パターンの結果から
「ホセイチ」
に補正値を入力

●よい画質をだすために(通常時は調整する必要はありません。)

(1)メディアの前後方向の印刷位置の調整

メカチョウセイ
「ノズルイチチョウセイ」
を印刷

調整パターンの結果から
「ホセイチ」
に補正値を入力

(2)メディアの左右方向の印刷位置の調整

メカチョウセイ
「ヘッドチョウセイ」
を印刷

調整パターンの結果から
「イチホセイチ」
に補正値を入力

調整パターンの結果から
「サユウホセイチ」
に補正値を入力

(3)メディアに印刷される画像の位置の調整(K色プリントヘッドを交換した場合のみ)

メカチョウセイ
「センサーチョウセイ」
を印刷

調整パターンの結果から
「ホセイチ(トップ)」と
「ホセイチ(サイド)」
に補正値を入力

◆「オウフクチョウセイ」の調整方法

（往復調整パターン「オート」の場合）

各プリントヘッドの往復位置を調整します。「オウフク　オート」の印刷結果をもとに補正値を入力します。

STEP 1　調整パターン「オウフク　オート」の印刷方法

1 プリンターをオフラインにします。（ONLINE キーを押す）

```
↑インク          トウロク↓
←メテ゛ィア      チョウセイ→
```

2 〉キーを押し、チョウセイメニューに入ります。

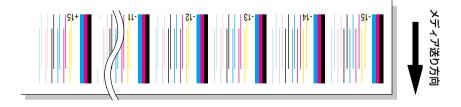
```
#オクリ　シンク゛ル
#インサツシ゛ッコウ>
```

3 ∨キーを押し、「オウフク　オート」を選択し、〉キーを押します。

```
#オウフク　オート
#インサツシ゛ッコウ>
```

4 OK キーを押すと、下図のような調整パターンが印刷されます。

```
#オウフク　オート
*シ゛ッコウチュウ
```

・「オウフク　オート」印刷サンプル

STEP 2　補正値の入力方法

5 チョウセイメニューを選択後、(∨)キーを押して「オウフク　オート」の表示にします。

```
#オウフク　オート
#インサツシ゛ッコウ>
```

6 (>)キーを押して、カーソルを移動し、(∧),(∨)キーでホセイチＬ又はホセイチＲを選択します。

```
#オウフク　オート
#ホセイチL　M>+0
```

ここでは例としてＭ色プリントヘッドを調整する場合を説明します。

7 (OK)キーを押して補正するヘッド色を確定させ、パラメーターを入力できる状態にします。

```
#オウフク　オート
#ホセイチL　M*+00
```

8 「オウフク　オート」パターンのうち、各色プリントヘッドの２本線が１本に合わさっているパターンの数値を入力します。

(<),(>)キーで桁を合わせ、(∧),(∨)キーで値を変更します。

補正値は、各プリントヘッドの２本線がもっとも合わさっている値を入力します。
例えば、Ｍ色プリントヘッドを設定する場合、右図では -12 はずれていますが、-8 では１本に合わさっているので、「-8」を入力します。

```
#オウフク　オート
#M:ホセイチL　M　　>-08
```

M
M
-8
-12

9 (OK)キーを押します。

```
#オウフク　オート
#M:ホセイチL　M　　>-08
```

10 「ホセイチ　R」についても同様に調整します。

11 他の色についても同様に調整します。

（往復調整パターン「マニュアル」の場合）

各プリントヘッドの往復位置を調整します。「オウフク　マニュアル」の印刷結果をもとに補正値を入力します。

STEP 1　調整パターン「オウフク　マニュアル」の印刷方法

1 プリンターをオフラインにします。（ONLINEキーを押す）

```
↑インク          トウロク↓
←メディア        チョウセイ→
```

2 〉キーを押し、チョウセイメニューに入ります。

```
#オクリ　シングル
#インサツジッコウ>
```

3 ∨キーを押し、「オウフク　マニュアル」を選択し、〉キーを押します。

```
#オウフク　マニュアル
#インサツジッコウ>
```

4 ∨キーを押して「パターン」を選択します。

```
#オウフク　マニュアル
#パターン　　>オウフクホセイ１
```

5 OKキーを押すと、印刷するパターンを変更できます。

```
#オウフク　マニュアル
#パターン　　*オウフクホセイ１
```

6 ∧, ∨キーを押し、印刷するパターンを選択します。

OKキーを押して確定します。

```
#オウフク　マニュアル
#パターン　　>オウフクホセイ２
```

7 ∧キーを押し、「インサツジッコウ」を選択します。

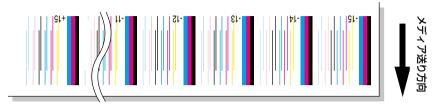
```
#オウフク　マニュアル
#インサツジッコウ>
```

4

メンテナンスと調整・交換

8 (OK)キーを押すと、下図のような調整パターンが印刷されます。

```
#オウフク　マニュアル
*ジ゛ッコウチュウ
```

・「オウフク　マニュアル」印刷サンプル

STEP 2　補正値の入力方法

```
#オウフク　マニュアル
#インサツジ゛ッコウ>
```

9 チョウセイメニューを選択後、(∨)キーを押して「オウフク　マニュアル」の表示にします。

10 (>)キーを押して、カーソルを移動し、(∧)，(∨)キーで入力するホセイチを選択します。

```
#オウフク　マニュアル
#ホセイチ2L　M>+0
```

ここでは例としてホセイチ 2L の M 色プリントヘッドを調整する場合を説明します。

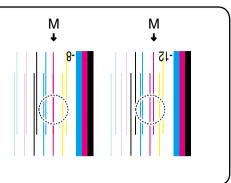
11 (OK)キーを押して補正するヘッド色を確定させ、パラメーターを入力できる状態にします。

```
#オウフク　マニュアル
#ホセイチ2L　M*+00
```

12「オウフク　マニュアル」パターンのうち、各色プリントヘッドの2本線が1本に合わさっているパターンの数値を入力します。

(<)，(>)キーで桁を合わせ、(∧)，(∨)キーで値を変更します。

補正値は、各プリントヘッドの２本線がもっとも合わさっている値を入力します。
例えば、Ｍ色プリントヘッドを設定する場合、右図では -12 はずれていますが、-8 では１本に合わさっているので、「-8」を入力します。

```
#オウフク　マニュアル
#M：ホセイチ2L　M　　>−08
```

13 (OK)キーを押します。

```
#オウフク　マニュアル
#M：ホセイチ2L　M　　>−08
```

14 「ホセイチ　２Ｒ」についても同様に調整します。

15 他の色についても同様に調整します。

16 他のホセイチについても同様に調整します。

◆「ヘッドチョウセイ」の調整方法

各プリントヘッドの主走査方向（メディアの左右）のヘッド位置をＫ色プリントヘッドを基準に調整します。「ヘッドチョウセイ」の印刷結果をもとに、補正値を入力します。

STEP 1　調整パターン「ヘッドチョウセイ」の印刷方法

1 プリンターをオフラインにします。（ONLINE キーを押す）

```
↑インク        トウロク↓
←メデ゛ィア     チョウセイ→
```

2 MENU キーを２回押し、メカチョウセイメニューを表示します。

```
↑ファンクション    システム↓
←メカチョウセイ     ヒーター→
```

3 〈 キーを押し、メカチョウセイメニューに入ります。

```
#ノズ゛ルプ゜リント
#インサツジ゛ッコウ>
```

4 ∨ キーを押し、「ヘッドチョウセイ」を選択し、〉キーを押します。

```
#ヘッド゛チョウセイ
#インサツジ゛ッコウ>
```

5 OK キーを押すと、下図のような調整パターンが印刷されます。

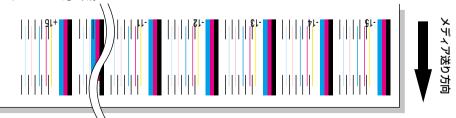
```
#ヘッド゛チョウセイ
*ジ゛ッコウチュウ
```

・「ヘッドチョウセイ」印刷サンプル

STEP 2　補正値（位置補正値）の入力方法

6 メカチョウセイメニューを選択後、⌄キーを押して「ヘッドチョウセイ」の表示にします。

```
#ヘッド゛チョウセイ
#インサツシ゛ッコウ>
```

7 ›キーを押して、カーソルを移動し、︿,⌄キーでヘッド色を変更します。

```
#ヘッド゛チョウセイ
#イチホセイチ　Lc
```

ここでは例としてLc色プリントヘッドを調整する場合を説明します。

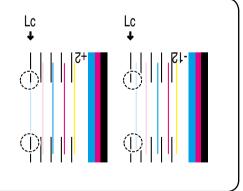
8 OKキーを押して補正するヘッド色を確定させ、パラメーターを入力できる状態にします。

```
#ヘッド゛チョウセイ
#イチホセイチ　Lc　*+00
```

9 「ヘッドチョウセイ」パターンのうち、基準となるK色プリントヘッドの線と設定したいプリントヘッドの線が、もっとも合っているパターンの数値を入力します。

‹,›キーで桁を合わせ、︿,⌄キーで値を変更します。

補正値は、K色プリントヘッドの線と位置が一致している値を入力します。
例えば、右図のLc色プリントヘッドでは-12はずれていますが、+2では一致していますので、「+2」を入力します。

```
#ヘッド゛チョウセイ
#イチホセイチ　Lc　>+02
```

10 OKキーを押します。

```
#ヘッド゛チョウセイ
#イチホセイチ　Lc　>+02
```

11 他の色についても同様に調整します。

STEP 3　補正値（左右補正値）の入力方法

6 メカチョウセイメニューを選択後、∨キーを押して「ヘッドチョウセイ」の表示にします。

```
#ヘッド゛ チョウセイ
#インサツジ゛ッコウ>
```

7 ＞キーを押して、カーソルを移動し、∧，∨キーでヘッド色を変更します。

```
#ヘッド゛ チョウセイ
#サユウホセイチ　M　>+00
```

ここでは例として M 色プリントヘッドを調整する場合を説明します。

8 OKキーを押して補正するヘッド色を確定させ、パラメーターを入力できる状態にします。

```
#ヘッド゛ チョウセイ
#サユウホセイチ　M　*+00
```

9 「ヘッドチョウセイ」パターンのうち、各色プリントヘッドの２本線が１本に合わさっているパターンの数値を入力します。

＜，＞キーで桁を合わせ、∧，∨キーで値を変更します。

補正値は、各プリントヘッドの２本線がもっとも合わさっている値を入力します。
例えば、M 色プリントヘッドを設定する場合、右図では -5 はずれていますが、3 では１本に合わさっているので、「3」を入力します。

```
#ヘッド゛ チョウセイ
#サユウホセイチ　M　>+03
```

10 OKキーを押します。

```
#ヘッド゛ チョウセイ
#サユウホセイチ　M　>+03
```

11 他の色についても同様に調整します。

◆「センサーチョウセイ」の調整方法

メディアに印刷される画像位置の調整をします。「センサーチョウセイ」の印刷結果をもとに補正値を入力します。本調整はK色プリントヘッドを交換した場合のみ必要です。

STEP 1　プリンターにセットされたメディアの先端をメディアカッターブレードでカットします。

注　意

- ◆ メディアの先端をプラテンと平行になるように真っ直ぐに切ってください。切らずに調整すると正しい調整が行えませんのでご注意ください。
- ◆ カールしたメディアは、メディアジャムになる可能性があるので、使用しないでください。特に、内巻きメディアは用紙端が上向きにカールしている場合があるので、使用しないでください。

STEP 2　調整パターン「センサーチョウセイ」の印刷方法

1 プリンターをオフラインにします。（ONLINEキーを押す）

```
↑インク　　　　トウロク↓
←メデ゛ィア　　チョウセイ→
```

2 MENUキーを２回押し、メカチョウセイメニューを表示します。

```
↑ファンクション　　システム↓
←メカチョウセイ　　ヒーター→
```

3 ＜キーを押し、メカチョウセイメニューに入ります。

```
#ノズ゛ルプ゜リント
#インサツシ゛ッコウ>
```

4 ∨キーを押し、「センサーチョウセイ」を選択します。

```
#センサーチョウセイ
#インサツシ゛ッコウ>
```

5 OKキーを押します。

```
#センサーチョウセイ
*OK?
```

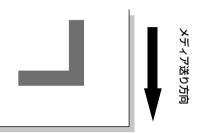
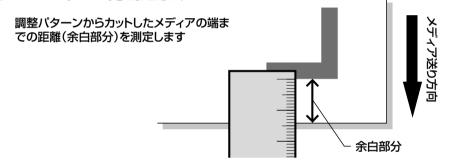
メンテナンスと調整・交換　4

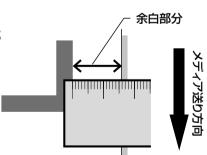
6 (OK)キーを押すと、下図のような調整パターンが印刷されます。

```
＃センサーチョウセイ
＊ジッコウチュウ
```

・「センサーチョウセイ」印刷サンプル

・「ホセイチ（トップ）」測定方法

調整パターンからカットしたメディアの端までの距離（余白部分）を測定します

・「ホセイチ（サイド）」測定方法

調整パターンからメディア端面までの距離（余白部分）を測定します

・補正値の求め方

15mmを基準値として余白部分を計測し、補正値を求めます。

<例>

余白部分が**14mm**だった場合:**－1.0mm**が補正値になります。

余白部分が**16mm**だった場合:**＋1.0mm**が補正値になります。

STEP 3　補正値の入力方法

ここでは例として、「ホセイチ（トップ)」が－ 1.0mm、「ホセイチ（サイド)」が＋ 1.0mm だった場合の説明をします。

注　意

◆ 入力した補正値を有効にするために、補正値を入力後、再度、調整パターン「 センサーチョウセイ 」の印刷、またはメディアの再セットを行ってください。

7 **メカチョウセイメニューを選択後、(∨)キーを押して「センサーチョウセイ」の表示にします。**

```
#センサーチョウセイ
#インサツジ゛ッコウ>
```

(>)キーを押してカーソルを移動し、(∧),(∨)キーでホセイチ（トップ）を選択します。

```
#センサーチョウセイ
#ホセイチ（トップ゜）>+0.0mm
```

8 **(OK)キーを押して、パラメーターを入力できる状態にします。**

```
#センサーチョウセイ
#ホセイチ（トップ゜）*+0.0mm
```

9 **補正値を入力します。**

(<), (>)キーで桁を合わせ、(∧), (∨)キーで値を変更します。

```
#センサーチョウセイ
#ホセイチ（トップ゜）*+0.0mm
```

補正値の決定方法は☞ P.4-42 を参照してください。

10 **(OK)キーを押します。**

```
#センサーチョウセイ
#ホセイチ（トップ゜）>-1.0mm
```

11 **(∨)キーを押して「ホセイチ（サイド)」を選択します。**

```
#センサーチョウセイ
#ホセイチ（サイト゛）>+0.0mm
```

12 **(OK)キーを押して、パラメーターを入力できる状態にします。**

```
#センサーチョウセイ
#ホセイチ（サイト゛）*+0.0mm
```

13 補正値を入力します。

〈, 〉キーで桁を合わせ、∧, ∨キーで値を変更します。

補正値の決定方法は☞ P.4-42 を参照してください。

```
#センサーチョウセイ
#ホセイチ(サイド゛)>+0.0mm
```

14 OKキーを押します。

```
#センサーチョウセイ
#ホセイチ(サイド゛)>+1.0mm
```

5 オプションの使い方

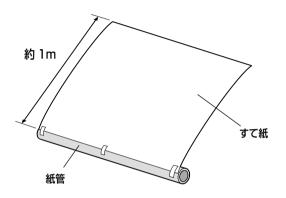
本章では、オプション装置の操作方法を説明します。

（本章の内容）

巻取り装置の使い方

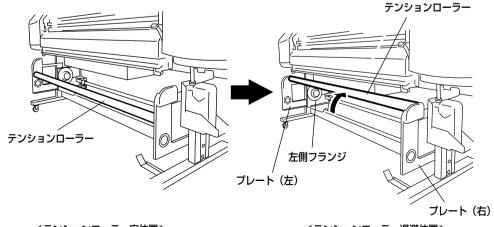
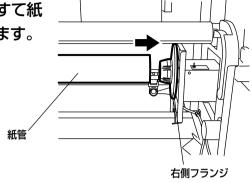
巻取り装置はオプションです。IP-5620、IP5520 それぞれに専用のものがあります。

◆巻取り装置にメディアを取り付ける

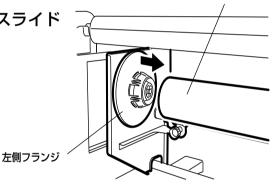
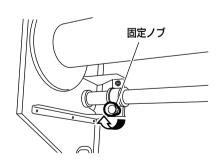
1 使用するメディアと同じ幅の紙管とすて紙（約 1 m）を用意し、すて紙を紙管に貼り付けておきます。

注　意

- ◆ メディアを紙管に対して斜めに取り付けるとメディアのスキューの原因となりますので注意してください。
- ◆ 巻取り装置で巻き取る紙管の幅は、印刷するロールメディアと同じ幅の紙管を使用してください。幅が長いものを使用すると、巻きずれが発生する場合があります。

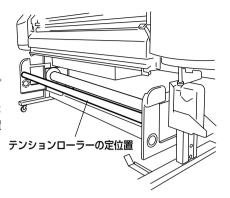
参考　◇ 作業の邪魔にならない位置にブロアー装置 (オプション) を移動してください。

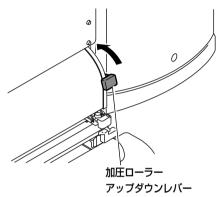
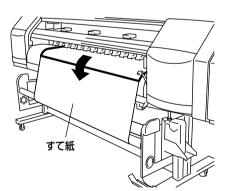
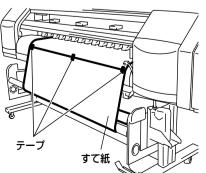
2 テンションローラーを退避位置に移動します。

3 右側フランジ（固定側）に、すて紙を貼り付けた紙管を差し込みます。

注　意

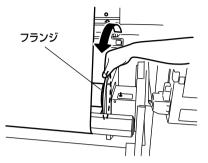
◆ 通常は、右側フランジの位置は移動させる必要がないため固定位置のまま使用します。ただし、印刷するロールメディアのプリンターへの取り付け位置に合わせて、右側フランジの位置も調整してください。

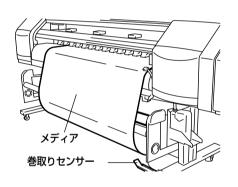
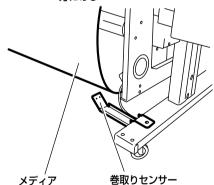
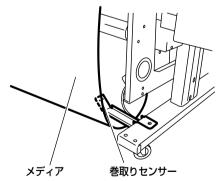
4 左側フランジ（可動側）をスライドさせ、紙管に差し込みます。

5 左側フランジの固定ノブをしっかり締めます。

6 テンションローラーを退避位置から定位置に戻します。

注　意

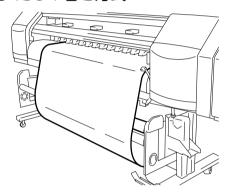
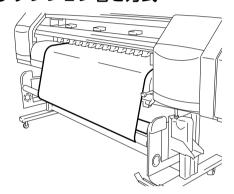
巻き取り動作中のテンションローラーの位置はたるみ巻き、テンション巻きに関わらず定位置でご使用ください。

7 加圧ローラーアップダウンレバーを上げて、印刷するロールメディアをプリンターに取り付けます。

メディアの取り付け方法は、☞ P.2-7「メディアの交換」を参照してください。

8 操作パネルのフィードメニューで、メディアをすて紙に届くくらいまで送ります。

9 ロールメディアとすて紙をつなぎ合わせます。粘着テープなどで左右端と中央の３ヶ所くらい貼り付けてください。

10 すて紙のたるみ（余剰な長さ）を無くすために、巻取りセンサーに手をあてることで巻き取ってください。なお巻取りが途中で止まった場合は、一旦センサーより手をはずしてから、再度センサーに手を当てると巻取りが再開します。

<外巻きの場合>

内巻きで使用する場合は、フランジを矢印の逆の方向に回してたるみをとってください。

11 メディアと巻取りセンサーの位置関係を確認し、誤っている場合は正しく取り付け直します。

○ メディアが巻取りセンサーの上方にある

✕ メディアが巻取りセンサーの下方に潜り込んでいる

◆テンション巻き方式／たるみ巻き方式の設定方法

巻取り装置は、テンション巻き方式とたるみ巻き方式の 2 種類を選択できます。
通常、塩ビ（糊付）はたるみ巻き方式を選択してください。
また、ターポリン等の印刷面がザラついたメディアは表面が滑りにくく、巻きずれが発生する場合があります。そのような場合は、テンション巻き方式を選択してください。

● たるみ巻き方式

● テンション巻き方式

■ テンション巻き方式／たるみ巻き方式の設定手順

トウロクメニューの「マキトリホウシキ」で、テンション巻き方式／たるみ巻き方式の設定を行います。

<操作パネル LCD 表示>

1 (ONLINE)キーを押し、プリンターをオフラインにします。

```
↑インク            トウロク↓
←メデ゛ィア        チョウセイ→
```

2 (∨)キーを押し、トウロクメニューに入ります。

```
#メデ゛ィアセンタク
>XX:YYYYYY
```

XX：メディア番号　YYYYYY：メディア名

3 (∨), (∧)キーで「＃マキトリホウシキ」を選択し、(OK)キー押します。

```
#マキトリホウシキ
>XX:タルミマキ          *
```

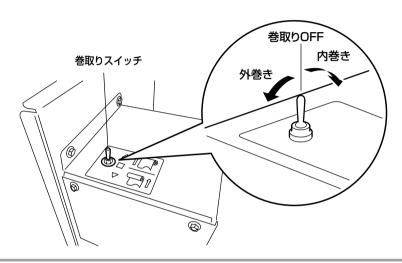
XX：メディア番号

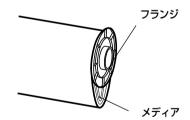
4 (∨), (∧)キーで「タルミマキ」または「テンションマキ」を選択し、(OK)キー押します。

```
#マキトリホウシキ
>XX:テンションマキ      *
```

XX：メディア番号

◆巻取りスイッチの設定

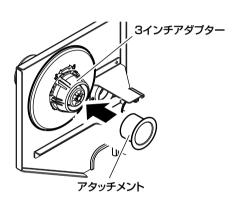
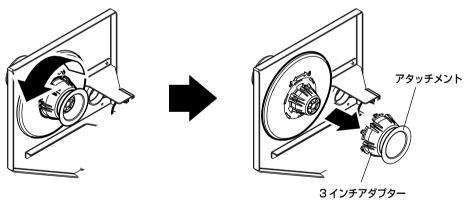
巻き取り方向は内巻きと外巻きが選択できます。
また、巻取り装置を使用しない場合は、巻取りスイッチを「OFF」にします。
下図を参照して設定してください。

注　意

◆ 巻取りロール下部が、巻取りフランジ径に近づいたら、巻取りロールをはずして、新しい紙管と交換してください。下図のようになると、使用可能重量以内でも巻き取り不良が発生する場合があります。

（巻取りロール下部が巻取りフランジ径を超えた場合）

◆ 巻取り装置をご使用にならないで印刷される場合は、風等の影響によって、メディアの先端および印刷面が巻取りセンサーに当たり、キズ折れ等が発生する場合があります。印刷面の取扱いに注意してください。

◆ 2 インチ紙管を使用する場合

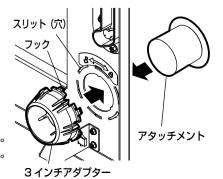
巻取り装置は 3 インチアダプターを取り外すことによって、2 インチ紙管を使用することができます。3 インチアダプターの取り外しには、巻取り装置に付属のアタッチメントが必要です。以下に、3 インチアダプターの取り外し手順を説明します。

1 3 インチアダプター中央の穴にアタッチメントを押し込みます。

2 3 インチアダプターを反時計方向（🔓矢印方向）に回し、アタッチメントと一緒に引き抜きます。

参考

◇ 取り外したアタッチメントと 3 インチアダプターは紛失しないようにプレート (左)、プレート (右) に取り付けます。（右図参照）

◇ 3 インチアダプターはプレート (左)、プレート (右) のスリット（穴）に差込み、時計方向（🔒矢印方向）に回して固定します。

◇ 3 インチアダプターを再度フランジに取り付ける場合は、フランジのスリット（穴）に 3 インチアダプターのフック（突起）を合わせて押し込み、時計方向（🔒矢印方向）に回してください。取り付けの際、アタッチメントは使用しません。

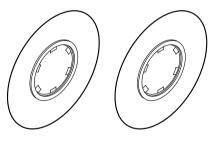
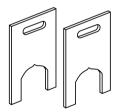
<プレート (右) に取り付ける場合>

◆たるみ巻き方式でうまく巻き取れない場合

メディアをたるみ巻き方式で巻き取る際のメディアセット方法について説明します。**「メディアの交換」**（☞ P.2-7）、**「巻取り装置の使い方」**（☞ P.5-2）も併せて参照してください。

注　意

- ◆ たるみ巻きフランジはたるみ巻き専用部品です。テンション巻きの場合は使用しないでください。
- ◆ たるみ巻きフランジの外周部を強く掴まないでください。強く掴んだ状態で手を滑らせると怪我をする恐れがあります。

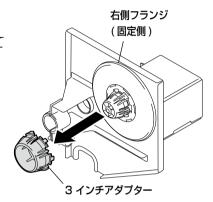
◇ たるみ巻きフランジの必要性：
メディア重量が 24kg 以下であるにもかかわらず、たるみ巻きで一巻すべてを巻き取ることができない場合に使用します。

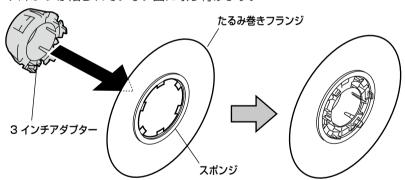
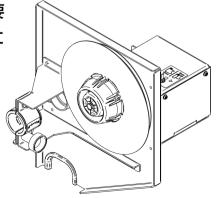
本項では、以下の部品を使用します。（部品は巻取り装置梱包箱に同梱されています）

たるみ巻きフランジ＜２個＞

紙管スペーサー＜２枚＞

■ たるみ巻きフランジ取り付け手順

以下の手順は右側 (固定側) について説明していますが、左側 (可動側) についても同様の手順で取り付けてください。(左右対称扱いとなります)

1 3 インチアダプターを取り外します。

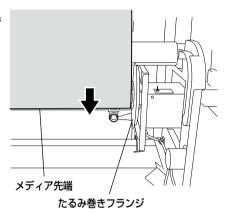
巻取り装置に付属のアタッチメントを使用して取り外してください。

2 3 インチアダプターをたるみ巻きフランジに取り付けます。

スポンジが貼られていない面に取り付けます。

3 3 インチアダプターを取り付ける要領で、たるみ巻きフランジと一緒に取り付けます。

■ たるみ巻きフランジの使用方法

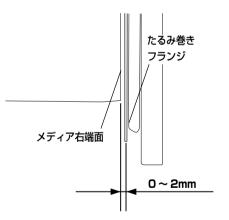
1 右側フランジ位置を調整します。

注　意

- ◆ この作業は、たるみ巻き方式に切換えた時、初回だけ実施してください。
- ◆ フランジ受け (給紙左側：固定側) の位置を移動した場合は、再調整してください。

① メディア先端を巻取りフランジの位置まで送り出します。

② メディア右端面と、たるみ巻きフランジの表面との隙間が 0 ～ 2mm になるように固定側ユニットを移動します。

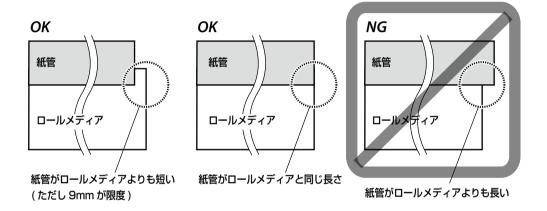
注　意

- ◆ フランジを左右にスライドするときは、たるみ巻きフランジに触らずに側板を持つようにしてください。

③ 右側 (固定側) フランジの固定ノブをしっかり締めます。

2 巻取り紙管の長さを確認します。

紙管の長さは、プリンターにセットされたメディア幅と同じか、短い紙管 (9mm 限度) を使用してください。

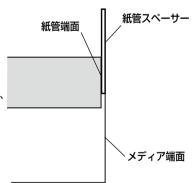
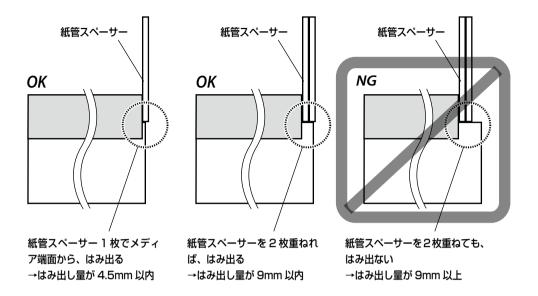
注　意

- ◆ メディア幅より長い紙管は使用しないでください。巻きズレ現象が発生して、最後まで巻き取りができない可能性があります。

① 短い紙管を使用する場合は、紙管スペーサーを使って、ロールメディアとの長さの差が9mm以内になっているか確認します。

紙管スペーサー（4.5mm 厚）を1枚または2枚重ねて、ロールメディアよりも長くなれば、9mm 以内になっています。

紙管スペーサー１枚でメディア端面から、はみ出る
→はみ出し量が 4.5mm 以内

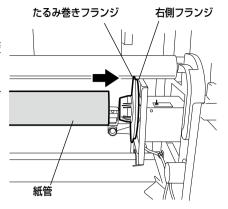
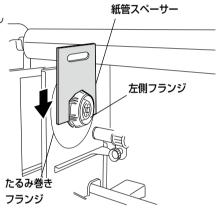
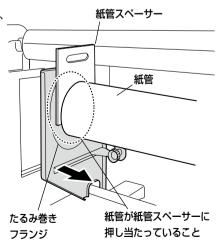
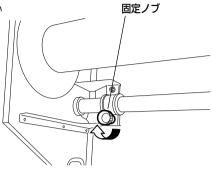
紙管スペーサーを２枚重ねれば、はみ出る
→はみ出し量が 9mm 以内

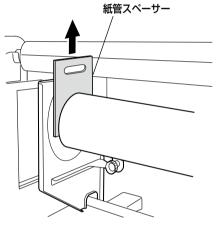
紙管スペーサーを２枚重ねても、はみ出ない
→はみ出し量が 9mm 以上

注　意

- ◆ 使用枚数は２枚までです。それ以上を必要とする紙管は使用しないでください。

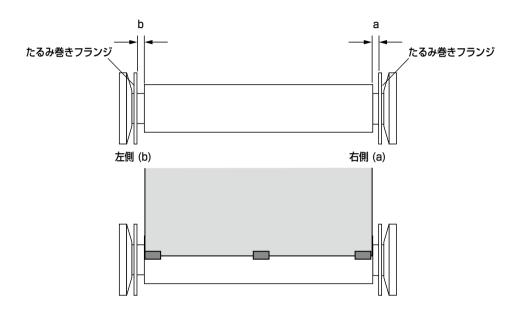
3 巻取り紙管を取り付けます。

手順 2. で確認した紙管と紙管スペーサーを使用してください。

① 右側フランジ (固定側) に紙管を差し込みます。

② 左側フランジ(可動側)に、手順「2.③」で確認した枚数の紙管スペーサーを差し込みます。

③ 左側フランジ (可動側) をスライドさせ、紙管が紙管スペーサーに押し当たるまで差し込みます。

④ 左側 (可動側) フランジの固定ノブをしっかり締めます。

⑤ 紙管スペーサーを抜きます。

さらに、「手順 2. ①」でセットしたフランジスペーサーをはずします。

4 メディアを貼り付けます。

粘着テープなどで左右端と中央の 3 ヶ所くらいを紙管に貼り付けてください。

たるみ巻きフランジ表面と左右のメディア端面の隙間が適正 (a+b=7mm 以内) かを確認してください。a は 0 ～ 2mm を目安としてください。

注　意

- ◆ たるみ巻きフランジにのりがついたときは、粘着テープまたはキャップクリーニング液でのりを取り除いてください。

■ キャップクリーニング液を使うときの手順

1 巻取装置からたるみ巻きフランジを外す。

2 柔らかい布などにキャップクリーニン液をつけ、たるみ巻きフランジを水平な台の上に置いてのりを拭き取る。

注　意

- ◆ キャップクリーニング液をつけすぎると、たるみ巻きフランジのスポンジまで剥がれることがあります。

3 のりを拭き終わったら、柔らかい布などで乾拭きをする。

■ 現象

たるみ巻き印字をおこなう際、下記の条件では巻きが緩くなることによりメディアが偏芯することがあります。(図１参照)
メディアが偏芯すると、巻き取りトルクが増大し巻き取り不良が起こることがありますので注意して下さい。

注　意

- ◆ 巻き取ったメディアを数時間放置すると、巻きが緩み巻き取り不良が発生することがあります。
- ◆ 続けて巻き取り印字をおこなう際は、最初だけ手で巻き取り動作をアシストして下さい。
- ◆ コシの強いメディアでたるみ巻き印字を行なうと、巻きが緩くなり巻き取り不良が発生することがあります。このようなメディアを使う時は、巻き取りの途中でなるべく長時間放置しないようにして下さい。また、万一巻き取りが止まってしまった時は、前記のように巻き取り動作をアシストして下さい。
- ◆ スキューが大きいと、巻き緩みを助長して巻き取り不良が発生することがあります。
- ◆ メディアは、紙管に対して直角になるように取り付けて下さい。
- ◆ 紙管はメディアの幅にあったものを取り付けて下さい。
- ◆ メディアとたるみ巻きフランジとの隙間を取り過ぎないようにして下さい。
  ａ、ｂの隙間は印字中にメディアがたるみ巻きフランジに、ぎりぎり触れないくらいが望ましいです。(図２参照)

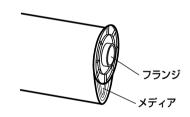



図１（メディアが偏芯した状態）

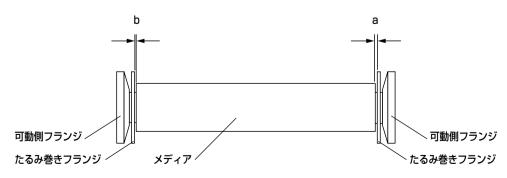



図２

巻取り装置の調整

ロールメディアの仕立ての状態（巻きずれなど）や、印刷中の環境（温度、湿度など）によって、巻き取り動作中の状態は常に変化するため、都度調整しながら巻き取ってください。

Step 1
印刷／巻き取りをする前に・・・・・・・→◆初期調整

Step 2
巻き取り中に巻き取り不良が起きた・・→◆動作中の調整

◆初期調整

注　意

◆ 初期調整実行中は巻取りスイッチをOFFにしてください。(☞P.5-7「巻取りスイッチの設定」)

1 調整パターン「マキトリチョウセイ」を印刷します。

参考
◇ あらかじめ、作業の邪魔にならない位置にブロアー装置を移動してください。
◇ 温湿度の影響を受けやすい普通紙ではなく、受けにくいフィルムの使用をお薦めします。

■ 調整パターンの印刷方法（「マキトリチョウセイ」を印刷する場合）

＜操作パネル LCD 表示＞

1 プリンターをオフラインにします。（ONLINE キーを押す）

```
↑インク          トウロク↓
←メデ゛ィア      チョウセイ→
```

2 MENU キーを２回押し、メカチョウセイを表示します。

```
↑ファンクション    システム↓
←メカチョウセイ    ヒーター→
```

3 〈 キーを押し、メカチョウセイメニューに入ります。

```
#ノズ゛ルプ゛リント
#インサツシ゛ッコウ>
```

4 ∨ キーを押し、「マキトリチョウセイ」を選択し、〉キーを押します。

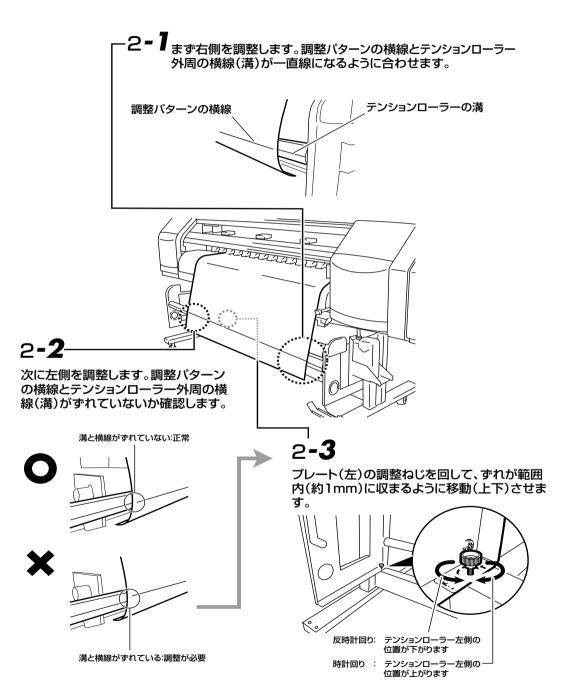
```
#マキトリチョウセイ
#インサツシ゛ッコウ>
```

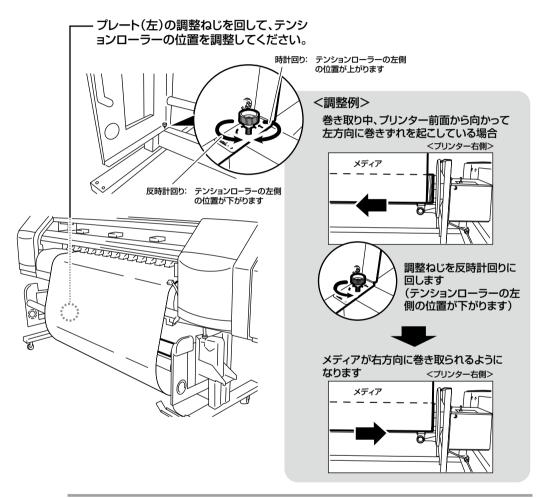
↓ OK

5 OK キーを押すと、ヘッドウォーミングアップの後、調整パターンの「マキトリチョウセイ」が印刷されます。

```
#マキトリチョウセイ
#インサツシ゛ッコウ>＊OK？
```

```
#マキトリチョウセイ
＊シ゛ッコウチュウ
```

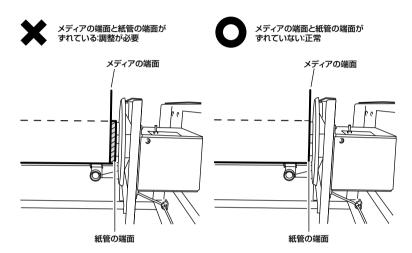
2 調整パターンの横線とテンションローラーの溝の位置を見ながら、下図の手順で調整します。

◆動作中の調整

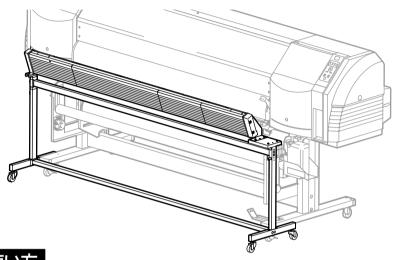
メディアの状態によっては、初期調整のままでは巻きずれ等の巻き取り不良が起こる場合があります。
そのような場合は、プレート(左)の調整ねじを回して現象を回避します。

注　意

◆ メディアの状態によっては、長尺(長い印刷長さ)を印刷している間に、複数回の調整が必要になることもあります。

印刷するロールメディアのプリンターへの取り付け位置を移動した場合は、それに合わせてプレート（右）も移動する必要があります。

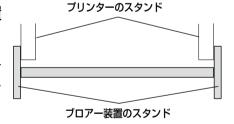
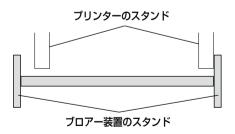
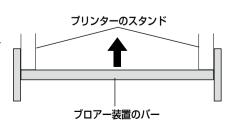
注　意

◆ メディアの端面と紙管の端面を合わせてください。

ブロアー装置の使い方

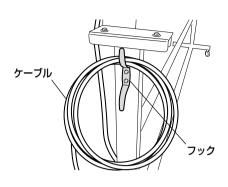
ブロアー装置はオプションです。
ブロアー装置は、プリンターから印刷出力されるメディア（インク）を効率良く乾燥させるために、プリンターの排紙面に設置して使用します。

◆通常の使い方

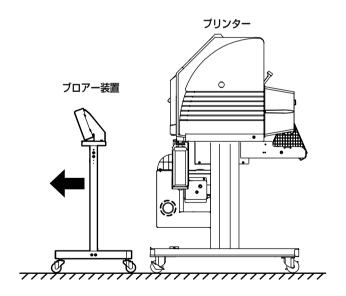
1 プリンターの前面にブロアー装置を置きます。

①ブロアー装置のスタンドがプリンターのスタンドの外側になるようにセットします。

IP-5520 の場合は、右よせにします。

②ブロアー装置のバーがプリンターのスタンドに当たる位置まで押し込みます。

2 ケーブルをフックに巻き付けます。

注　意

- ◆ インクそのものが完全に乾燥するには時間がかかるため、印刷直後の後加工（ラミネート等）は推奨できません。
- ◆ メディアによっては充分に乾燥できない場合があります。その場合は、プリンター本体の操作パネルからスキャン待機時間（☞ P.3-34）を設定してご使用ください。

◆メディアを操作する時

プリンター本体にメディアをセットする時（☞ P.2-7）、巻取り装置にメディアを取り付ける時（☞ P.5-2）、メディアをカットする時（☞ P.5-24）などは、ブロアー装置を邪魔にならない位置に移動してください。

メディアをカットする

オプションのカッターユニット（64）（IP-5520 の場合は、カッターユニット（54)）を使用してメディアをカットする方法を説明します。

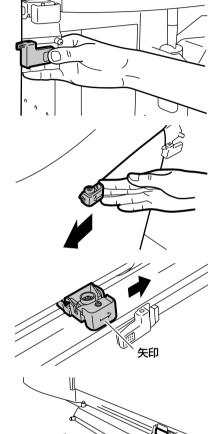
参考 ◇ あらかじめ、ブロアー装置 (オプション) を作業の邪魔にならない位置に移動してください。

1 メディアの両端をメディアクリップで止めます。

2 メディアカッターブレードを移動させ、メディアをカットします。

参考 ◇ メディアカッターブレードには矢印マーク（→）が刻印されています。
メディアカッターブレードは矢印マーク（→）の方向にだけカットできます。矢印マーク（→）がカットする方向に向いていない場合は以下の手順で向きを変えてください。

1 メディアカッターブレードの側面を握って固定フックを外しながら引き抜きます。

2 左右を反転させて差し込みます。

注　意

- ◆ メディア切断途中で、引っかかった場合、一度、メディアカッターブレードを戻し、メディアが折れていないか等を確認し、引っかかった原因を取り除いてから、ゆっくり移動させ切断してください。無理に切断すると、メディアカッターブレードの刃が欠けるなどして、切れ味が低下するので、ご注意ください。
- ◆ メディアカッターブレードを落下させると、メディアカッターブレードの刃が欠けるなどして、切れ味が低下するので、取扱いにご注意ください。
- ◆ 厚手のメディアやクロス等は、メディアカッターブレードで切断できない場合があります。この場合、はさみ等で切断してください。無理に切断しようとすると、切れ味が低下したり、カッターブレードが破損することがありますのでご注意ください。

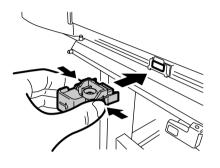
メディアカッターブレードの交換

「メディアカッターブレードの交換手順」について説明します。

1 メディアカッターブレードの側面を握って固定フックを外しながら引き抜きます。

2 新しいメディアカッターブレードをプリンターに差し込みます。

注　意

◆ メディアカッターブレードを落下させると、メディアカッターブレードの刃が欠けるなどして、切れ味が低下するので、取扱いにご注意ください。

困ったときに

6 章では、プリンターにトラブルが発生した場合の対処方法を説明します。対処してもトラブルが解消されない場合は、購入先または最寄りの弊社サービス拠点にご連絡ください。

（本章の内容）

故障？と思う前に

プリンターの故障と思う前に、次のことを点検または確認して対処してください。

■トラブル発生時の点検 / 確認項目

◆ 電源が入らない

点検／確認項目	対処方法
●電源コードの接続状態	コンセントに正しく接続してください。
●コンセントへの電源供給	コンセントに電源を供給してください。 電源電圧が適正か確認してください。

◆ ヒーターをオンにしたのにペーパガイドが熱くならない

点検／確認項目	対処方法
●プリンター本体の状態	ペーパガイドは、印刷中、またはヒーターコントロールメニューによって強制的にヒーターがオンに設定されているときに加熱されます。画像を印刷するか、もしくは強制的にヒーターをオンに設定して、ペーパガイドが加熱されているか確認してください。 （☞ P.2-25「ヒーターコントロールメニューでの温度変更」）
●コンピューターの RIP の設定	ヒーターの温度設定は、コンピューターの RIP からも設定が可能です。プリンターの設定「ユウセンジュンイ　ヒーター」が「データ」の状態で、コンピューターからヒーターオフの印刷データが転送されている場合、印刷中の加熱は行われません。コンピューターの設定を確認してください。
●ヒーターコントロールメニュー	加熱したいヒーター（アフター／プリント／プリ）を再度オンにした後、画像を印刷するか、もしくは強制的にヒーターをオンに設定して、ペーパガイドが加熱されているか確認してください。

◆ 正常に立ち上がらない、動作しない

点検／確認項目	対処方法
●エラー LED の点灯と LCD のメッセージ表示	エラーメッセージに従って対処してください。 （☞ P.6-7「エラーメッセージが表示されたとき」）

◆ 印刷できない

点検／確認項目	対処方法
● USB2.0 ケーブルの接続状態	USB2.0 ケーブルを正しく接続してください。 （☞ P.2-2「コンピューターとの接続」）
●エラー LED の点灯と LCD のメッセージ表示	エラーメッセージに従って対処してください。 （☞ P.6-7「エラーメッセージが表示されたとき」）
●エラーランプ消灯	テスト用の画像を印刷してください。 （☞ P.3-53「（1）ノズルプリント」） （ソフト RIP の「テストパターン」）
●プリントヘッドのクリーニング	プリントヘッドのクリーニングを実施してください。 （☞ P.4-19「プリントヘッドのクリーニング」）

◆ 印刷を開始したのに、操作パネルに「ヘッドウォーミングアップチュウ」と表示されたまま、なかなか印刷されない

点検／確認項目	対処方法
●室温	室温をあげてください。（推奨温度：20 ～ 25℃）

◇ ヘッドウォーミングアップは、ヘッド温度が低い時にヘッドを温める機能です。室温（装置内温度）が推奨温度の範囲で印刷してください。

◇ 室温をあげてもプリンター温度が上昇するまでには時間を要します。１時間以上おいてから、印刷してください。

◇ 急激な温湿度変化を避け、結露しないようにしてください。

◆ 印刷を開始したのに、操作パネルに「プリヒートチュウ」と表示されたまま、なかなか印刷されない

点検／確認項目	対処方法
●室温	室温をあげてください。（推奨温度：20 ～ 25℃）
●風の影響	ペーパガイドにエアコン等の風が当たっている場合は、風が当たらないようにしてください。（風向きの変更、装置の向き、配置の変更など）

◆ 送信したデータがなかなか印刷されない

点検／確認項目	対処方法
●オンライン LED(点滅しているか)	コンピューターとの通信条件を確認してください。

◆ 画質が悪い

☞ P.6-15「よい画質をだすために」を参照してください。

◆ 白紙がでる

点検／確認項目	対処方法
●印刷しているデータの確認	白紙データを送信していないか、印刷しているデータを確認してください。

◆ メディアジャム（メディア詰まり）が多発する

点検／確認項目	対処方法
●メディアの種類	メディアの種類の設定がセットしたメディアと合っているかどうか確認してください。 (☞ P.2-7「メディアの交換」)
●メディアのセット状態	メディアを正しくセットしてください。 (☞ P.2-7「メディアの交換」)
●キャリッジの経路に障害物が挟まっていないか	異物を取り除いてください。 (☞ P.6-6「メディアジャム(メディア詰まり)処理の仕方」)
●メディア搬送経路に障害物が挟まっていないか	異物を取り除いてください。 (☞ P.6-6「メディアジャム(メディア詰まり)処理の仕方」)

◆ 印刷が遅い

点検／確認項目	対処方法
●低温環境	使用環境が推奨温度 (20 ～ 25℃) より低いと、ヒーターやヘッドのウォーミングアップ時間が長くかかります。環境温度を推奨温度にして 1 時間以上おいてから印刷してください。 低温環境では、安定した印刷品質を得るために、印刷速度を落として印刷する場合があります。
●高温環境	装置温度が高いと (40℃以上)、印刷速度を落として印刷します。環境温度を推奨温度 (20 ～ 25℃) にして 1 時間以上おいてから印刷してください。
● USB 転送スピード	USB の転送スピードを確認してください。Full Speed 接続の場合は、High Speed 接続になるようにコンピューターとの接続環境を変更する事で、改善できます。

◆ メニュー表示が他国語になってしまった

点検／確認項目	対処方法
●言語設定	MENU キーを押しながら、電源スイッチを入れ、プリンターを立ち上げてください。言語設定メニューが表示されますので、任意の言語を設定してください。

メディアジャム（メディア詰まり）処理の仕方

メディアジャム（メディア詰まり）処理は、発生時に表示されるガイダンスメッセージに従って、下記の手順で行います。

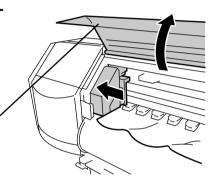
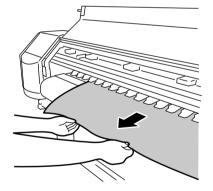
1 ガイダンスメッセージが表示されます。

```
レバ゛ーヲアケ゛テ              X
カバ゛ーヲアケテクダサイ
```

X：メディアジャム（メディア詰まり）の種類

P.5-7「エラーメッセージが表示されたとき」

2 加圧ローラーアップダウンレバーを上げフロントカバーを開けます。

```
メテ゛ィアヲトリノゾ゛キ
カバ゛ーヲシメテクタ゛サイ
```

3 メディアジャム（メディア詰まり）をおこしたメディアを取り除き、キャリッジの経路およびメディア搬送経路に障害物がないことを確認し、フロントカバーを閉めます。

注　意

◆ ロールメディアの場合、メディアを一旦、完全に巻き戻してください。

```
キャリッジ゛イド゛ウチュウ
シバ゛ラクオマチクタ゛サイ
```

4 以降「ロールメディアの取り付け／取り外し手順」に従ってメディアをセットします。（P.2-7）

注　意

◆ メディアジャムにより、プリントヘッドとメディアが擦れて、印刷抜けになる場合があります。その場合は、プリントヘッドのクリーニングを実行してください。
（P.4-19「プリントヘッドのクリーニング」）

エラーメッセージが表示されたとき

エラー LED が点灯しているときは、まず LCD に表示されているメッセージを確認してください。
エラーメッセージは、次に示す 2 つに分類できます。

サービスコールエラー：
ハードウェア，ソフトウェアの故障など、オペレーター（お客様自身）が処理できないエラーです。サービス拠点にご連絡ください。

オペレーターコールエラー：
オペレーター（お客様自身）が処置できるエラーです。
メッセージに従って処理してください。

以降に示すメッセージは、エラーメッセージです。
LED に表示されているエラーメッセージに従って適切な処置をしてください。

6

困ったときに

◆サービスコールエラー

◇ 以下に示すサービスコールエラーが表示された場合は、一度電源スイッチをオフ／オンして再立ち上げしてみてください。エラーが解除される場合があります。

注　意
- **電源スイッチをオフにしてから再度オンする時は、1 分以上経過してから行ってください。**

（システムエラー）

```
システムエラー　ｎｎｎｎ
ｻｲｷﾄﾞｳｼﾃｸﾀﾞｻｲ
```

nnnn：エラーコード

意　味	対処できないエラーが発生しました。
処　置	販売店または最寄りの当社サービス拠点までご連絡ください。 合わせて、表示されているエラーコードもお知らせください。

◆オペレーターコールエラー

以下に示すエラーメッセージは、お客様に対処していただくエラーです。

（インクカートリッジ関係）

```
YYインクヲ
コウカンシテクダ゛サイ
```

YY : Y, M, C, K, Lm, Lc

意　味	インクがなくなりました。
処　置	メッセージに従って処置してください。 （☞ **P.2-30「インクカートリッジの交換」**）

```
YYインクヲ                    Z
カクニンシテクダ゛サイ
```

YY : Y, M, C, K, Lm, Lc
Z : エラーコード（0～9）

意　味	インクカートリッジ異常が発生しました。
処　置	メッセージに従って処置してください。 （☞ **P.2-30「インクカートリッジの交換」**）

```
YYインクヲ
セットシテクダ゛サイ
```

YY : Y, M, C, K, Lm, Lc

意　味	インクカートリッジが未装着です。
処　置	メッセージに従って処置してください。インクカートリッジが装着されているのに、本メッセージがでる場合は、装着不良の可能性がありますので、正しく挿入されているか確認してください。 （☞ **P.2-30「インクカートリッジの交換」**）

（廃インクボトル関係）

```
ボ゛トルカ゛ミソウチャクテ゛ス
ボ゛トルヲセットシテクダ゛サイ
```

意　味	廃インクボトルが未装着であることを示します。
処　置	メッセージに従って処置してください。 （☞ **P.2-40「廃インクボトルの交換」**）

```
ハイインクカ゛イッパ゜イデス
ボ゛トルヲコウカンシテクダ゛サイ
```

意　味	廃インクボトルがいっぱいであることを示します。
処　置	メッセージに従って処置してください。 （☞ **P.2-40「廃インクボトルの交換」**）

（メディアジャム（メディア詰まり））

```
レバ゛ーヲアケ゛テ                1
カバ゛ーヲアケテクダ゛サイ
```

意　味	メディアジャム（メディア詰まり）(1) は、キャリッジの経路に障害物があり、プリンターが正常に駆動できない場合に発生します。
処　置	メッセージに従って処置してください。 なお、実際にメディアジャム（メディア詰まり）が発生していない、またはキャリッジの経路に障害物がないにもかかわらず、何度もメディアジャム（メディア詰まり）（1）が発生する場合は、サービス拠点に連絡してください。 （☞ **P.6-6「メディアジャム（メディア詰まり）処理の仕方」**）

```
レバ゛ーヲアケ゛テ                2
カバ゛ーヲアケテクダ゛サイ
```

意　味	メディアジャム（メディア詰まり）(2) は、ロールメディアとカットメディアの選択ミスや規定サイズ長以外のカットメディアを使用した等、メディアが正しく検出されない場合に発生します。
処　置	メッセージに従って処置してください。 また、設定内容の確認も行なってください。 （☞ **P.6-6「メディアジャム（メディア詰まり）処理の仕方」**）

（メディア関係）

```
レバーヲアゲテ
メディアヲセットシテクダサイ
```

意 味	メディアが無くなった場合に発生します。
処 置	新しいメディアをセットしてください。 （☞ **P.2-7「メディアの交換」**）

```
レバーヲアゲテ
メディアヲカクニンシテクダサイ
```

意 味	無効なサイズ（297mm 未満、64 インチ幅サイズ以上）のメディアがセットされました。
処 置	正しいサイズのメディアをセットしてください。 （☞ **P.2-7「メディアの交換」**）

```
レバーヲアゲテ
メディアヲサイセットシテクダサイ
```

意 味	メディアのスキューが発生しました。
処 置	メディアを正しくセットしなおしてください。 なお、スキューの発生状況によっては、プラテンにインクが吐き出されている可能性があります。その場合はプラテン上のインクをきれいに拭き取ってください。 （☞ **P.2-7「メディアの交換」、P.4-15「プラテン上の清掃」**）

```
メディアヲセットシナオシ
レバーヲサゲテクダサイ
```

意 味	加圧ローラーアップダウンレバーが上がっています。
処 置	メッセージに従い、メディアをセットしなおしてください。

```
スキューヲケンシュツシマシタ
ゾッコウ／チュウシ
```

意 味	印刷中にスキューが検出されました。
処 置	印刷を続行するかまたは中止してください。

（プリントヘッド関係）

```
ﾍｯﾄﾞ ｵﾝﾄﾞ ｲｼﾞ ｮｳﾃﾞ ｽ
ｼﾊﾞ ﾗｸｵﾏﾁｸﾀﾞ ｻｲ
```

意　味	プリントヘッドの温度が使用温度範囲外です。
処　置	使用温度環境内でお使いください。また、しばらく放置し、使用温度内になるのを待ってからお使いください。

```
XXﾍｯﾄﾞ ｵﾝﾄﾞ ｲｼﾞ ｮｳﾃﾞ ｽ
ﾍｯﾄﾞ ｦｶｸﾆﾝｼﾃｸﾀﾞ ｻｲ
```

意　味	ヘッド温度エラーが検出されました。
処　置	販売店または最寄りの弊社サービス拠点にご連絡ください。

```
XXﾍｯﾄﾞ ｶﾞ ﾆﾝｼｷﾃﾞ ｷﾏｾﾝ
ﾍｯﾄﾞ ｦｶｸﾆﾝｼﾃｸﾀﾞ ｻｲ
```

意　味	ヘッド無しエラーが検出されました。
処　置	販売店または最寄りの弊社サービス拠点にご連絡ください。

（その他）

```
ｶﾊﾞｰｦ
ｼﾒﾃｸﾀﾞｻｲ
```

意　味	カバーが開いています。
処　置	メッセージに従って処置してください。

```
ｼｭｳｲｵﾝﾄﾞｲｼﾞｮｳﾃﾞｽ
ｾｲｼﾞｮｳﾆｼﾃｸﾀﾞｻｲ
```

意　味	周囲温度がプリンターの使用温度範囲外です。
処　置	プリンターの使用温度範囲内（15℃～30℃）でお使いください。

警告メッセージが表示されたとき

オンライン印刷終了後、警告すべき情報がある場合、以下のような警告メッセージが表示され、エラー LED が点滅します。
表示されたメッセージに従って適切な処置をしてください。

```
ニチジ゛ョウメンテナンスヲ
ジ゛ッシシテクダ゛サイ
```

意　味	日常メンテナンス（キャップクリーニング）を実施していない場合に表示されます。
処　置	日常メンテナンスを実施してください。 （P.4-2「定期保守」）

```
ワイパ゜ブ゛レード゛ノ
メンテナンス（コウカン）ヲシテグ゛タサイ
```

意　味	ワイパーブレードの寿命が近づいてきたときに表示されます。
処　置	サービスメニューの「ワイパーブレードコウカン」を実行して、ワイパーブレードを交換してください。 （P.4-21「ワイパーブレードの交換」）

```
ワイパ゜スポ゜ンジ゛ノ
メンテナンス（コウカン）ヲシテグ゛タサイ
```

意　味	ワイパースポンジの寿命が近づいてきたときに表示されます。
処　置	サービスメニューの「ワイパースポンジコウカン」を実行して、ワイパースポンジを交換してください。 （P.4-25「ワイパースポンジの交換」）

```
ワイプ゜クリーニング゛エキノ
メンテナンス（コウカン）ヲシテグ゛タサイ
```

意　味	ワイプクリーニング液の交換時期が近づいてきたときに表示されます。
処　置	サービスメニューの「ワイプクリーニングエキコウカン」を実行して、ワイプクリーニング液を交換してください。 （P.4-23「ワイプクリーニング液の交換」）

オンライン印刷終了後、インクカートリッジに関して警告すべき情報がある場合、以下のような警告メッセージが表示され、インクLEDが点滅します。
表示されたメッセージに従って適切な処置をしてください。

・インクLEDが点滅：

意　味	インク残量が少ないことを知らせています。（ワーニング）
処　置	新しいインクカートリッジを用意してください。 （P.2-30「インクカートリッジの交換」）

よい画質をだすために

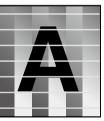
ここでは、お客様が本プリンターを使って、より良い画質をだすためのヒントを説明します。症状に従って対処してください。

注　意

◆ 対処方法が複数記載してある場合、効果が大きいと予想される方法から順に記載しています。１番目から優先に行い、改善効果を確認する事を推奨します。（記載してある全ての対処方法を実行しなければ改善しないという事ではないのでご注意ください。）

◆ 印刷が薄い

原　因	対処方法
●使用環境がプリンターの仕様外	室温を 15℃以上（推奨温度：20 ～ 25℃）にあげ、プリンターを十分に暖気してください。
●メディアの選択が合っていない	メディアの選択を確認してください。（☞ P.3-21）

◆ 印刷物に白スジが入る

基本イメージ

【原因】
メディア送り調整が合っていない

【参考】
カラーストライプをつけると全色で白スジが発生

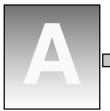
【原因】
プリントヘッドの印字抜け

【参考】
カラーストライプをつけると一部の色で白スジが発生

【原因】
メディアとの相性が悪い／インクの乾きが早い

【原因】
メディアの塗装ムラ

原　因	対処方法
● メディア送り調整が合っていない ◇「送り補正値についてのヒント」(☞ P.6-22)	①スマートパスを「中」または「強」にして印刷してください。　(☞ P.3-25) ②送り調整パターンを印刷し、送り量を調整してください。(☞ P.4-27) ③加圧ローラーアップダウンレバーで加圧力を変更してください。(☞ P.2-20) ④もう一度、送り調整パターンを印刷し、送り量を調整してください。(☞ P.4-27) ⑤片方向印刷で印刷してください。(☞ P.3-27) ⑥印刷モードを「コウガシツ」、「サイコウガシツ」で印刷してください。 (☞ P.3-24)
● プリントヘッドの印刷抜け	①プラテン上にごみ等がないか確認し、あれば取り除いてください。(☞ P.4-15) ②日常メンテナンスを行ってください。(☞ P.4-3) ③クリーニング (ツウジョウ) を行ってください。 (☞ P.4-19) その後、ノズルプリントを実施し、印刷抜けが改善したかを確認してください。(☞ P.4-8) ④プリントヘッド面を清掃してください。(☞ P.6-23) その後、ノズルプリントを実施し、印刷抜けが改善したかを確認してください。(☞ P.4-8) 参考 ◇ カラーストライプをつけて印刷する事で印刷抜けが発生しにくくなります。(☞ P.3-32)
● メディアとの相性が悪い／インクの乾きが早い	①送り調整パターンを印刷し、送り量を調整してください。(☞ P.4-27) 参考 ◇「送り補正値についてのヒント」(☞ P.6-22) ②ヒーター温度を下げてください。(☞ P.2-25) ③印刷モードを「コウガシツ」、「サイコウガシツ」で印刷してください。(☞ P.3-24) ④片方向印刷で印刷してください。(☞ P.3-27) ⑤濃度を「コウノウド」で印刷してください。(☞ P.3-26) ⑥今までに実績のあるメディアで印刷してください。
● メディアの塗装ムラ	①別のメディアに交換してください。(☞ P.2-7)

◆ 印刷物に黒スジが入る

基本イメージ

【原因】
プリントヘッドまわりが汚れている

【原因】
双方向印刷によるインク吹出し順の違い

※横方向の黒スジ
【原因】
・メディア送り調整が合っていない。
・インクの乾きが遅い

※縦方向の黒スジ
【原因】
・メディア表面状況によるインク定着不良
・インク（印字）ドット の位置ずれ

原　因	対処方法
●プリントヘッドのまわりが汚れている	①キャリッジベース面を清掃してください。(☞P.4-16) ②ヘッドガードを清掃してください。(☞P.4-17) ③プリントヘッドの高さを上げてください。(☞P.2-28)
●双方向印刷によるインク吹出し順の違い	①スマートパスを「中」または「強」にして印刷してください。(☞P.3-25) ②片方向印刷で印刷してください。(☞P.3-27) ③印刷モードを「コウガシツ」、「サイコウガシツ」で印刷してください。(☞P.3-24)
●メディア送り調整が合っていない 参考 ◇「送り補正値についてのヒント」(P.6-22)	①スマートパスを「中」または「強」にして印刷してください。(☞P.3-25) ②送り調整パターンを印刷し、送り量を調整してください。(☞P.4-27) ③加圧ローラーアップダウンレバーで加圧力を変更してください。(☞P.2-20) ④もう一度、送り調整パターンを印刷し、送り量を調整してください。(☞P.4-27) ⑤片方向印刷で印刷してください。(☞P.3-27) ⑥印刷モードを「コウガシツ」、「サイコウガシツ」で印刷してください。(☞P.3-24)
●インクの乾きが遅い	①ヒーター温度を上げてください。(☞P.2-25) ②片方向印刷で印刷してください。(☞P.3-27) ③印刷モードを「コウガシツ」、「サイコウガシツ」で印刷してください。(☞P.3-24)
●縦方向の黒スジ	①印刷モードを「コウガシツ」、「サイコウガシツ」で印刷してください。(☞P.3-24)

◆ 印刷物に汚れが入る

基本イメージ

【原因】
インクの飛び散り

【原因】
インクのボタ落ち

【原因】
プリントヘッドのこすれ

原　因	対処方法
●インク飛び散り	①印刷モードを「コウガシツ」、「サイコウガシツ」で印刷してください。(☞ P.3-24) ②プリントヘッドの高さを確認（低く）してください。(☞ P.2-28) ③日常メンテナンスを行ってください。(☞ P.4-3) ④クリーニング (ツウジョウ) を行ってください。(☞ P.4-19) ⑤環境温度を確認してください。（推奨温度 20 ～ 25℃） ⑥今までに実績のあるメディアに交換してください。
●インクのボタ落ち	①メディアのしわや浮きがないか、あるいはメディアが斜めにセットされていないかを確認し、メディアをセットし直してください。(☞ P.2-7) ②プリントヘッドの高さを確認（高く）してください。(☞ P.2-28) ③プリントヘッドのクリーニング（ツウジョウ）をしてください。(☞ P.4-19) ④日常メンテナンスを行ってください。(☞ P.4-3) ⑤プリントヘッド面を清掃してください。(☞ P.4-19)
●プリントヘッドのこすれ	①メディアをセットし直してください。(☞ P.2-7) ②プリントヘッドの高さを上げてください。(☞ P.2-28) ③ヒーター温度を調整してください。(☞ P.2-25) （メディアがしわにならないようにしてください。） ④メディアを交換してください。(☞ P.2-7) ⑤環境湿度を下げてください。（メディアが吸湿してしわになる場合があります。） ⑥ヘッド固定ねじがゆるんでいないか確認してください。(☞ P.2-29)

◆ 印刷物にニジミが入る

基本イメージ

【原因】
インクの乾きが遅い／インク量が多い

【原因】
プリントヘッド位置のずれ／プリントヘッド往復位置のずれ

原　因	対処方法
●インクの乾きが遅い / インク量が多い	①ヒーター温度を上げてください。(P.2-25) ②スマートパスを「中」または「強」にして印刷してください。(P.3-25) ③印刷モードを「コウガシツ」、「サイコウガシツ」で印刷してください。(P.3-24) ④濃度を「コウノウド」で印刷時は「ツウジョウ」に変更してください。(P.3-26) ⑤「双方向」印刷時は「片方向」に変更してください。(P.3-27)
●プリントヘッド位置のずれ / プリントヘッド往復位置のずれ	①プリントヘッドの位置調整を行ってください。(P.4-38) ②プリントヘッドの往復調整を行ってください。(P.4-33)

◆ 印刷開始時に印刷抜けが発生する

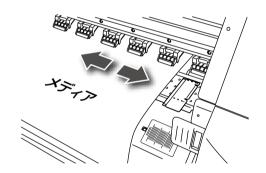
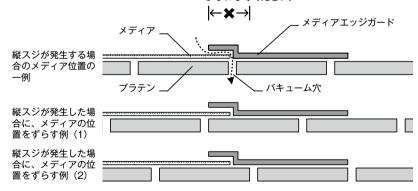
原　因	対処方法
●使用温湿度範囲外	使用温湿度範囲内で使用してください。(P.1-3)

◆ 印刷物の端に縦スジが入る

基本イメージ

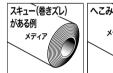
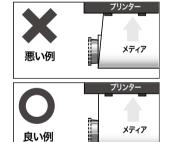
【原因】
プラテン上、メディアの左端部とメディアエッジガードの接点がバキューム穴近傍にある。

【原因】
プラテン上、メディアの右端部とメディアエッジガードの接点がバキューム穴近傍にある。

原　因	対処方法
● プラテン上、メディアの端部とメディアエッジガードの接点がバキューム穴近傍にある場合、メディアエッジガードとメディアの間から突出インクの一部を吸い込み、縦スジが発生する場合がある。	① プラテン上のメディアの端部とメディアエッジガードの接点がバキューム穴近傍に位置しないようにメディアをずらす。（☞ P.2-7）

◆ 印刷物の左右で異なるスジが入る

基本イメージ

【原因】
メディアの送りが斜行している

原　因	対処方法
●メディアの送りが斜行している	

①スキュー（巻きズレ）、へこみがないか、ロール仕立てを確認し、ロール仕立てが悪ければ、仕立ての良いロールと交換してください。

②メディアがプリンターに対して斜めにセットされていないか確認してください。斜めにセットされている場合は、メディアホルダーの位置を調整するか、加圧ローラーアップダウンレバーを上げ、メディアを左右にずらして垂直にセットしてください。加えて巻取り装置を使用の場合は、巻き取り側フランジの位置調整、あるいはメディアを取り付けなおして、垂直にセットしてください。（☞ P.2-7）

◇ 送り補正値についてのヒント

次にあげる条件変化により、適正な送り補正量は変動します。

条　件		ヒント
■メディアの条件変化 ①メディアの種類、幅サイズ、ロール長、② 使用に伴うロール径の変化）により、適正な送り補正量は変動します。		左記以外にも、同じ型番のメディアであっても、製造ばらつきにより、適正値はかわる事もあります。ゆえに、ロールを交換した際は送り補正値の設定を実施する必要があります。(☞ P.4-27)
■巻取り装置の巻き取り方式を変更した場合、適正な送り補正量はかわります。		「テンション巻き」より、「たるみ巻き」に設定した場合のほうが、適正な送り補正値が大きくなる傾向があります。(☞ P.3-29)
■プリントモードを変更した場合も、適正な送り補正量はかわります。		パス数が大きいモードのほうが、適正な送り補正値が大きくなる傾向があります。(☞ P.3-24)
■各色のプリントヘッド間でも適正な送り補正量は異なります。		通常は、すべてのの平均値をセットする事を推奨しますが、印刷データに応じた重要な色をセットしてください。
■メディアの左右でも、適正な送り補正量は異なります。		通常は、左右の平均値をセットする事を推奨しますが、印刷データに応じた重要な位置を優先してセットしてください。
■メディアの材質がターポリンのように、ペーパーガイドに張り付きやすい場合。		通常の送り調整パターン印刷による送り補正値の設定後、実際に印刷しながら、値を変えながら調整する事を薦めます。(☞ P.4-31)

◇ **送り調整パターン印刷による、送り補正値の設定後、実際の印刷データで印刷しながら、送り補正値をかえて適正値に調整する事で、より良い画質で印刷する事が可能です。長尺印刷では、特に有効です。(☞ P.4-31「オンライン印刷中の変更」)**

異常音がでるとき

正常時と比べて動作音に異常を感じたときには、販売店または最寄りの弊社サービス拠点にご連絡ください。

付　録

付録では、プリンターの基本仕様や構成品、および
サービス拠点などを示しています。

（本章の内容）

基本仕様

◆本体仕様

■本体の基本仕様

項　目	仕 様 ／ 機 能	
モデル名	IP-5620	IP-5520
記録方式	ピエゾ式カラーインクジェット記録方式	
解像度	540dpi X 540dpi（標準モード）	
給紙 / 排紙方向	背面給紙 , 前面排紙	
メディアの種類	塩ビフィルム／ターポリン／コート紙	
メディア幅	最大 64"	最大 54"
インクカートリッジ	一般溶剤インク 6 色（ブラック , シアン , マゼンタ , イエロー , ライトシアン, ライトマゼンタ） または 4 色（ブラック , シアン , マゼンタ , イエロー） 各 500ml	
騒　音	待機時：45dB (A) 以下 動作時：65dB (A) 以下（連続音）	
発熱量	4860000J/H 以下	
作図保証領域	メディアの先端、後端から 5mm、 両端部から 5mm（エッジガード使用時は 10mm）を除く部分	
電源電圧	AC100 ～ 127V ／ 220 ～ 240V	
周波数	50/60Hz ± 1Hz	
消費電力	1350W 以下 （プリンター動作時）	
外形寸法	2830mm (W) X 830mm (D) X 1255mm (H)	2576 mm (W) X 830 mm (D) X 1255 mm (H)
質量	約 228kg （オプションの巻取り装置（64）装着時。メディアおよびインクは含みません。）	約 205kg （オプションの巻取り装置（54）装着時。メディアおよびインクは含みません。）
動作時温度／湿度範囲	15 ～ 30℃／ 30 ～ 70% RH（ただし、結露しないこと）	
休止時温度／湿度範囲	5 ～ 35℃／ 10 ～ 80% RH 以下 (ただし、結露しないこと)	
設置スペース	3630mm 以上 (W) X 3830mm 以上 (D) X 1750mm 以上 (H)	3376 mm以上 (W) X 3830 mm以上 (D) X 1750 mm 以上 (H)
保守スペース	3630mm 以上 (W) X 3830mm 以上 (D) X 1750mm 以上 (H)	3376 mm以上 (W) X 3830 mm以上 (D) X 1750mm 以上 (H)

オプション／消耗品構成

◆オプション構成

■オプション構成

名　称	品　番	数　量	備　考
エキゾーストアタッチメント	IP-265	1 式	プリンターおよびに排気ダクトを取り付けるためのユニット
2 インチフランジ	IP5-261	1 式	2 インチ紙管のロールメディアをセットするためのフランジ
ブロアー装置	IP-182	1 式	メディアに送風を当ててインクを乾燥させる装置
巻取り装置（64）	IP-153	1 式	印刷したメディアを巻き取るユニット (IP-5620 用)
巻取り装置（54）	IP5-260	1 式	印刷したメディアを巻き取るユニット (IP-5520 用)
カッターユニット（64）	IP5-262	1 式	印刷したメディアを手動でカットするユニット (IP-5620 用)
カッターユニット（54）	IP5-263	1 式	印刷したメディアを手動でカットするユニット (IP-5520 用)
6 色への変更キット	IP5-264	1 式	4 色仕様で購入したプリンターを 6 色仕様にアップグレードするためのキット

◆消耗品構成

■消耗品構成

（インク関連）

名　称	品　番	数　量	備　考
インクカートリッジ（イエロー）（GX インク）	IP5-301	1 個 / 箱	500 ml、カートリッジホルダー用
インクカートリッジ（マゼンタ）（GX インク）	IP5-302	1 個 / 箱	500 ml、カートリッジホルダー用
インクカートリッジ（シアン）（GX インク）	IP5-303	1 個 / 箱	500 ml、カートリッジホルダー用
インクカートリッジ（ブラック）（GX インク）	IP5-304	1 個 / 箱	500 ml、カートリッジホルダー用
インクカートリッジ（ライトシアン）（GX インク）	IP5-305	1 個 / 箱	500 ml、カートリッジホルダー用
インクカートリッジ（ライトマゼンタ）（GX インク）	IP5-306	1 個 / 箱	500 ml、カートリッジホルダー用
インクカートリッジ（イエロー）（IX インク）	IP5-311	1 個 / 箱	500 ml、カートリッジホルダー用
インクカートリッジ（マゼンタ）（IX インク）	IP5-312	1 個 / 箱	500 ml、カートリッジホルダー用
インクカートリッジ（シアン）（IX インク）	IP5-313	1 個 / 箱	500 ml、カートリッジホルダー用
インクカートリッジ（ブラック）（IX インク）	IP5-314	1 個 / 箱	500 ml、カートリッジホルダー用
インクカートリッジ（ライトシアン）（IX インク）	IP5-315	1 個 / 箱	500 ml、カートリッジホルダー用
インクカートリッジ（ライトマゼンタ）（IX インク）	IP5-316	1 個 / 箱	500 ml、カートリッジホルダー用
カートリッジホルダー	IP5-320	1 個	IP5-3xx インクカートリッジ用
廃インクボトル	IP5-299	1 個	

（保守・クリーニング液関連）

名　称	品　番	数　量	備　考
保管液セット	IP5-293	1 式	保管液カートリッジ 6 個
洗浄液セット（GX インク用）	IP5-294	1 式	洗浄液カートリッジ 6 個
洗浄液セット（IX インク用）	IP5-298	1 式	洗浄液カートリッジ 6 個
日常メンテナンスキット（GX インク用）	IP5-290	1 式	*1
日常メンテナンスキット（IX インク用）	IP5-296	1 式	*1
キャップクリーニング液セット	IP5-292	1 本	300 ml / 1 本
ワイプクリーニング液セット（GX インク用）	IP5-291	3 本	200 ml / 1 本
ワイプクリーニング液セット（IX インク用）	IP5-297	3 本	200 ml / 1 本
クリーニングスティック	IP5-120	1 本	クリーニングローラー 1 個添付
クリーニングローラーセット	IP5-147	30 個	
クリーニング棒	IP6-147	300 本	
ワイパーブレード	IP5-122	2 枚	
ワイパースポンジ	IP5-123	1 個	
メディアカッターブレード	IP5-124	1 個	オプションのカッターユニット（64）/ カッターユニット（54）用

*1　キャップクリーニング液：300 ml, ワイプクリーニング液：200 ml, クリーニング棒：10 本 , クリーニングローラー：30 個 , ワイパーブレード：1 枚 , クリーニングスティック：1 本（クリーニングローラー 1 個添付）, ピンセット：1 本

サービス拠点

故障・保守サービス・消耗品については、サービス拠点または、販売店にお問い合わせください。

http://www.seiko-i.co.jp/corp/where/index.html

◆使用済消耗品の回収先

廃インクは、産業廃棄物（廃油）として処理してください。

使用後のインクカートリッジは、産業廃棄物として処理してください。お客様にて処理不可能な場合は、当社セイコーアイ・インフォテックの回収センターまで送付してください。（送料はお客様ご負担となります。）

送付の際は、必ずインクカートリッジからインクが漏れないようにカートリッジごとビニール袋で包み、ダンボール箱詰めとして送付してください。（カートリッジは分解しないでください。）

◇送付先　京葉アドバンス物流(株)内　SIIT 回収センター

〒272-0004　千葉県市川市原木 2526-35　　TEL（047）318-8303

◆プリンターに関するお問い合わせ

プリンターに関するお問い合わせは、当社営業までご連絡ください。

株式会社セイコーアイ・インフォテック

◇本　社

〒261-8507　千葉県千葉市美浜区中瀬 1-8　　TEL（043）211-1370（代）

サイン企画営業部　　FAX（043）211-8716

◇ホームページアドレス

http://www.seiko-i.co.jp/

付録